
大学生のアルバイト調査（2024年）

2024年4月 株式会社マイナビ 社長室 キャリアリサーチ統括部

■ 転載・引用につきまして

レポートの著作権は、株式会社マイナビが保有します。レポートの内容を転載・引用する場合には、出所として

・弊社名（株式会社マイナビ）※株式会社は省略可

・調査、レポート名称

・調査時期

を明記してご利用ください。

ex)

株式会社マイナビ「大学生のアルバイト調査（2024年）」によると・・・

【転載・引用に関する注意事項】

以下の行為は禁止いたします。

・レポートの一部または全部を改変すること

・本レポートの一部または全部を販売・出版すること

・出所を明記せずに転載・引用を行うこと

・公序良俗に反する利用や違法行為につながる可能性がある利用を行うこと

※転載・引用されたことにより、利用者または第三者に損害その他トラブルが発生した場合、当社は一切その責任を負いません。

株式会社マイナビ 社長室 キャリアリサーチ統括部

E-mail:myrm@mynavi.jp

※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

調査概要	4	3. 就業意識	53
TOPICS	5	3-1. アルバイトの目的	54
1. アルバイト就業実態	17	3-2. アルバイト先を決めた要因	56
1-1. アルバイト就業状況	18	3-3. アルバイトのやりがい	58
1-2. アルバイトの形態	19	3-4. 早期離職経験	60
1-3. アルバイトをしている数	20	3-5. 早期離職理由	61
1-4. 1週間あたりの平均アルバイト日数	21	3-6. アルバイト先の理想の上司像	63
1-5. アルバイトをしている曜日	22	3-7. 経済的・時間的・精神的なゆとりの有無	65
1-6. 1日あたりの平均アルバイト時間	23	3-8. 非就業者のアルバイトをしていない理由	66
1-7. アルバイト先への通勤時間	24	3-9. 非就業者のアルバイト就業意向	68
1-8. アルバイトの勤務期間	25	4. 現在のアルバイト先への意識	70
1-9. 1か月あたりのお小遣いの金額	26	4-1. 長く働きたいと思える	71
1-10. 1か月あたりのアルバイト収入	27	4-2. 満足している	72
1-11. アルバイトの年収	28	4-3. 前向きに取り組める	73
1-12. 自分の能力で稼げると思う月収	29	4-4. 家族や友人に薦めたいと思える	74
1-13. 現在の貯金額	30	4-5. 充実感を感じる	75
1-14. 経験のあるアルバイトの職種	31	4-6. ストレスを感じる	76
1-15. 現在のアルバイトの職種	32	4-7. やりがいを感じる	77
1-16. 副業／掛け持ちのアルバイトの職種	33	4-8. 働き方に対して上司の配慮・協力がある	78
1-17. やってみたいアルバイトの職種	34	4-9. 仕事内容や役割に見合った収入が支払われている	79
1-18. 特にやりたくないアルバイトの職種	35	4-10. 収入に対して業務量は適正である	80
1-19. 今までのアルバイトの職種について	36	4-11. 働きが認められている	81
1-20. 就業調整について	37	4-12. 現在のアルバイト実態	82
2. アルバイト探し	42	5. アルバイトにおける就職活動の意識	89
2-1. 直近1年間のアルバイト探し経験	43	5-1. 就職活動への意識有無	90
2-2. アルバイトを探してから採用されるまでの期間	44	5-2. 就職活動への意識項目	91
2-3. アルバイト探しでの情報収集源	45	5-3. 仕事・キャリアの方向性を決める上での影響	93
2-4. アルバイト探しでの応募参考	46	5-4. 今後のキャリアに不安を感じるか	94
2-5. アルバイトの必須条件	47		
2-6. アルバイトのあったら良いが必須ではない条件	48		
2-7. アルバイトを始める際に不安に感じること	49		
2-8. アルバイト選びの際の親の関与	51		
2-9. SNSでのアルバイト探し	52		

6. アルバイト先でのコミュニケーション	95
6-1. 業務時間外のコミュニケーション	96
6-2. 現在孤独を感じるか	97
6-3. 会社・上司に対して自分のキャリアプランや目標（ビジョン）を共有する機会があるか	98
6-4. 会社・上司に対して自分のキャリアプランや目標（ビジョン）を共有する機会を希望するか	99
6-5. 会社・上司に対して自分の仕事の悩みをを共有する機会があるか	100
6-6. 会社・上司に対して自分の仕事の悩みをを共有する機会を希望するか	101
6-7. 会社・上司に対して自分のプライベートの悩みをを共有する機会があるか	102
6-8. 会社・上司に対して自分のプライベートの悩みをを共有する機会を希望するか	103
7. 1年以内のアルバイトの変化	104
7-1. 1年以内の時給・勤務時間の増減	105
7-2. 1年以内の仕事の責任・モチベーションの増減	106
7-3. 1年以内の仕事量の増減	107
Appendix	108

- 目的 大学生のアルバイトの実態と意識を明らかにすること
- 調査名 「アルバイト就業者調査（2024年）」より大学生サンプルのみ抽出し作成
- 調査地域 全国
- 調査方法 インターネット調査（※2022年より属性別の調査方式から属性一括の調査方式へ変更している）
- 対象者 アルバイト就業中の18～23歳の大学1～4年生 ※短期大学、専門学校、大学院生は除く（一部非就業者も含む）
- 回収数 SCR調査（就業者935サンプル、非就業者381サンプル）本調査（就業者913サンプル、非就業者381サンプル）
- 実施期間 2024年2月15日～2月19日
- ウェイトバック方法 文部科学省「学校基本調査（令和5年）」の結果を元に以下のようにウェイトバックを行った。

① 学校基本調査より性別×エリアの該当者数を集計

	計	男性	女性
TOTAL	2632775	1428469	1204306
北海道	79983	46972	33011
東北	109658	62376	47282
甲信越・北陸	109932	63241	46691
北関東	76140	41795	34345
一都三県	1072360	579428	492932
東海	244340	130827	113513
関西	553741	295598	258143
中国四国	171325	91068	80257
九州沖縄	215296	117164	98132

② ①で算出された性別×エリアの構成比を算出

	計	男性	女性
TOTAL	1	0.542572	0.457428
北海道	0.03038	0.017841	0.012538
東北	0.041651	0.023692	0.017959
甲信越・北陸	0.041755	0.024021	0.017735
北関東	0.02892	0.015875	0.013045
一都三県	0.407312	0.220083	0.187229
東海	0.092807	0.049692	0.043115
関西	0.210326	0.112276	0.09805
中国四国	0.065074	0.03459	0.030484
九州沖縄	0.081775	0.044502	0.037273

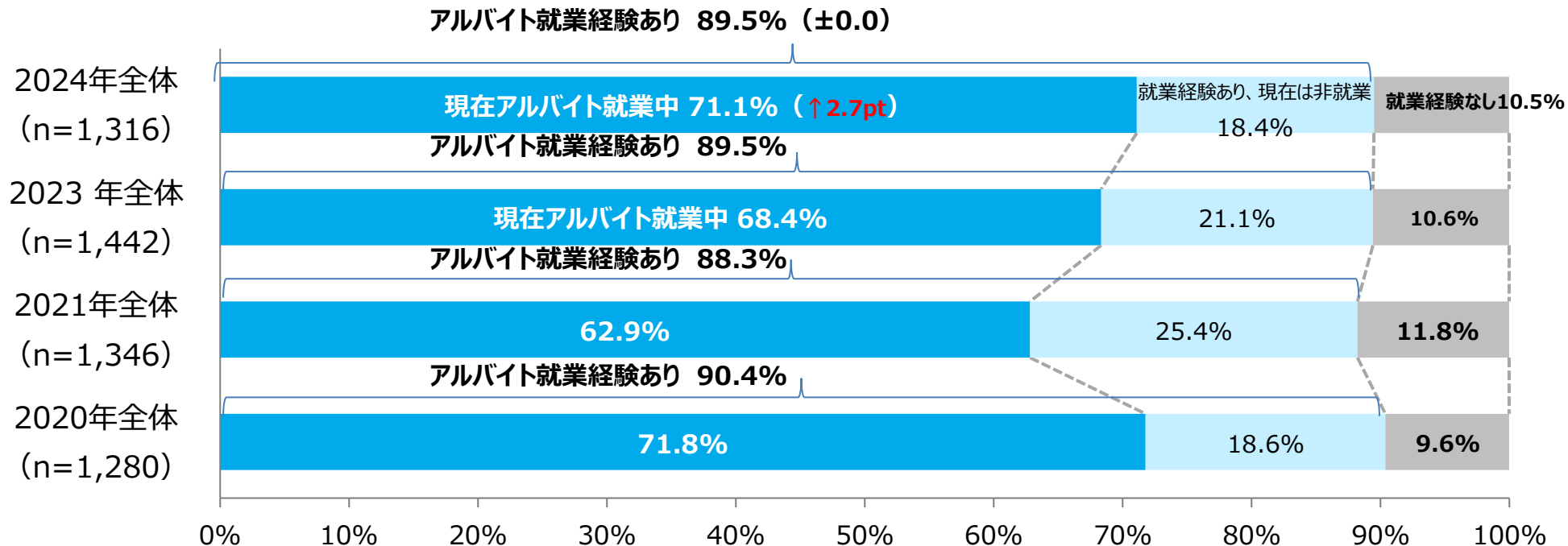
③ 本調査回答者の構成比を②の構成比に合わせ集計

	WB前			WB後		
	計	男性	女性	計	男性	女性
TOTAL	913	487	426	913	495	418
北海道	31	18	13	28	16	11
東北	43	20	23	38	22	16
甲信越・北陸	47	28	19	38	22	16
北関東	29	17	12	26	14	12
一都三県	309	170	139	372	201	171
東海	104	49	55	85	45	39
関西	192	96	96	192	103	90
中国四国	76	41	35	59	32	28
九州沖縄	82	48	34	75	41	34

調査結果は、端数四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

TOPICS

- ◆ 2024年はアルバイト就業中の大学生の割合が前年比で増加した（2024年71.1%、2023年比：+2.7pt）。
- ◆ 大学生のアルバイト就業者は、コロナの影響が出始める前に実施した2020年調査時点の水準まで回復した
- ◆ アルバイトの就業経験がある割合は前年と同じ。
- ◆ 一方でこれまでアルバイトを一度もしたことのない大学生の割合は0.1pt減少した。



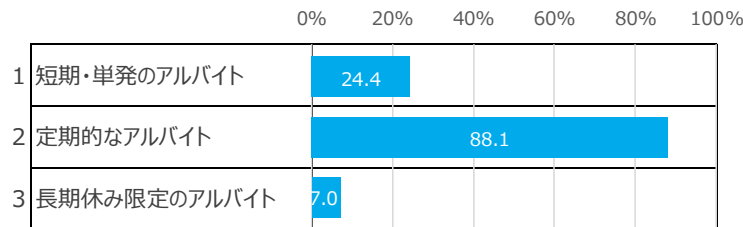
※回答ベース：SCR調査（事前調査）で聴取した対象を含む結果で算出している

※2022年は調査時期が異なるため比較していない

- ◆ 就業者のアルバイト形態は、前年と比較して短期・単発のアルバイトと長期休み限定のアルバイトをしていた割合が増加、定期的なアルバイトをしていた割合が減少した。
- ◆ 現在の職種上位3項目の順位は前年と変わらず、「飲食・フード（接客・調理）」「教育（塾講師・家庭教師）」「販売（コンビニ・スーパー）」で6割以上を占めている。前年と比べると、「飲食・フード（接客・調理）」「教育（塾講師・家庭教師）」「販売（コンビニ・スーパー）」すべて減少した。

2023年

アルバイト形態



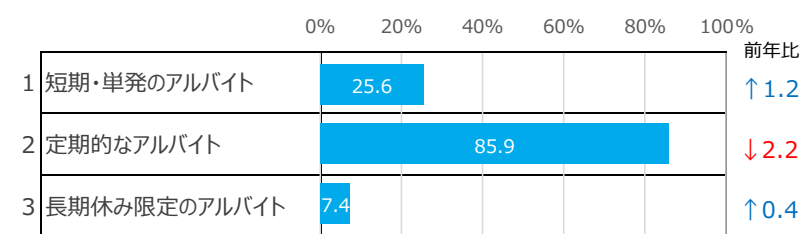
【就業者】

アルバイトしている職種（TOP3）

1位	飲食・フード（接客・調理）	32.1%
2位	教育（塾講師・家庭教師）	19.6%
3位	販売（コンビニ・スーパー）	16.0%

2024年

アルバイト形態



【就業者】

アルバイトしている職種（TOP3）

1位	飲食・フード（接客・調理）	31.9%	前年比 ↓ 0.2pt
2位	教育（塾講師・家庭教師）	17.4%	↓ 2.2pt
3位	販売（コンビニ・スーパー）	15.4%	↓ 0.6pt

- ◆ 平均的な勤務時間は4.8時間、希望勤務時間は4.9時間となり、前年比では実態は横ばい、希望は増加した。
- ◆ 平均的な勤務日数は3.0日、希望勤務日数は3.2日となった。実態は横ばい、希望は増加した。
- ◆ アルバイト就業中の大学生の平均的な手取り月収は5.99万円、希望月収は8.04万円で、実態と希望の差は2.05万円となり、前年比では手取り月収は-0.11万円、希望月収は-2.72万円と減少した。手取り月収と希望月収の差は前年より縮まった。前年と比べ、希望月収が減少したことで実態とのギャップが小さくなった。現実的な月収を希望する大学生が増加したと考えられる。

	(実態) 1日あたり 勤務時間	(希望) 1日あたり 勤務時間	(実態) 1週間あたり 勤務日数	(希望) 1週間あたり 勤務日数	(実態) 手取り月収	(希望) 手取り月収	(実態) 手取り年収	(希望) 手取り年収
2022年全体	4.5時間	4.4時間	2.8日	3.0日	5.55万円	7.94万円	*	*
2023年全体	4.8時間	4.8時間	3.0日	3.1日	6.10万円	10.76万円	68.95万円	89.89万円
2024年全体	4.8時間	4.9時間	3.0日	3.2日	5.99万円	8.04万円	66.93万円	87.02万円
大学1年生	4.6時間	4.7時間	3.0日	3.2日	5.28万円	6.78万円	58.86万円	77.25万円
大学2年生	4.8時間	5.0時間	2.9日	3.1日	5.90万円	7.37万円	68.57万円	86.01万円
大学3年生	4.7時間	4.8時間	3.0日	3.2日	5.75万円	8.37万円	68.45万円	91.71万円
大学4年生	5.0時間	5.1時間	3.0日	3.2日	6.76万円	9.32万円	70.42万円	91.52万円

*は非聴取選択

- ◆ アルバイト就業中の大学生がアルバイト先に求める条件として、「シフトの融通がきく」「自宅から近い」「学業への理解がある」が上位3項目となった。「シフトの融通がきく」は5割を占めており、重視する学生が多い様子が見られた。
- ◆ 現在のアルバイト先決定の決め手としては、“企業からの迅速な連絡”“面接設定までの案内の丁寧さ”“勤務条件の詳細を知れたか”が重視されている。

アルバイト探し

必須条件

		前年比
1	シフトの融通がきく	52.4 -0.3
2	自宅から近い	38.7 -2.2
3	学業への理解がある	36.3 -4.0
4	給与が高い	35.4 -0.5
5	未経験でもできる仕事である	27.3 -0.1
⋮		
	重視する条件はない	4.7 -0.4
		(%)

希望条件

		前年比
	給与が高い	19.4 +1.8
	まかない、社割販売、社員寮などがある	18.6 +1.4
	楽な仕事である	17.1 +1.4
	自宅から近い	16.6 +0.3
	昇給がある	16.3 -0.7
⋮		
	重視する条件はない	12.7 ±0.0
		(%)

アルバイト先の決定

決め手となった要因

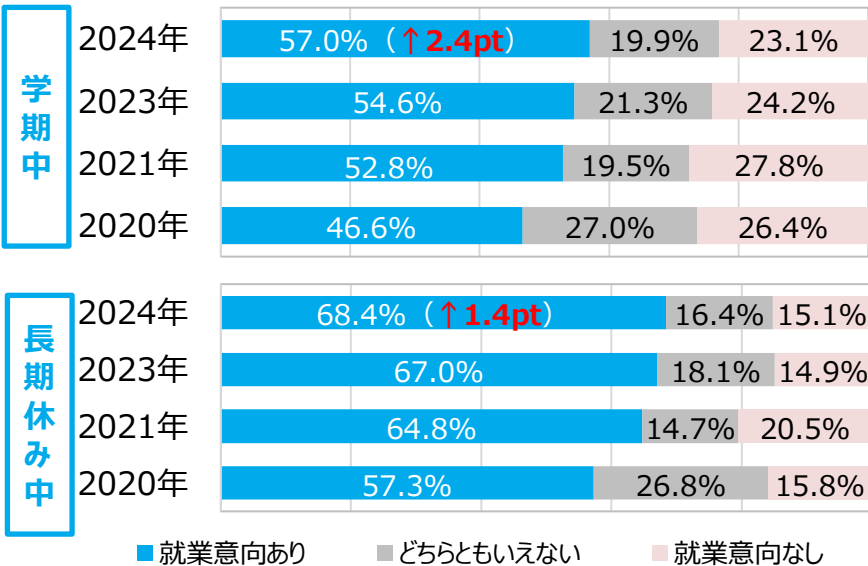
		前年比
	応募後にすぐに企業から連絡がきた	29.5 +3.7
	応募から面接までの案内が丁寧だった	23.7 +4.1
	時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えてくれた	23.3 +0.1
	採用担当者が話しやすい雰囲気だった	19.5 -0.9
	すぐに合否通知の連絡がきた	19.5 -2.8
⋮		
	決め手となったきっかけや要因はない	22.7 -4.0
		(%)

- ◆ 非就業者のうち、アルバイト意向者（アルバイトをしたい人の割合）は、学期中・長期休み中ともに2020年から連続で増加した。非就業者の就業意向は高まっている様子が見られた。
- ◆ 非就業大学生のアルバイトをしていない理由は「プライベート（習い事・趣味・社会活動など）を大事にしたい」が最も高く、次いで「学校生活（学業・部活など）との両立が難しい」となった。

<非就業者の就業意向>

※回答ベース：現在アルバイトをしていない人

0% 20% 40% 60% 80% 100%



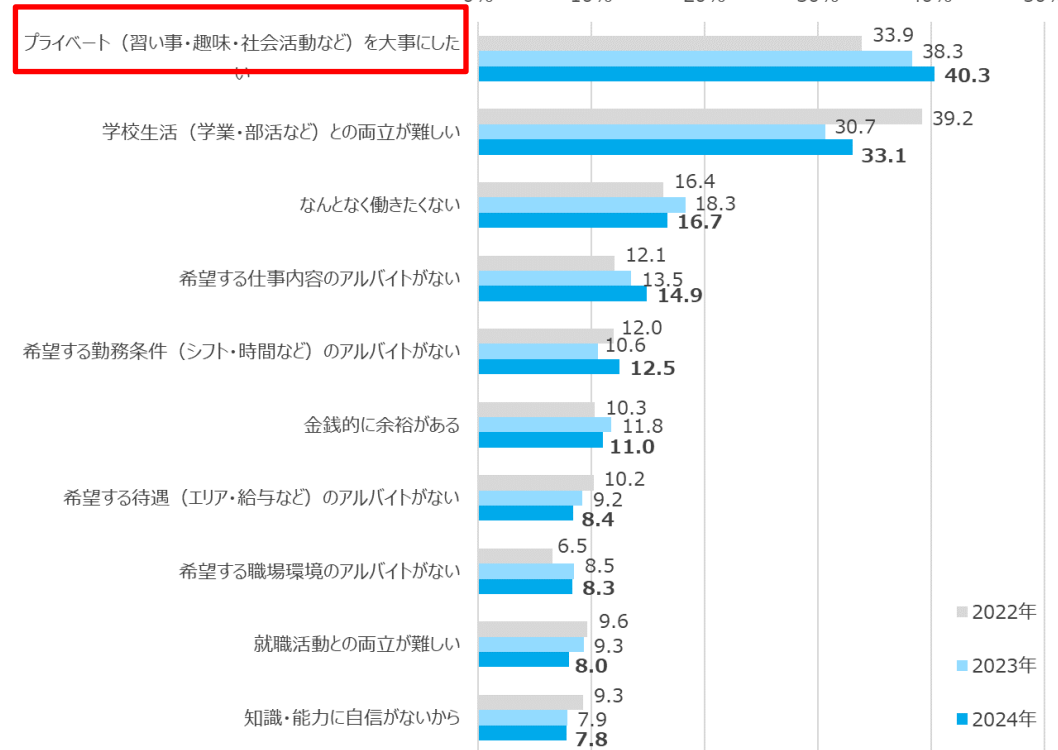
※2022年は調査時期が異なるため比較していない

※SCR調査（事前調査）で聴取した対象を含む結果で算出している

<アルバイトをしていない理由（上位抜粋）>

※回答ベース：現在アルバイトをしていない人

0% 10% 20% 30% 40% 50%

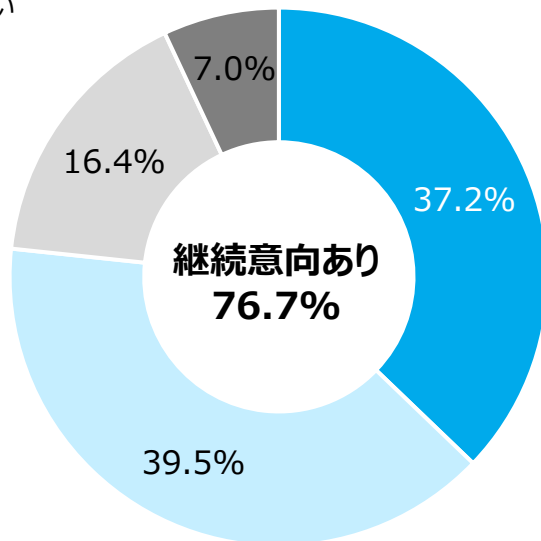


※SCR調査（事前調査）で聴取した対象を含む結果で算出している

- ◆ 現在アルバイトをしている大学生の就業継続意向は76.7%と比較的高いことがわかる。
- ◆ 継続意向のある層／ない層で現在の職場への評価を比較すると、「やりがいを感じる」「職場の雰囲気自分が合っている」等で差が大きくなった。

＜現在のアルバイト先で長く働きたいと思うか＞

- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない



＜継続意向の有無×現在のアルバイト先の実情＞

※差分【あり-なし】上位抜粋

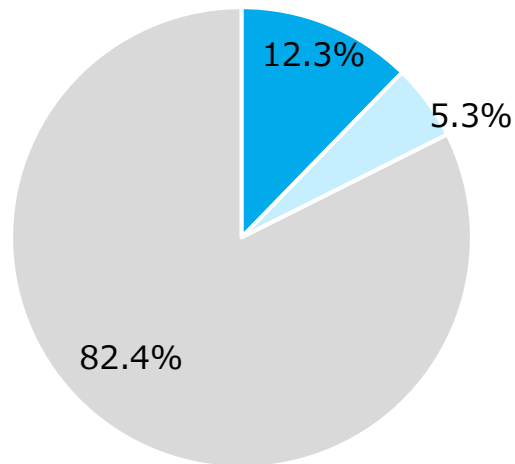
アルバイト 先の実情

	継続意向 あり層	継続意向 なし層	【差分】 あり-なし
1 やりがいを感じる	30.5%	15.1%	+15.4 pt
2 職場の雰囲気が自分に合っている	21.8%	7.5%	+14.3 pt
3 仲間と楽しく仕事ができる	22.6%	10.6%	+12.0 pt
4 学校生活との両立に理解がある	33.5%	22.2%	+11.3 pt
5 自分の進路や将来のためになる	16.6%	6.0%	+10.6 pt
6 きれいな職場である	15.7%	6.3%	+9.4 pt
7 自分が好きなことを仕事にできる	15.3%	6.0%	+9.3 pt

- ◆ 大学生の17.6%で早期離職の経験がある。
- ◆ 早期離職につながる要因としては、「想定よりも仕事がきつかった」が最も高く、3人に1人以上となった。
- ◆ 前年比では、「想定よりも仕事がきつかった」「想定よりも仕事量が多かった」「働き始めたばかりの際、受け入れ体制やサポートが不十分だった」が大きく増加した。働き始める前のイメージと実際の仕事内容・職場環境とのギャップや受け入れ体制・サポートの不十分さが要因で早期離職をした大学生が増加した。

<早期離職の経験>

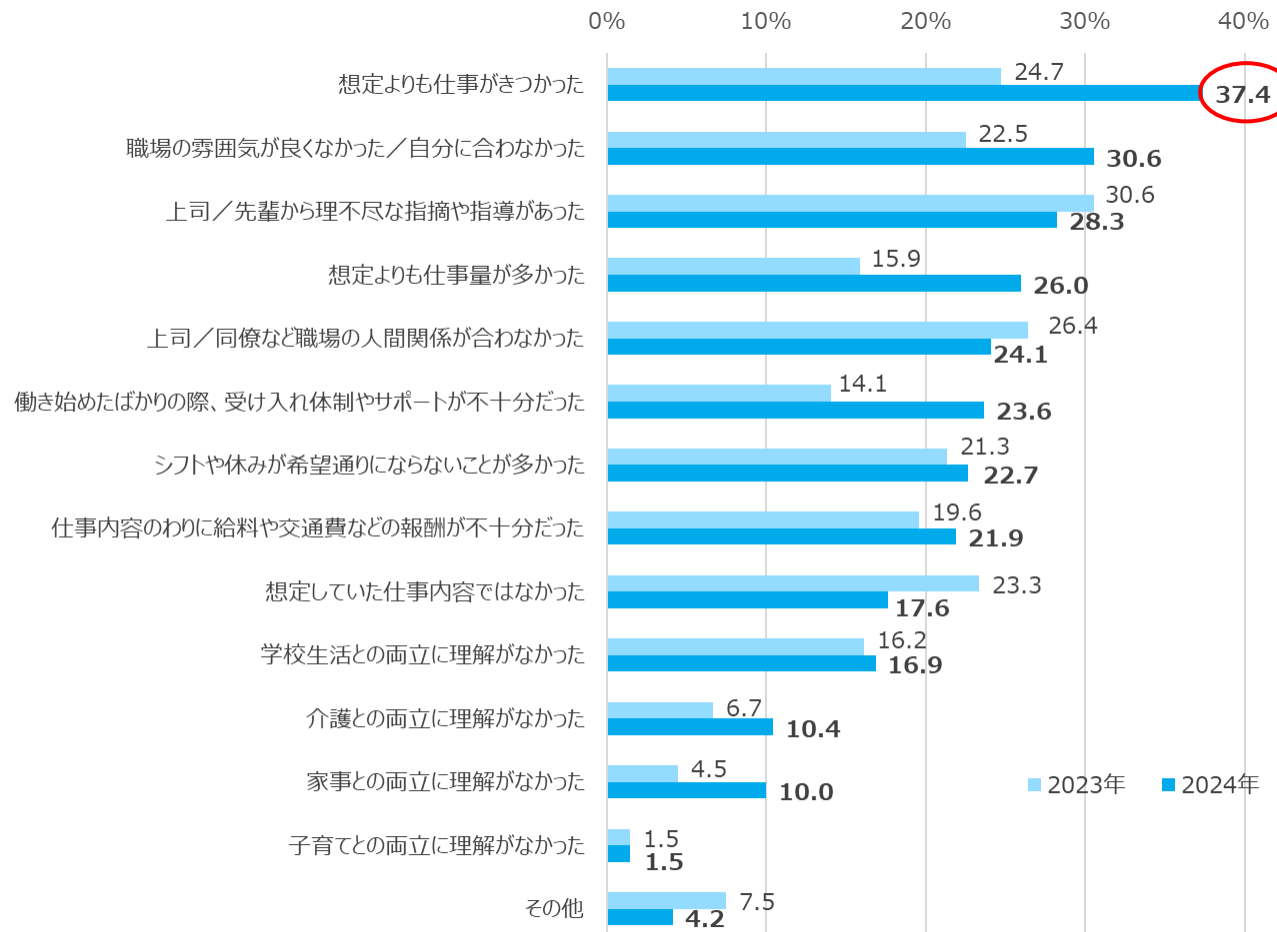
※早期離職：（引越し等のやむを得ない状況は含まず）就業当初は長期勤務予定だったアルバイトを一か月以内に辞めることと定義している。



- 直近3年間で早期離職した経験がある
- 直近3年間より前に早期離職した経験がある
- 早期離職した経験はない

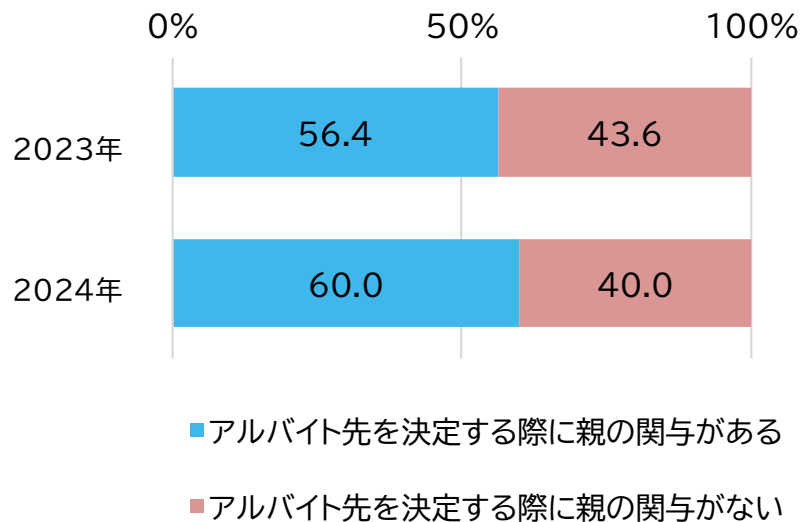
<早期離職の理由>

※回答ベース：早期離職経験あり



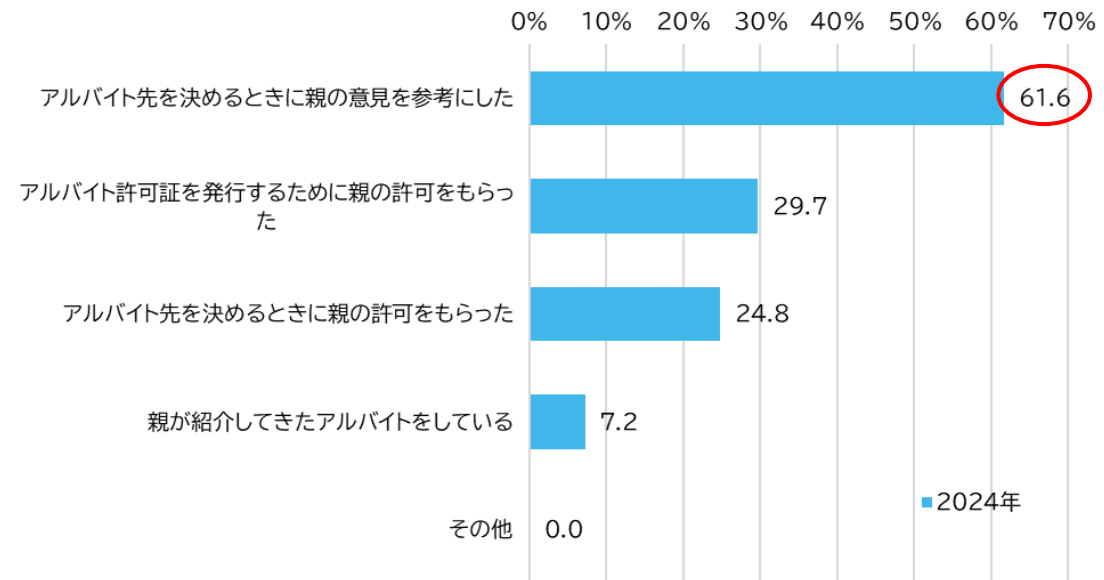
- ◆ アルバイト先を決定する際に親の関与がある割合は60.0%で前年より3.6pt増加した。
- ◆ 関わり方としては「アルバイト先を決めるときに親の意見を参考にした」が61.6%と最も高く、次いで「アルバイト許可証を発行するために親の許可をもらった」が29.7%となった。
- ◆ SNSやインターネット上で募集される、高額報酬をうたった危険な仕事、いわゆる「闇バイト」に求職者自身も知らないうちに加担してしまうことが社会的な問題となる中で、親の関与が増加したと考えられる。

＜アルバイト選びの際の親の関与＞



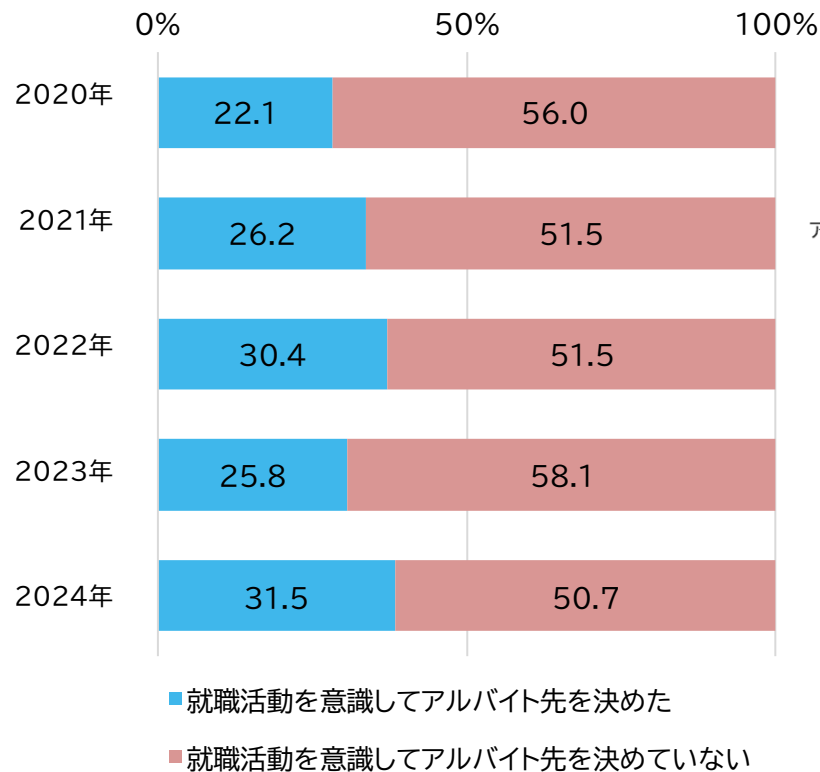
＜親の関与の仕方＞

※回答ベース：「アルバイト先を決定する際に親の関与がある」と答えた人



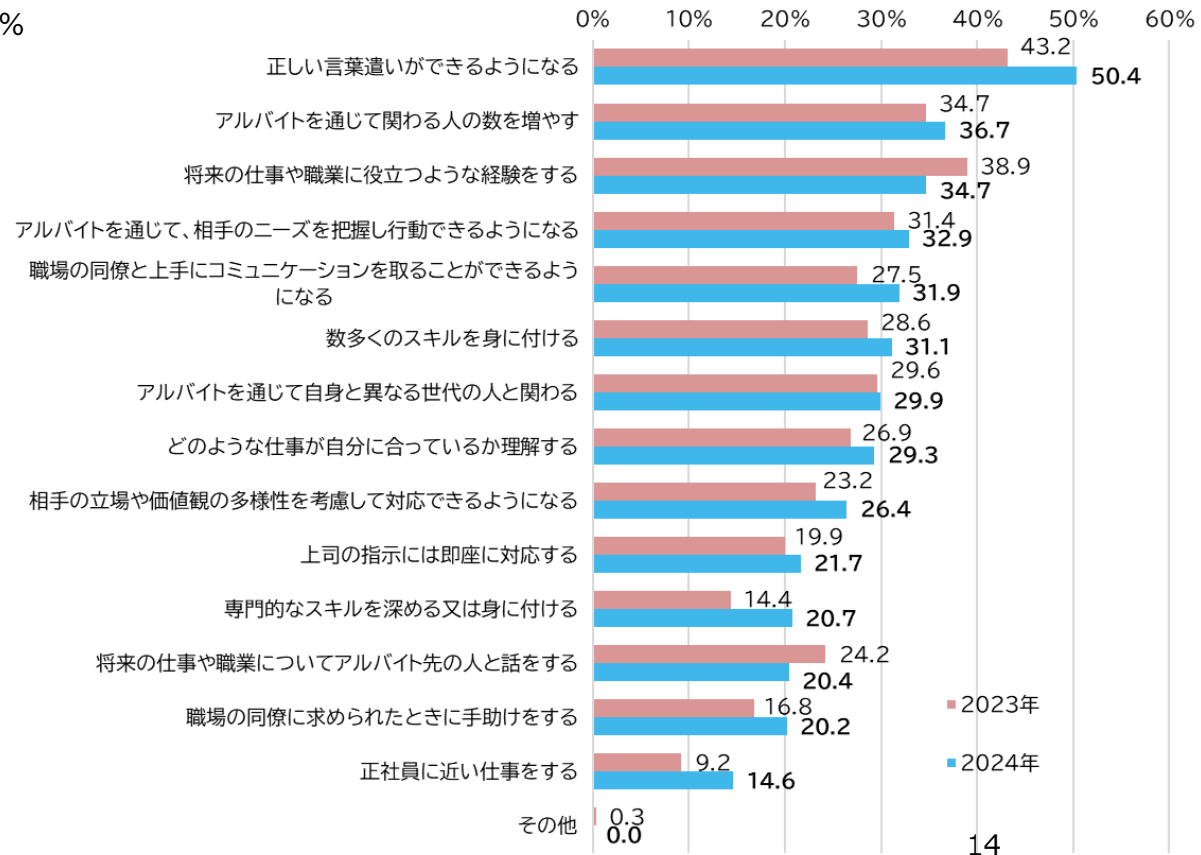
- ◆ 就職活動を意識してアルバイト先を決めた割合は31.5%で、2020年の調査開始以降最も高くなった。
- ◆ アルバイト選びの際に重視したことは、「正しい言葉遣いができるようになる」が50.4%と最も高くなった。前年と比べると、「正しい言葉遣いができるようになる」が7.2pt増と最も増加し、次いで「専門的なスキルを深める又は身に付ける」が6.3pt増、「正社員に近い仕事をする」が5.4pt増となった。
- ◆ ビジネスマナーに加えて、専門的なスキルの習得を意識してアルバイト選びを行う大学生が増えた様子がうかがえた。新卒採用で職種別採用が広がり、必要スキルの透明化が進んだことが影響しているとみられる。

就職活動を意識してアルバイト先を決めた割合



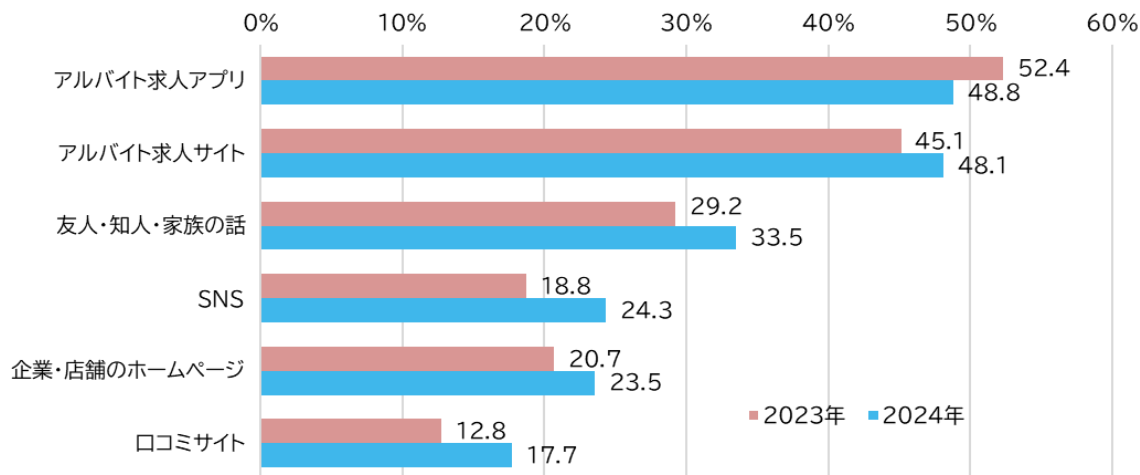
就職活動を意識してアルバイト先を決めた際の重視項目

※回答ベース：就職活動を意識してアルバイト先を決めた人

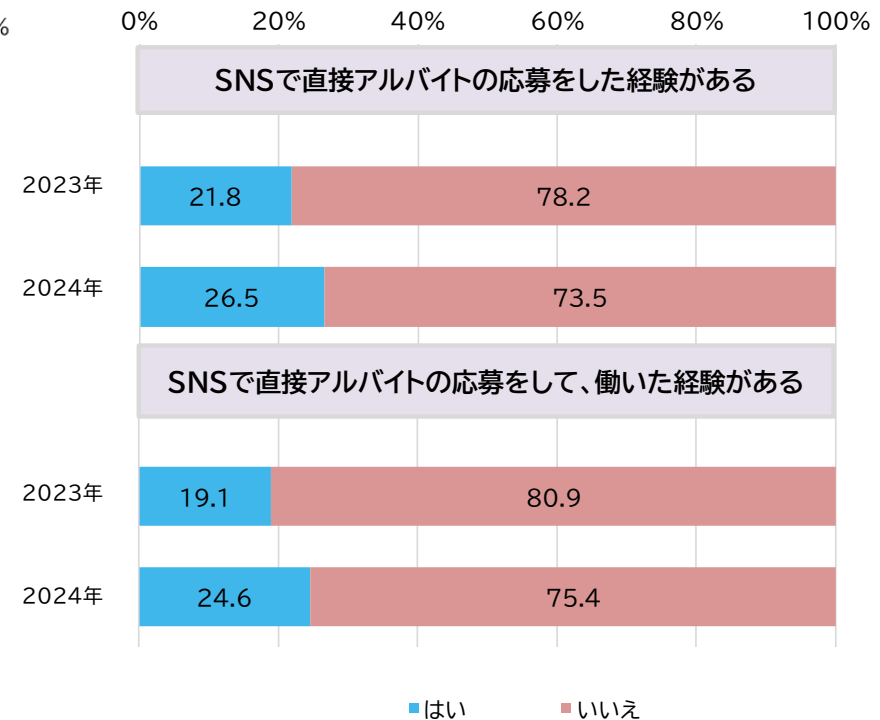


- ◆アルバイト探しの情報収集源は、「アルバイト求人アプリ（48.8%）」が最も高く、前年と比べると「SNS」が5.5pt増と最も増加した。
- ◆SNS経由での応募経験がある割合は26.5%で前年比4.7pt増、SNS経由で働いた経験がある割合は24.6%で前年比5.5pt増で、SNS経由でのアルバイト探し・応募経験がある大学生が増えた様子がうかがえた。一方、SNSで怪しい求人の勧誘を受けた割合は16.6%で6人に1人程度となり、SNSの危険な一面も見られた。

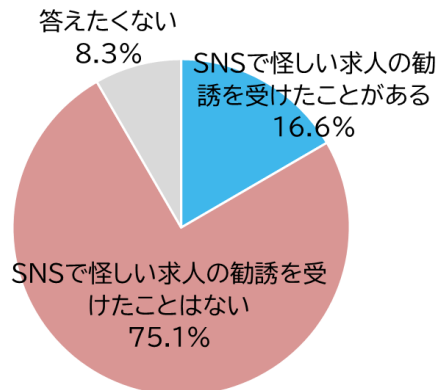
<アルバイト探しでの情報収集源（一部抜粋）>



<SNS経由でのアルバイト応募経験・働いた経験>



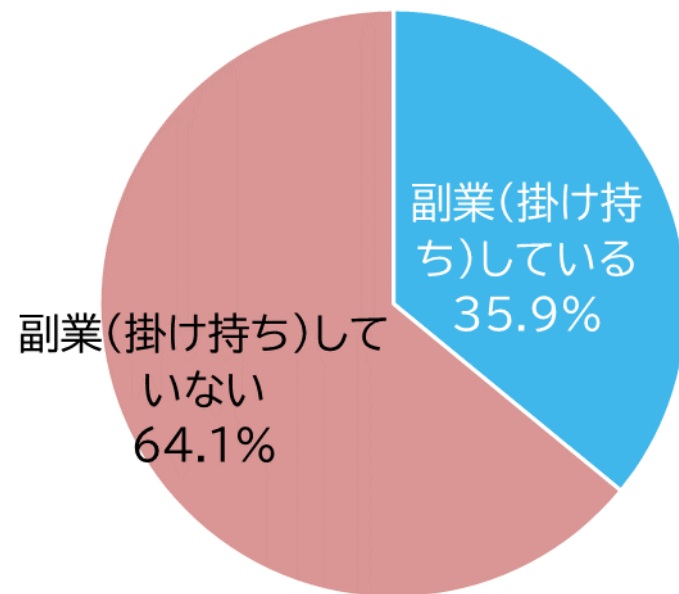
< SNS経由で怪しい求人の勧誘を受けた経験 >



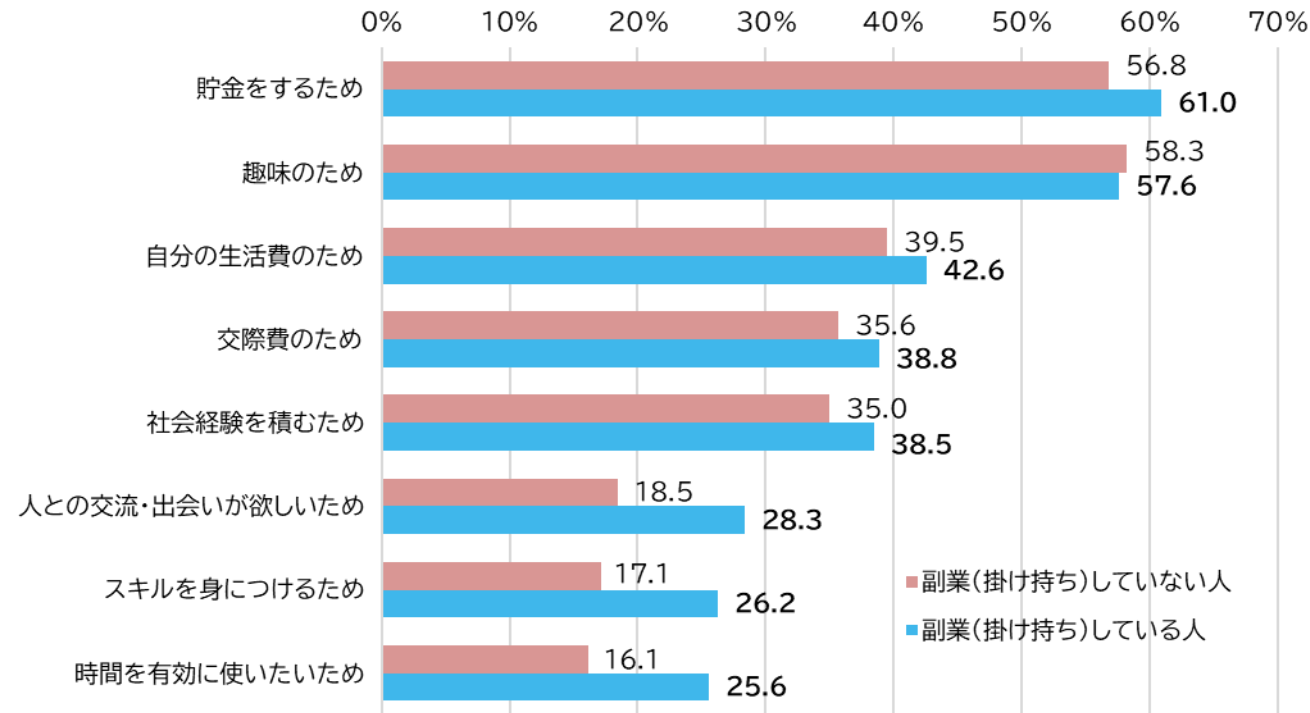
- ◆ 副業している割合は35.9%で3人に1人以上。
- ◆ 副業している大学生のアルバイトをしている目的は「貯金をするため（61.0%）」が最も高く、次いで「趣味のため（57.6%）」となった。また、副業している人はしていない人より「人との交流・出会いが欲しいため」が+9.8ptと最も大きく上回り、次いで「時間を有効に使いたいため」が+9.5pt、「スキルを身につけるため」が+9.1ptとなった。
- ◆ 社会でのリアルな繋がりやスキルの習得に加えて、隙間時間の活用といった「タイムパフォーマンス（タイパ）」（※1）を意識している様子がみられた。※1：費やした時間に対するパフォーマンスのよさをいう。

副業（掛け持ち）有無

※回答ベース：2つ以上アルバイトをしている人



副業（掛け持ち）有無別 アルバイトの目的

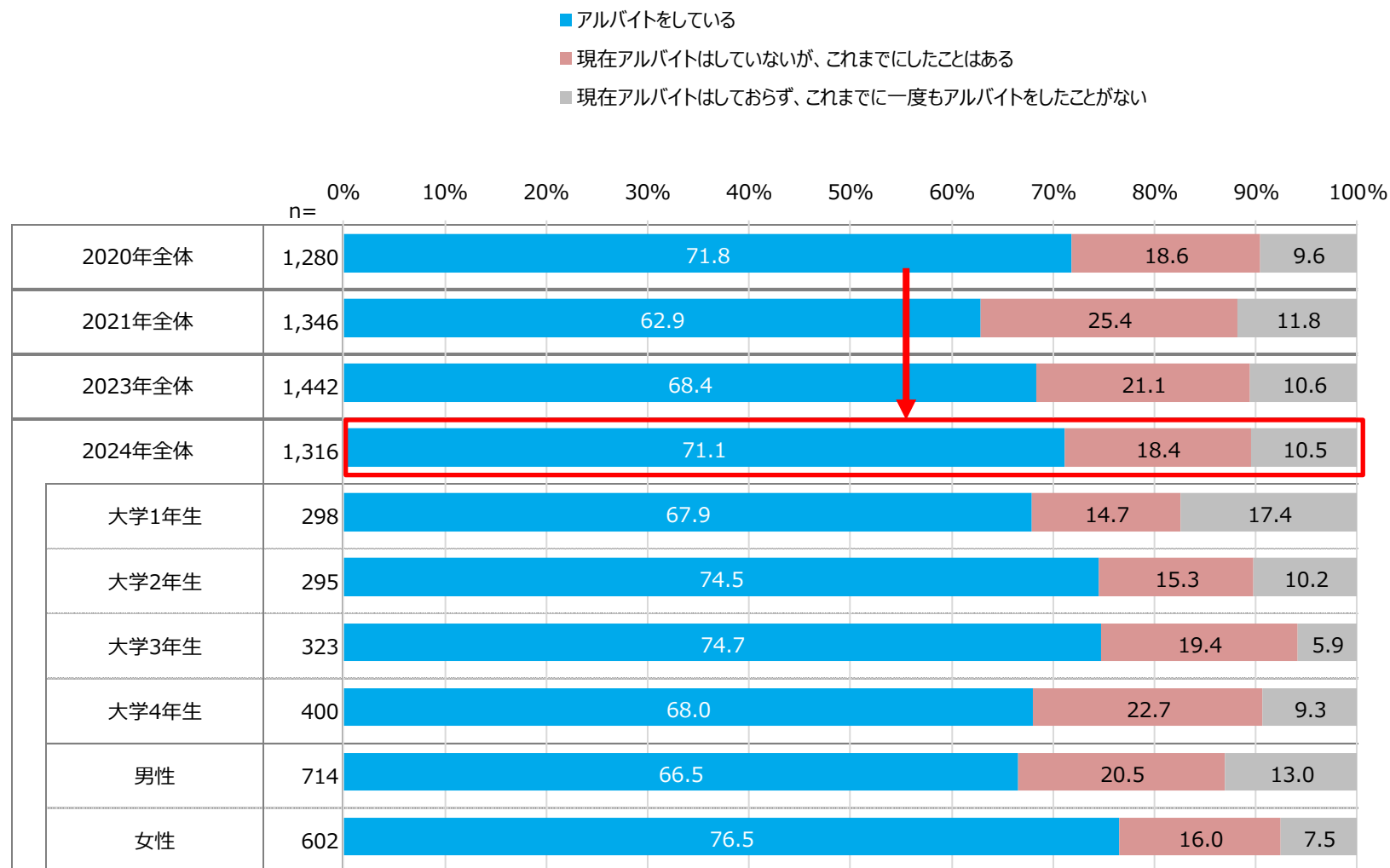


1. アルバイト就業実態

1-1. アルバイト就業状況

- ◆ 2024年全体では、「アルバイトをしている（現在アルバイト就業中）」は71.1%、「現在アルバイトはしていないが、これまでにしたことはある（就業経験あり、現在は非就業）」は18.4%、「現在アルバイトはしておらず、これまでに一度もアルバイトをしたことがない（就業経験なし）」は10.5%となった。
- ◆ アルバイトをしている割合は、2020年と同水準まで回復。

Q あなたは現在アルバイトをしていますか。【※回答ベース：18～23歳の大学1～4年生】（単一回答）



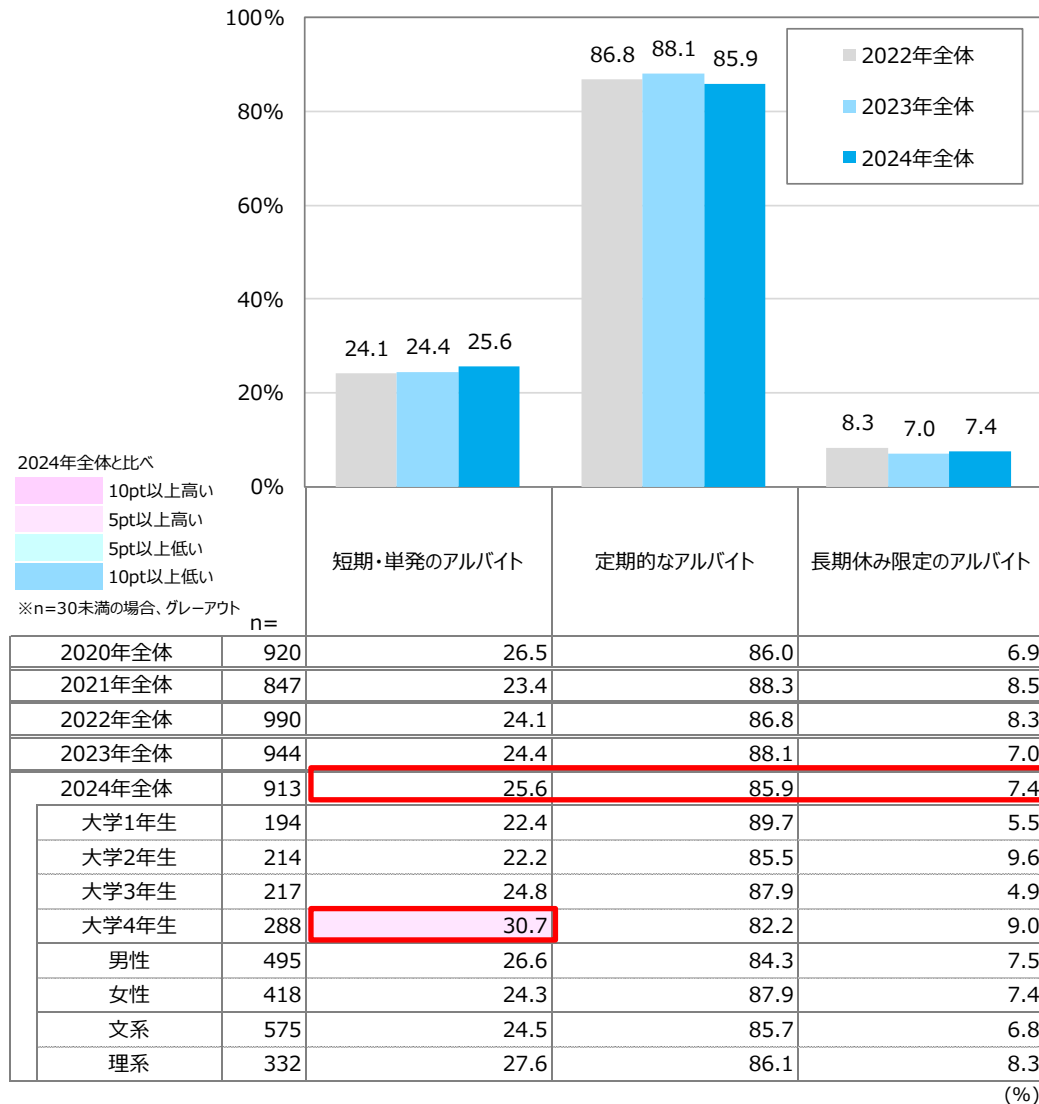
※SCR調査（事前調査）で聴取した対象を含む結果で算出している

※2022年は調査時期が異なるため比較していない

1-2. アルバイトの形態

- ◆ 2024年全体では、「定期的なアルバイト」が85.9%とほとんどを占め、次いで「短期・単発のアルバイト」が25.6%、「長期休み限定のアルバイト」が7.4%となり、前年と同様の傾向。
- ◆ [大学4年生] で「短期・単発のアルバイト」が多い。

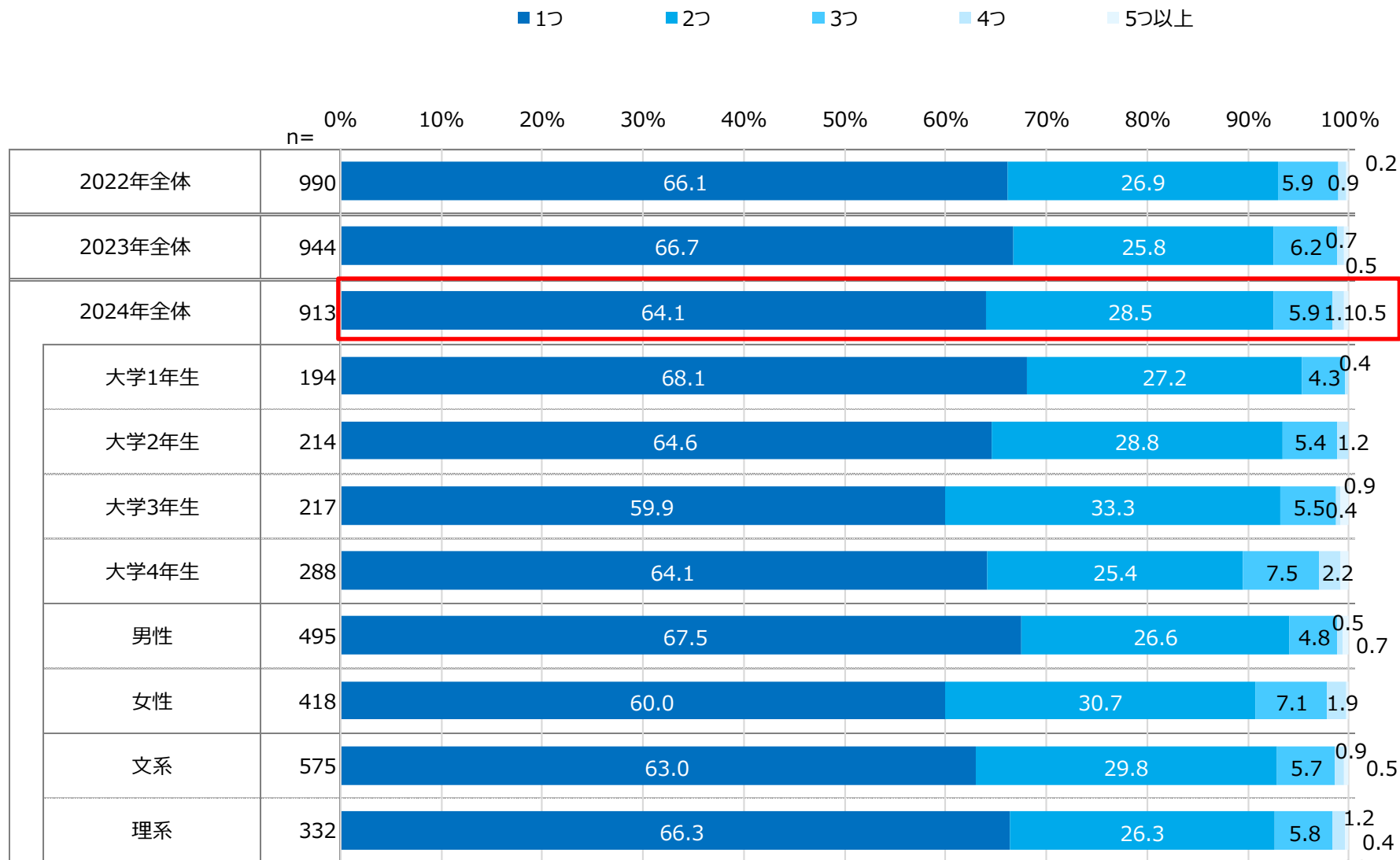
Q あなたが現在しているアルバイトは以下のどの形態に当てはまりますか。複数のアルバイトを掛け持ちしている場合は複数選択してください。（複数回答）



1-3. アルバイトをしている数

- ◆ 2024年全体では、「1つ」が64.1%と最も高く、次いで「2つ」が28.5%、「3つ」が5.9%となった。
- ◆ 副業している割合は35.9%で大学生の3人に1人以上となった。

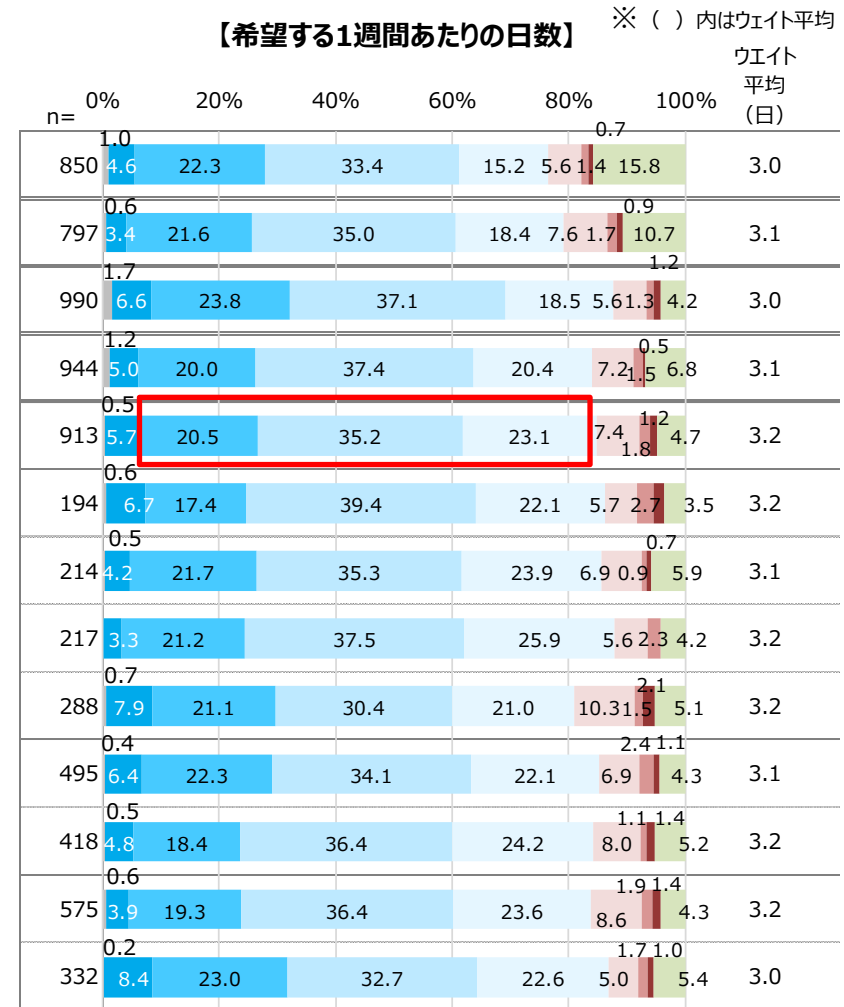
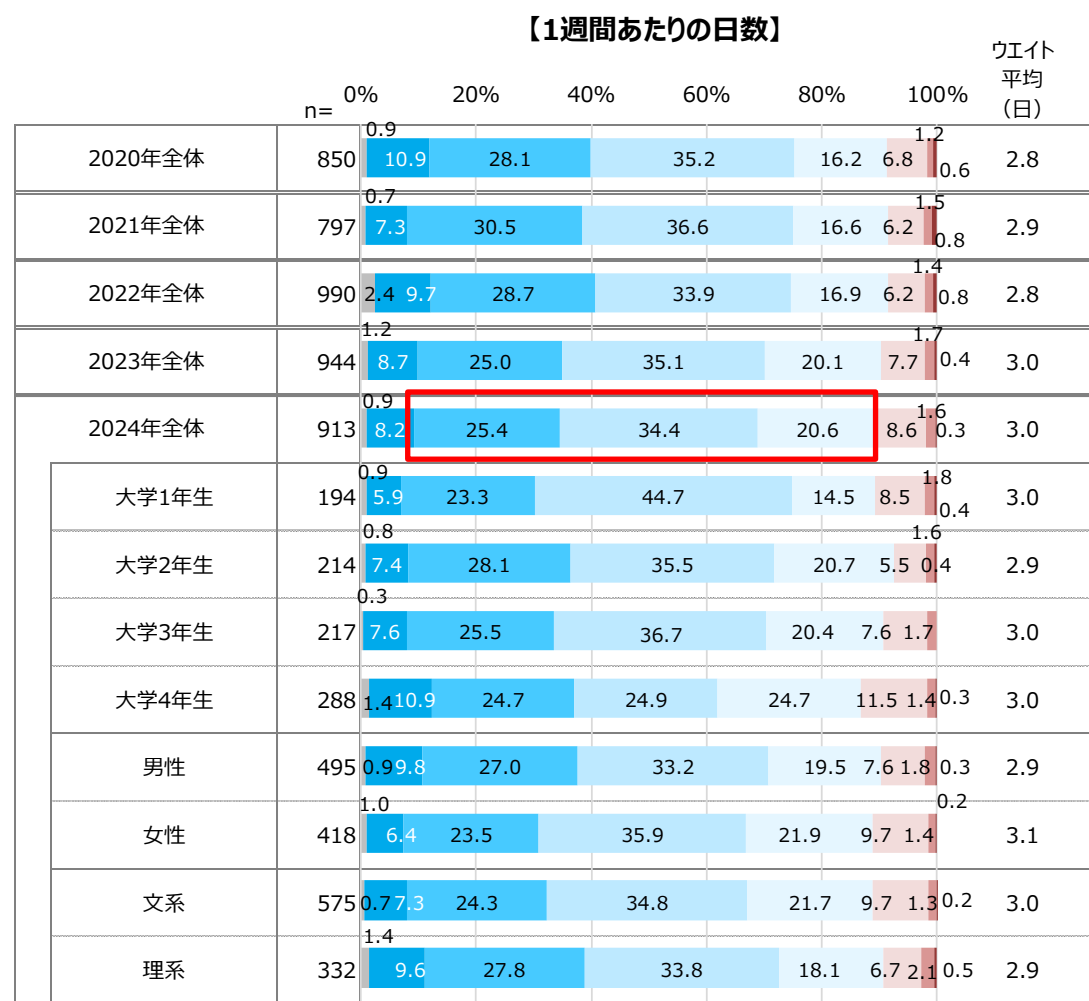
Q あなたは現在いくつのアルバイトをしていますか。（単一回答）



1-4. 1週間あたりの平均アルバイト日数（実態／希望）

- ◆ 1週間あたりのアルバイト日数を2024年全体でみると、「3日」が34.4%と最も高く、次いで「2日」が25.4%、「4日」が20.6%となった。
- ◆ 希望する1週間あたりのアルバイト日数を2024年全体でみると、「3日」が35.2%と最も高く、次いで「4日」が23.1%、「2日」が20.5%となった。
- ◆ ウェイト平均は、1週間あたりの平均が3.0日、希望する1週間あたりの日数が3.2日となり、希望が実態をやや上回った。

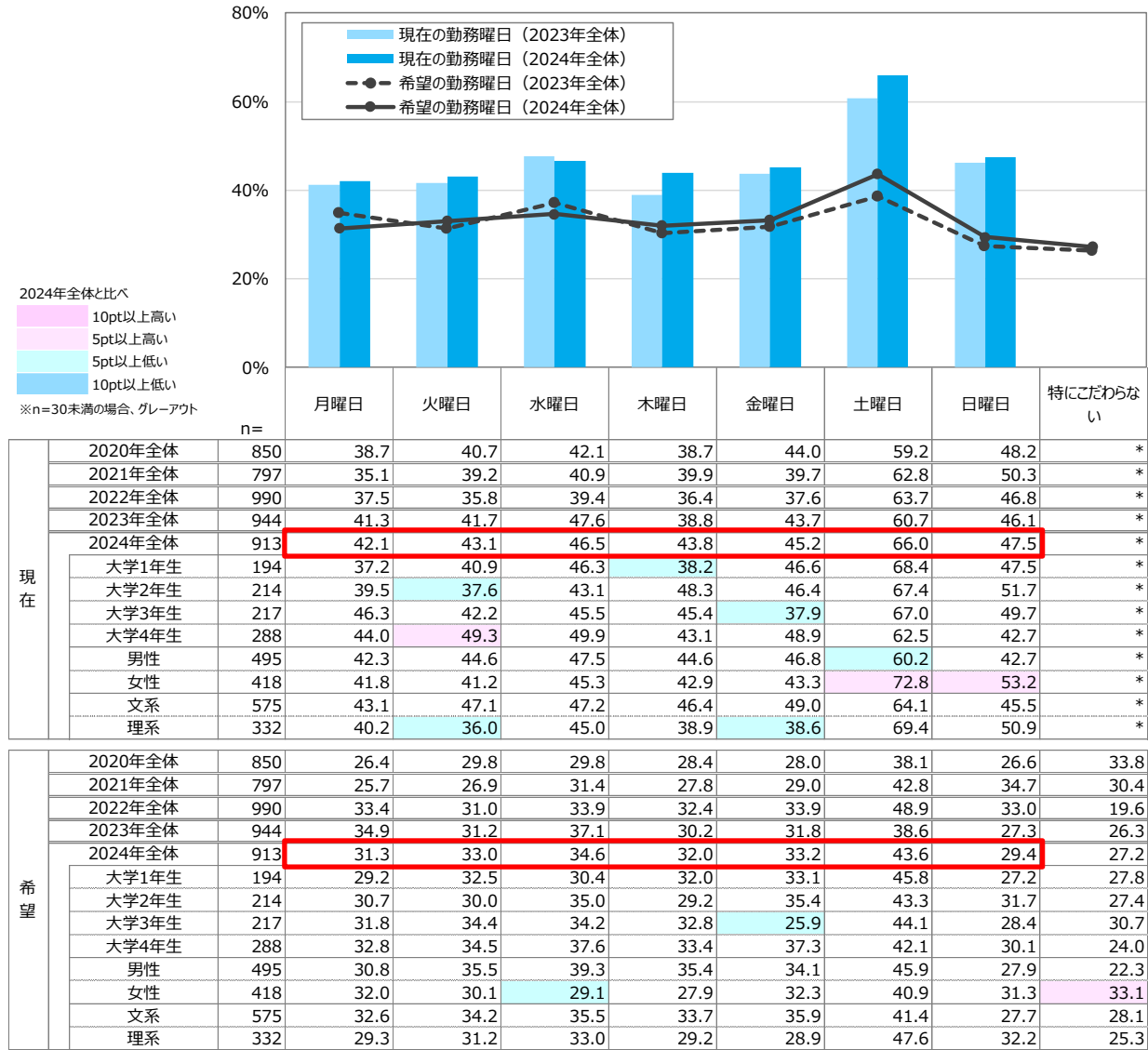
Q 1週間の平均的なアルバイト日数、および希望する1週間あたりのアルバイト日数をお答えください。（単一回答）



1-5. アルバイトをしている曜日（実態／希望）

- ◆ 現在のアルバイト曜日を2024年全体でみると、「平日」は4割前後、「土曜日」が7割弱で最多、「日曜日」が約5割となった。
- ◆ 希望のアルバイト曜日を2024年全体でみると、「平日」「日曜日」は3割前後、「土曜日」が約4割で最も高い。

Q アルバイトをしている曜日、およびアルバイトを希望する曜日をお答えください。※固定シフトでない方は、アルバイトをしていることが多い曜日をお答えください。（複数回答）

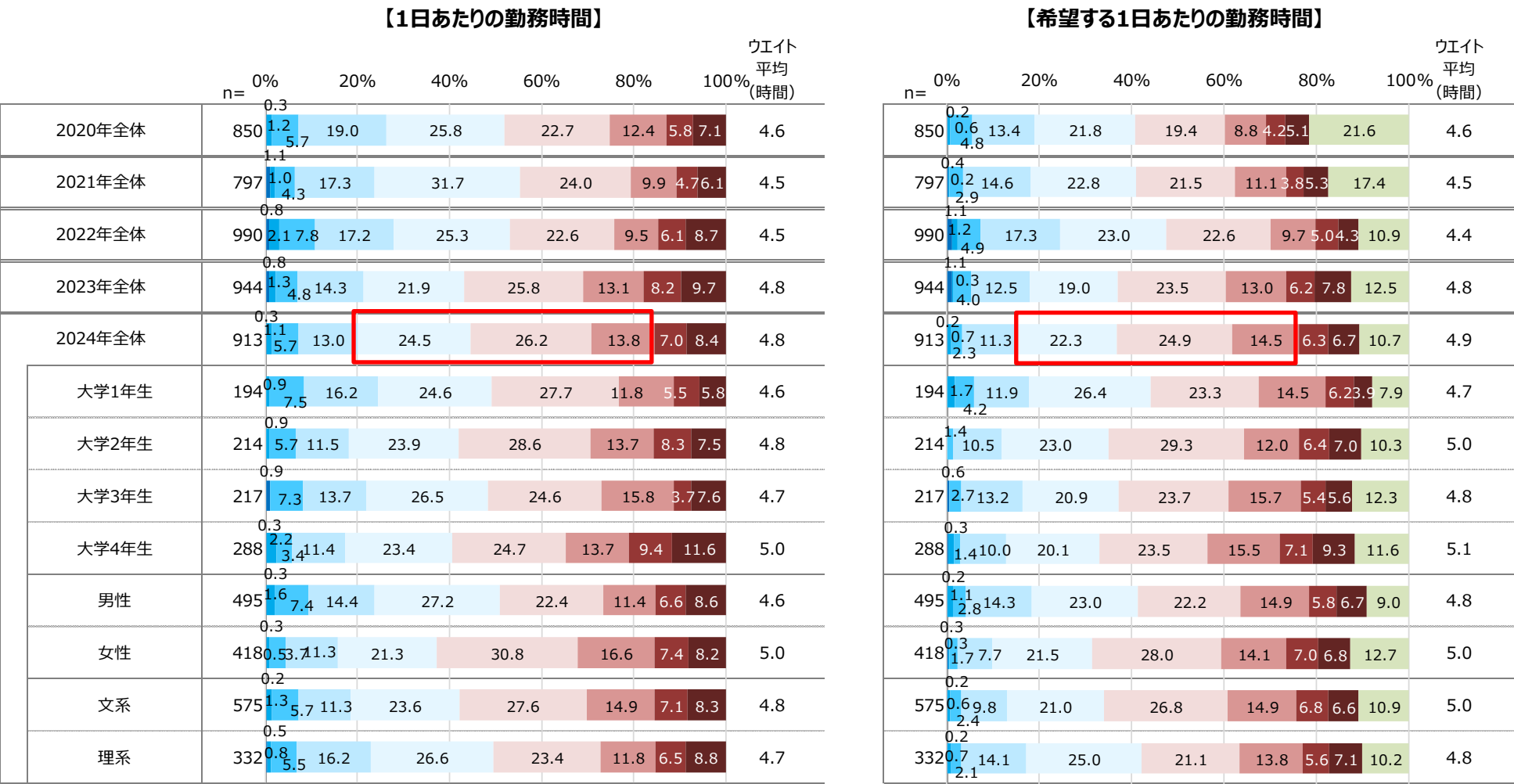


*は非聴取選択肢（%）

1-6. 1日あたりの平均アルバイト時間（実態／希望）

- ◆ 1日あたりのアルバイト勤務時間を2024年全体でみると、「5時間程度」が26.2%と最も高く、次いで「4時間程度」が24.5%、「6時間程度」が13.8%となった。
- ◆ 希望する1日あたりのアルバイト勤務時間を2024年全体でみると、「5時間程度」が24.9%と最も高く、次いで「4時間程度」が22.3%、「6時間程度」が14.5%となった。
- ◆ 実態と希望は概ね同様の分布となっている。

Q 1日あたりの平均的な勤務時間、および希望する1日あたりの勤務時間をお答えください。※固定シフトでない方も、最も勤務することが多い時間をお答えください。（単一回答）

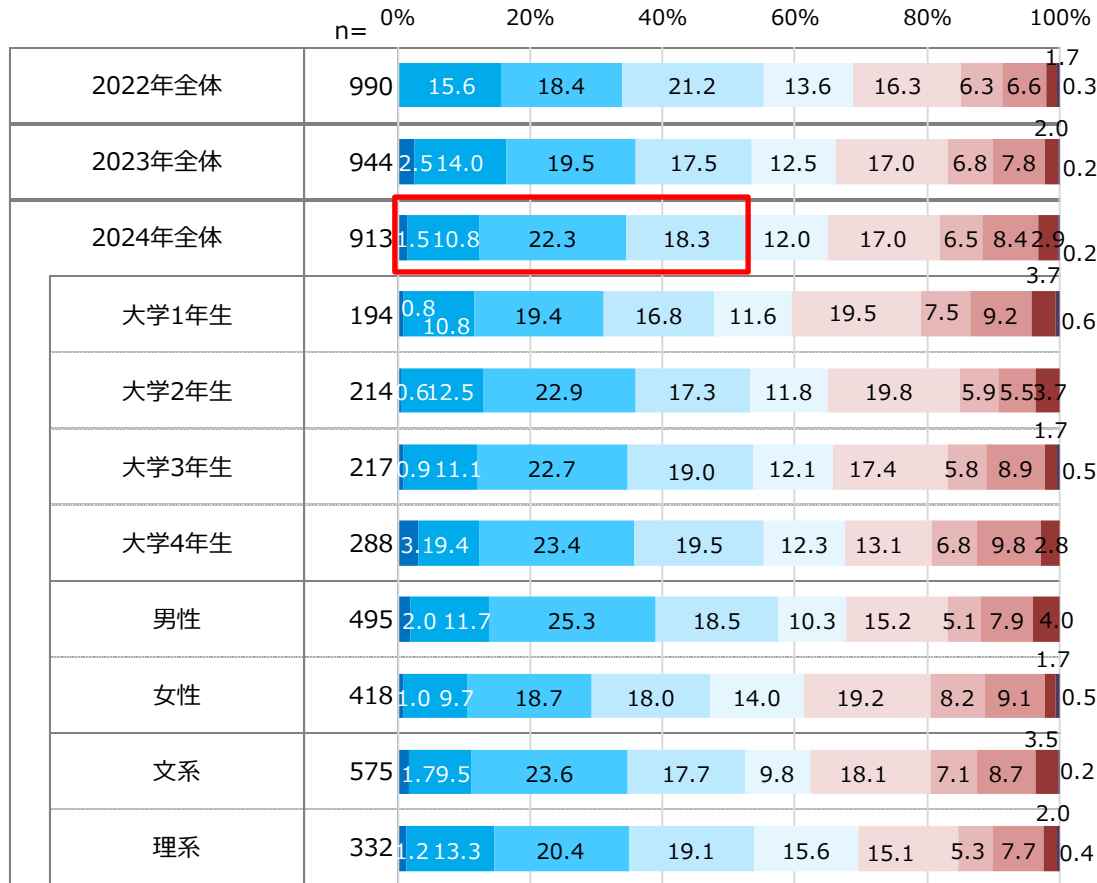


1-7. アルバイト先への通勤時間（実態／希望）

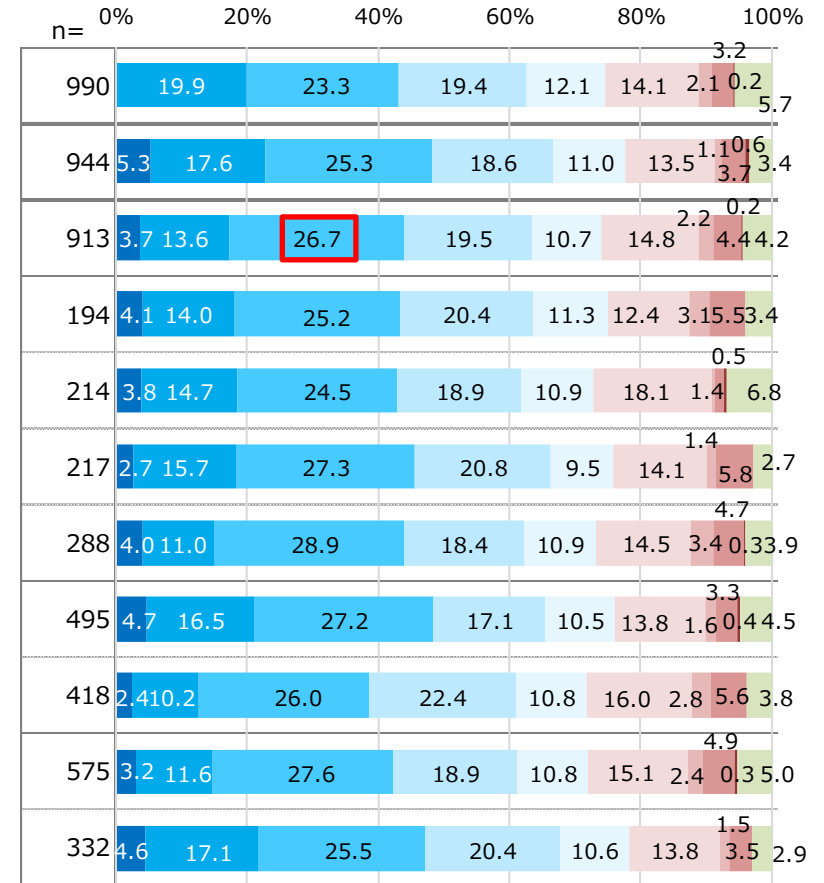
- ◆ 現在のアルバイト先への通勤時間を2024年全体でみると、「自宅から10分以内」が22.3%と最も高く、次いで「自宅から15分以内」が18.3%となり、15分以下で約半数となる。
- ◆ 希望するアルバイト先への勤務時間を2024年全体でみると、「自宅から10分以内」が26.7%と最も高くなっており、15分以下で約6割となり、実態より通勤時間が短いアルバイト先の希望が多くなっている。

Q 自宅からアルバイト先への通勤時間、および希望する通勤時間をお答えください。（単一回答）

【通勤時間】



【希望する通勤時間】



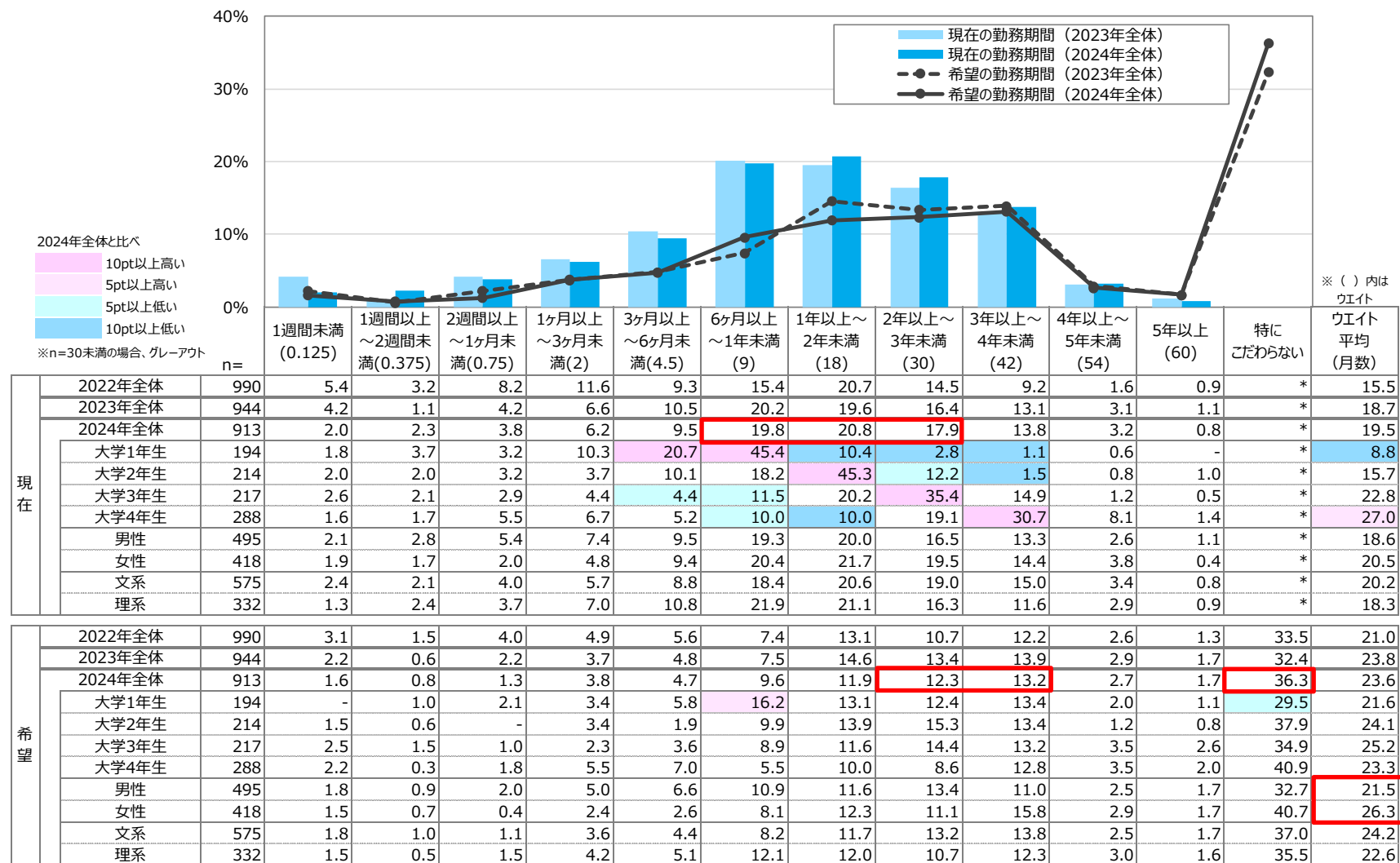
■ 自宅から50分（在宅勤務）
■ 自宅から15分以内
■ 自宅から20分以内
■ 自宅から30分以内
■ 自宅から45分以内
■ それ以上の時間

■ 自宅から5分以内
■ 自宅から10分以内
■ 自宅から20分以内
■ 自宅から30分以内
■ 自宅から45分以内
■ 自宅から1時間以内
■ 自宅から2時間以内
■ 特にこだわらない

1-8. アルバイトの勤務期間（実態／希望）

- ◆ 現在のアルバイトの勤務期間を2024年全体でみると、「1年以上～2年未満」が20.8%と最も高く、次いで「6か月以上～1年未満」が19.8%、「2年以上～3年未満」が17.9%となった。
- ◆ 希望するアルバイトの勤務期間を2024年全体でみると、「特にこだわらない」が36.3%と最も高く、次いで「3年以上～4年未満」が13.2%、「2年以上～3年未満」が12.3%となった。
- ◆ 希望するアルバイトの勤務期間について、性別では【女性】でウェイト平均が26.3カ月と【男性】の21.5カ月より4.8カ月高くなり、長くアルバイトを続けたいと思っている傾向にある。

Q アルバイトの勤務期間、および希望する勤務期間をお答えください。（単一回答）



*は非聴取選択肢（%）

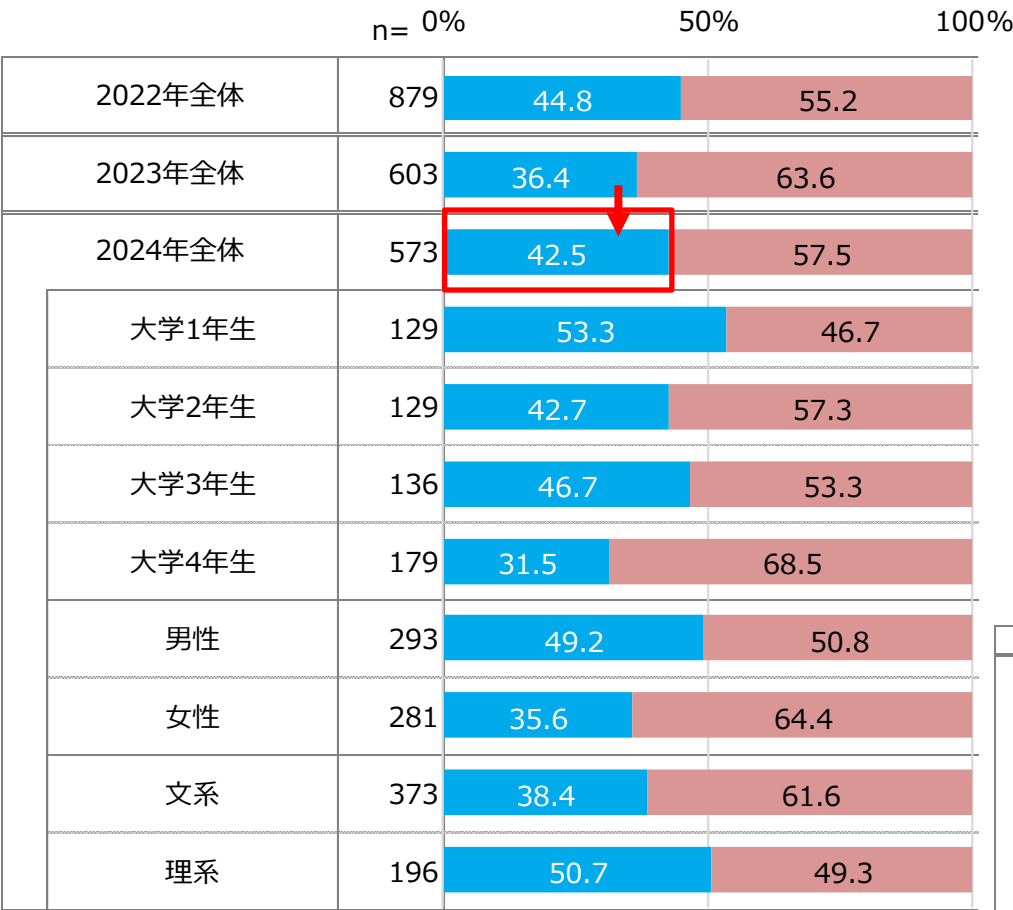
1-9. 1カ月あたりのお小遣いの金額

- ◆ 1カ月あたりのお小遣いを2024年全体でみると、「お小遣いをもらっている」は42.5%で、前年と比べると増加した。
- ◆ お小遣いをもらっている金額は、「1万円以上～2万円未満」で約3割と最も高くなった。

Q あなたの一カ月あたりの平均的な親などからのお小遣いの金額をお答えください。（数値回答）
※回答ベース：答えたくない除く

【親などからお小遣いをもらっているか】

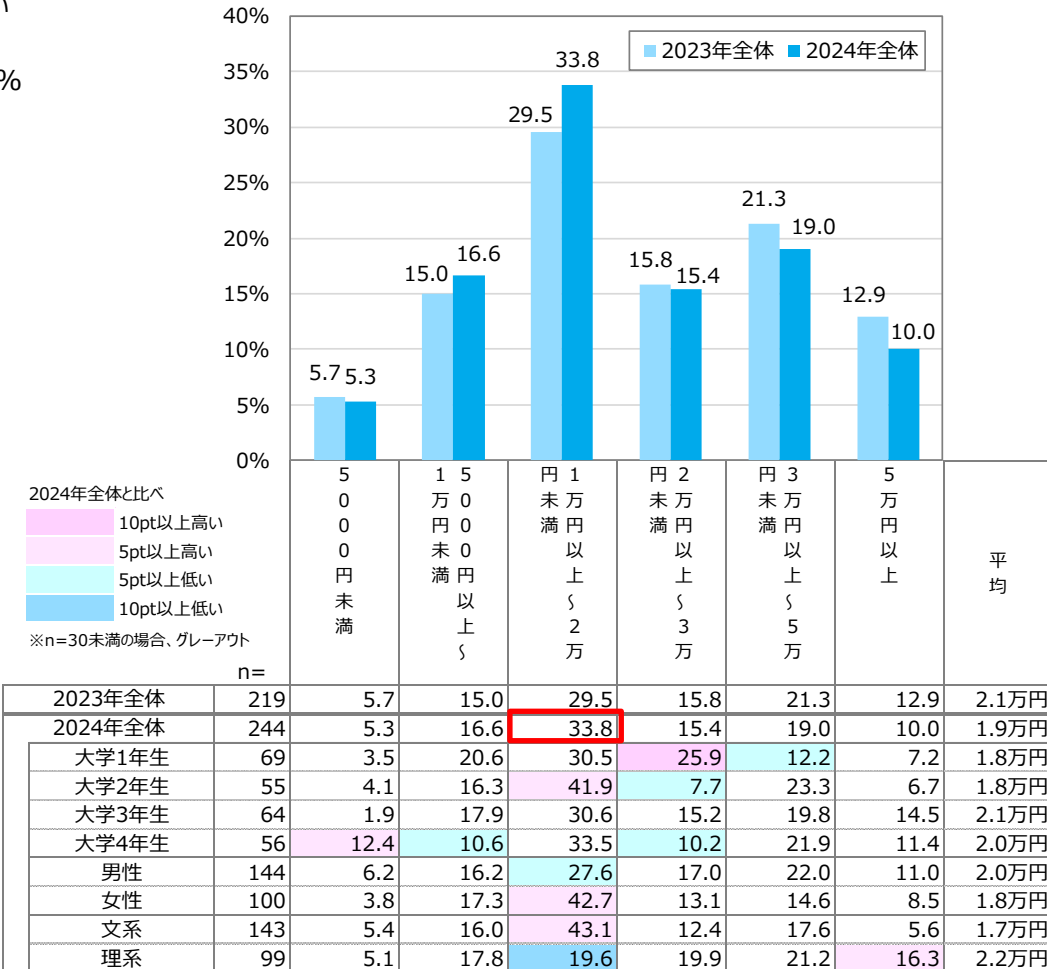
■ お小遣いをもらっている ■ お小遣いをもらっていない



※2023年調査結果は集計方法を変えて再集計

※お小遣いの金額は2022年は聴取方法が異なるため、比較していない

【お小遣いの金額】 ※回答ベース：お小遣いあり

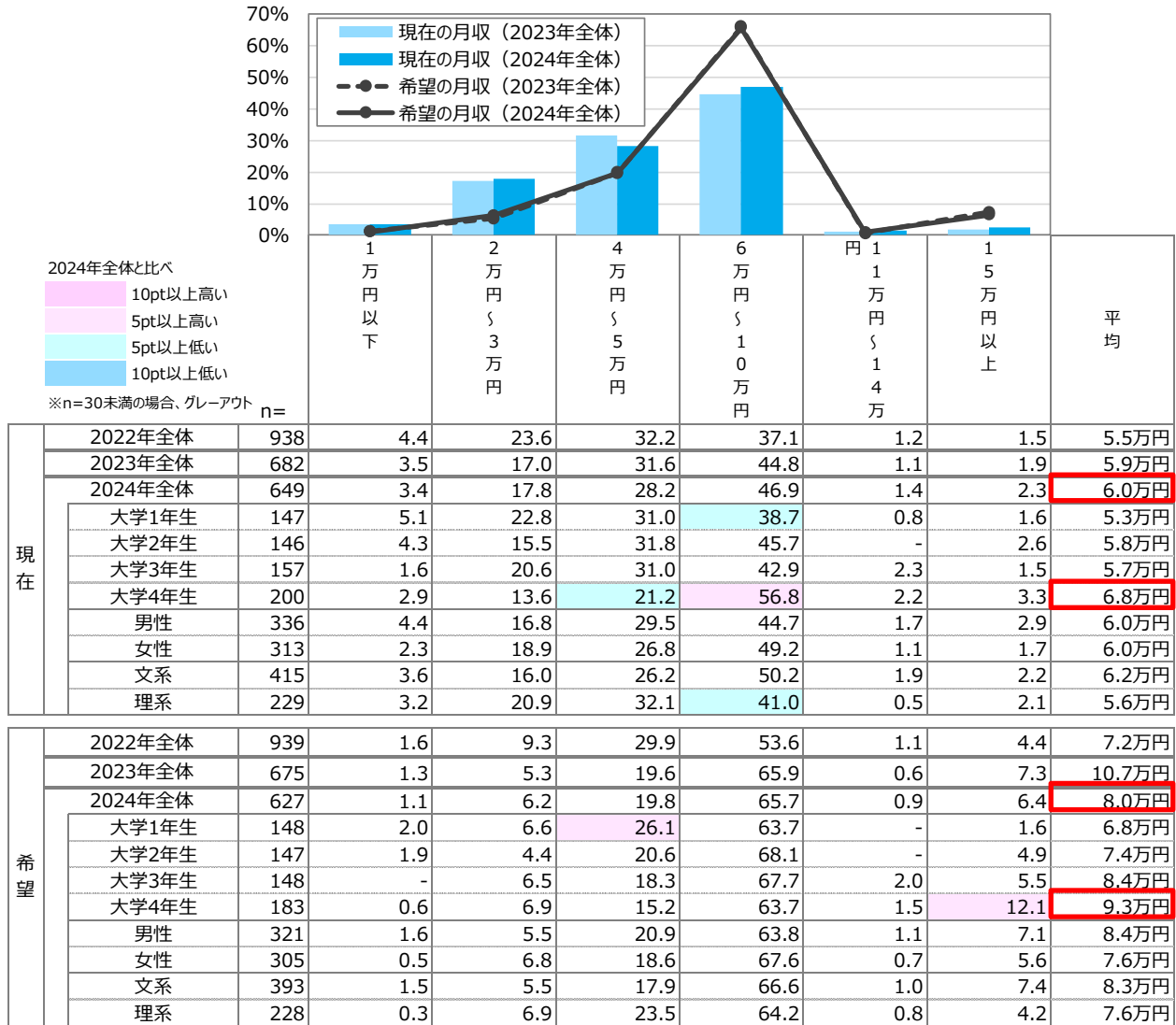


※2023年調査結果は集計方法を変えて再集計(%)

1-10. 1カ月あたりのアルバイトの収入（実態／希望）

- ◆ 2024年全体では、現在の1カ月あたりのアルバイトの収入平均は6.0万円、希望するアルバイトの収入平均は8.0万円となり、実態よりも2.0万円希望の金額が多い。
- ◆ 学年別では、現在の1カ月あたりのアルバイトの収入平均は【大学4年生】が6.8万円と最も高く、希望するアルバイトの収入平均も【大学4年生】が9.3万円と最も高くなった。

Q あなたの1カ月あたりの平均的なアルバイトの収入をお答えください。※額面でなく、手取り（実際の振込額など）でお答えください。（数値回答）
 ※回答ベース：答えたくない除く



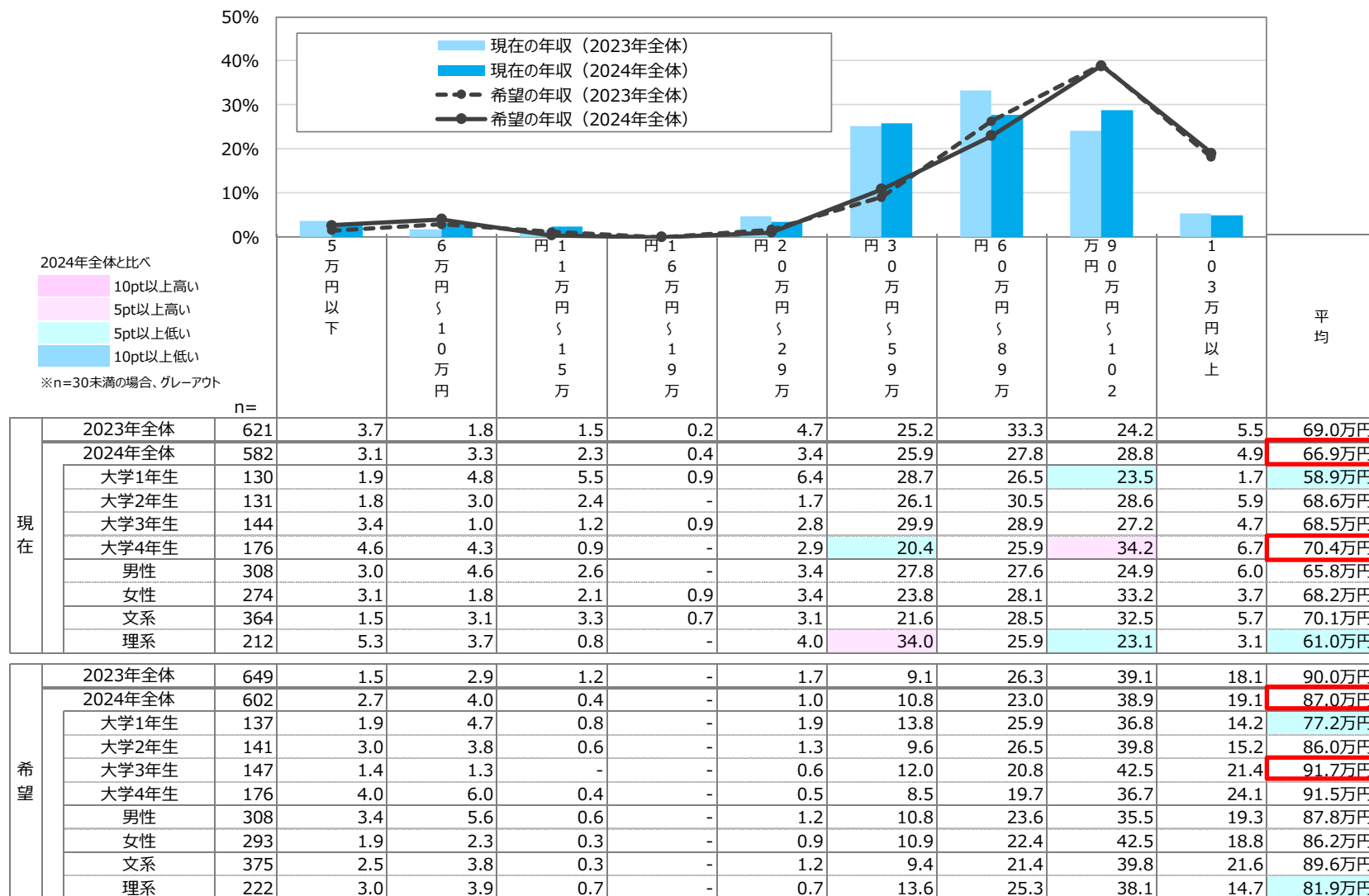
※2023年調査結果は集計方法を変えて再集計(%)

1-11. アルバイトの年収（実態／希望）

- ◆ 2024年全体では、現在のアルバイトの年収平均は66.9万円、希望するアルバイトの年収平均は87.0万円となり、実態よりも20.1万円希望の金額が多い。
- ◆ 学年別では、現在のアルバイトの年収平均は「大学4年生」が70.4万円と最も高く、希望するアルバイトの年収平均も「大学3年生」が91.7万円と最も高くなった。

Q あなたのアルバイトの年収をお答えください。※額面でなく、手取り（実際の振込額など）でお答えください。（数値回答）

※回答ベース：答えたくない除く

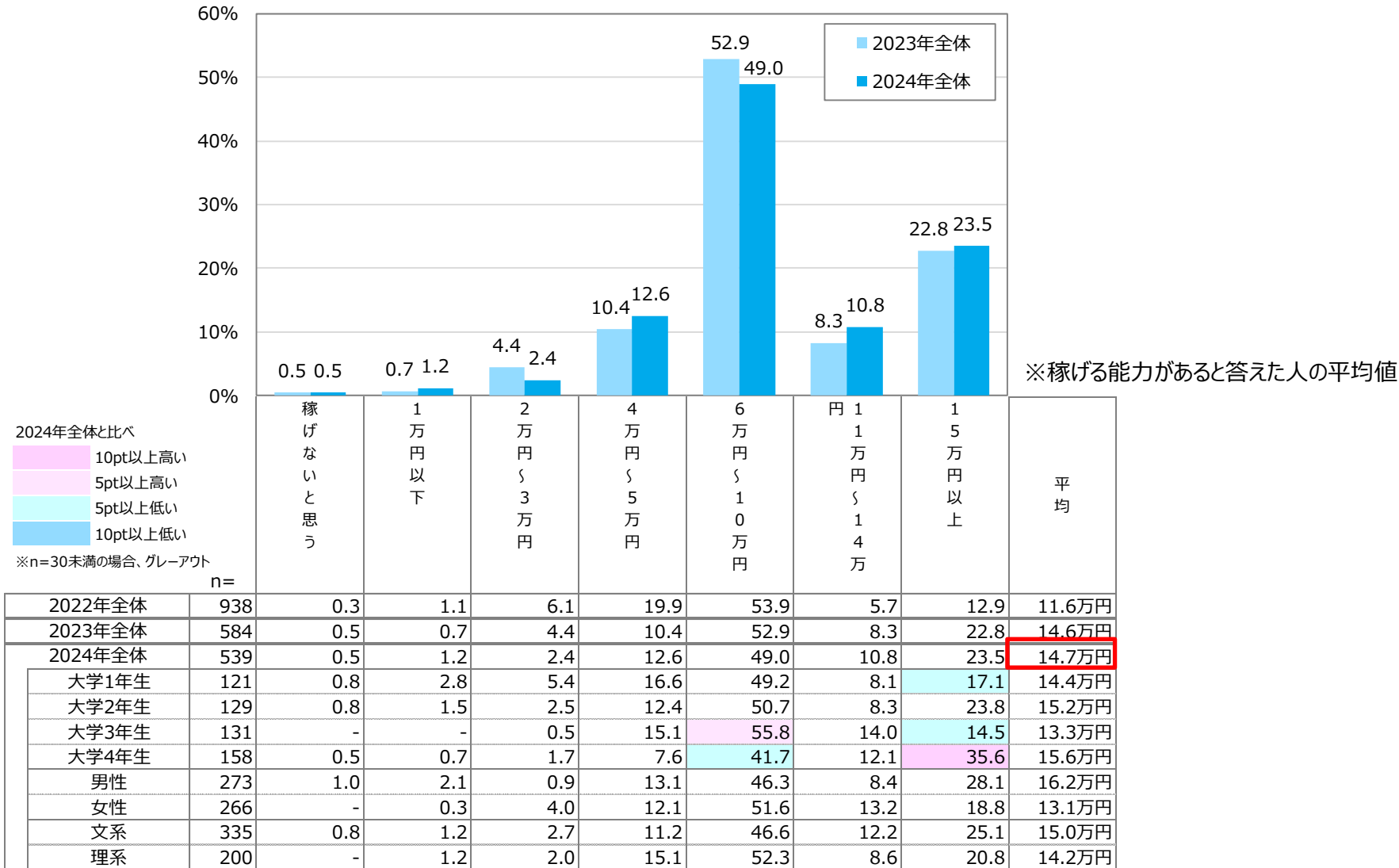


※2023年調査結果は集計方法を変えて再集計(%)

1-12. 自分の能力で稼げると思う月収

◆ 2024年全体では、1カ月あたりの自分の能力で最大限稼げると思う収入平均は14.7万円となった。

Q あなたの1カ月あたりの平均的な自分の能力で最大限これくらい稼げると思う収入をお答えください。（数値回答）
※回答ベース：答えたくない除く



※2023年調査結果は集計方法を変えて再集計(%)

1-13. 現在の貯金額

- ◆ 2024年全体では、「貯金がある」は9割を占めた。現在の貯金額平均は45.6万円となった。
- ◆ 学年別では、現在の貯金額平均は「大学4年生」が46.6万円と最も高く、高学年ほど高くなった。

Q あなたの現在の貯金額をお答えください。（数値回答）

※回答ベース：答えたくない除く

【貯金の有無】

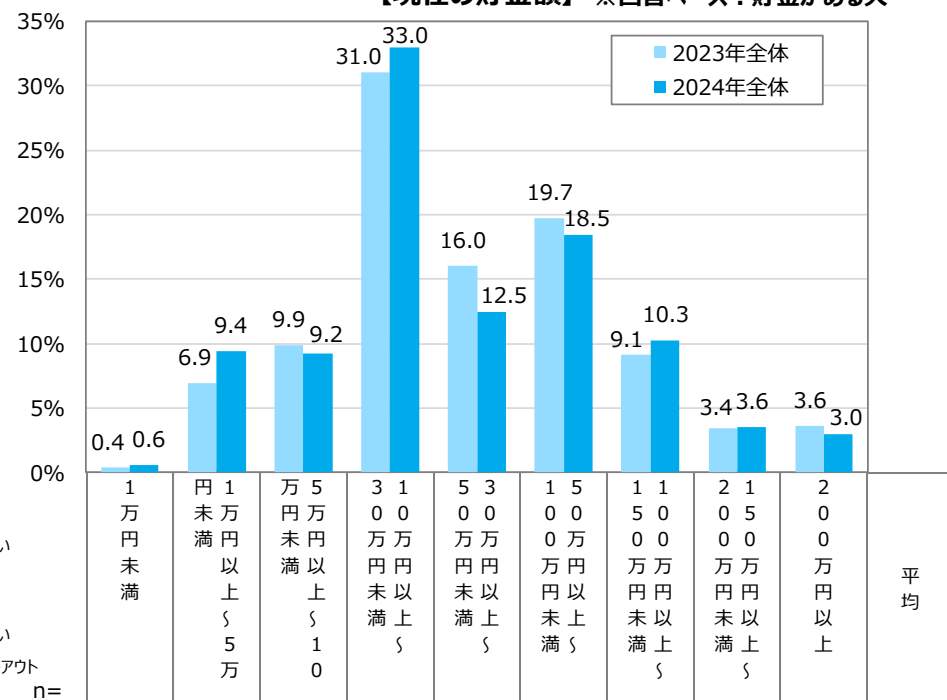
■ 貯金がある ■ 貯金はない

n= 75% 80% 85% 90% 95% 100%

2023年全体	486	90.2	9.8
2024年全体	444	92.9	7.1
大学1年生	107	94.5	5.5
大学2年生	99	86.6	13.4
大学3年生	109	93.3	6.7
大学4年生	130	95.9	4.1
男性	238	93.3	6.7
女性	206	92.4	7.6
文系	280	93.1	6.9
理系	159	92.3	7.7

※2023年調査結果は集計方法を変えて再集計

【現在の貯金額】 ※回答ベース：貯金がある人



2024年全体と比べ

- 10pt以上高い
- 5pt以上高い
- 5pt以上低い
- 10pt以上低い

※n=30未満の場合、グレーアウト

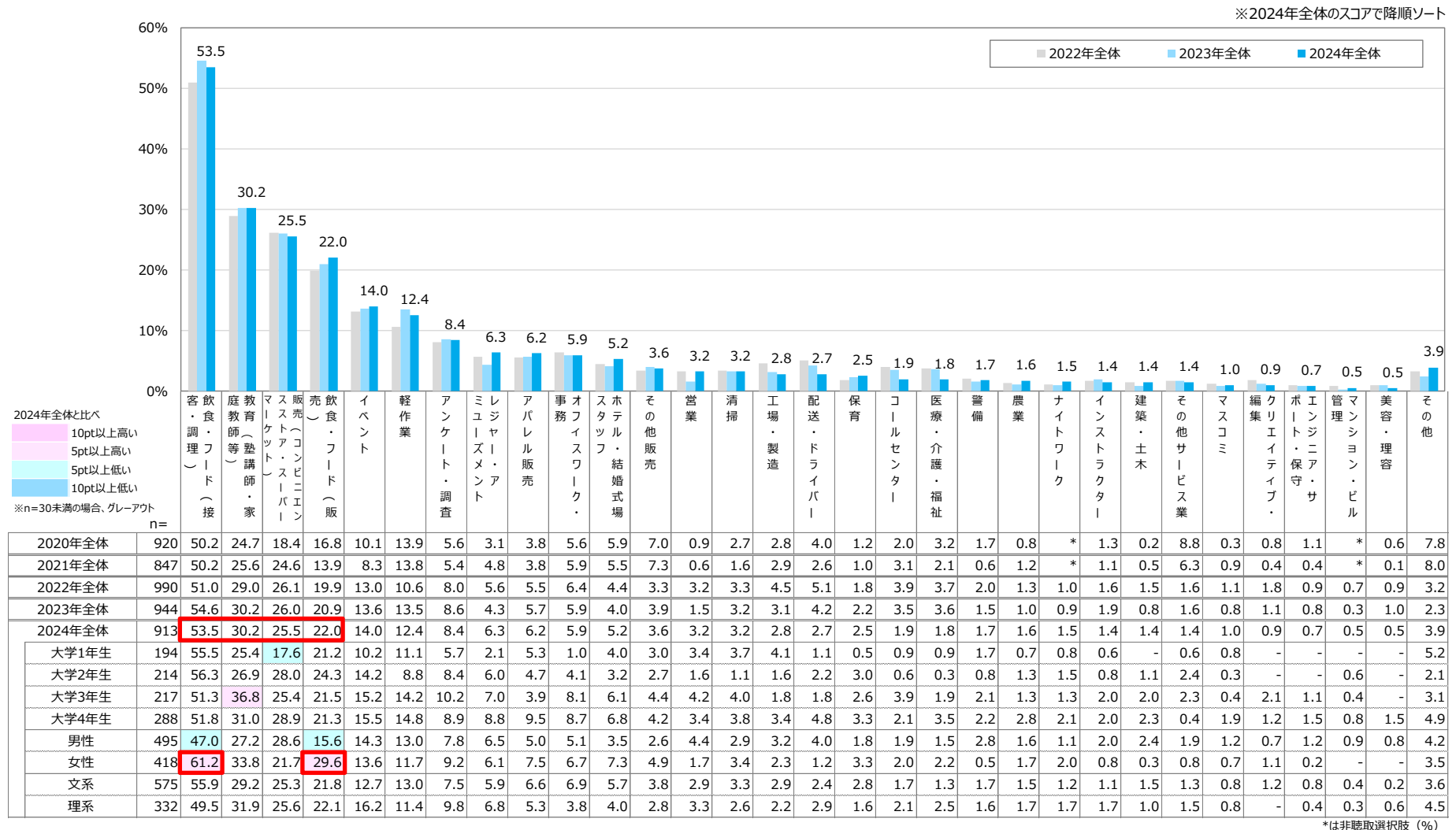
2023年全体	439	0.4	6.9	9.9	31.0	16.0	19.7	9.1	3.4	3.6	47.1万円
2024年全体	412	0.6	9.4	9.2	33.0	12.5	18.5	10.3	3.6	3.0	45.6万円
大学1年生	101	1.2	12.1	5.9	34.3	17.3	9.9	14.9	1.2	3.1	43.9万円
大学2年生	85	-	6.5	15.3	29.7	13.2	21.1	6.9	2.7	4.7	45.6万円
大学3年生	101	-	10.8	8.3	36.2	10.9	15.1	11.1	5.3	2.3	46.1万円
大学4年生	124	1.0	8.1	8.6	31.5	9.3	26.3	8.2	4.7	2.3	46.6万円
男性	222	0.5	11.5	10.7	33.2	7.9	16.3	11.1	5.2	3.5	47.0万円
女性	190	0.6	7.0	7.6	32.6	17.8	20.9	9.3	1.7	2.5	43.9万円
文系	261	0.9	9.0	10.5	32.2	12.6	19.6	8.4	3.0	3.7	45.0万円
理系	147	-	9.7	7.4	34.6	12.6	17.0	12.2	4.7	1.9	46.4万円

※2023年調査結果は集計方法を変えて再集計(%)

1-14. 経験のあるアルバイトの職種

- ◆ 経験のあるアルバイトの職種を2024年全体でみると、「飲食・フード（接客・調理）」が53.5%と最も高く半数を占め、次いで「教育（塾講師・家庭教師等）」が30.2%、「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」が25.5%、「飲食・フード（販売）」が22.0%となり、前年同様の傾向。
- ◆ 性別では、【女性】で、「飲食・フード（接客・調理）」「飲食・フード（販売）」が全体より10pt以上高く、女性で飲食・フードの職種に就いている人が多い様子がうかがえた。

Q アルバイトの職種についてお答えください。【今まで経験のある職種】（複数回答）

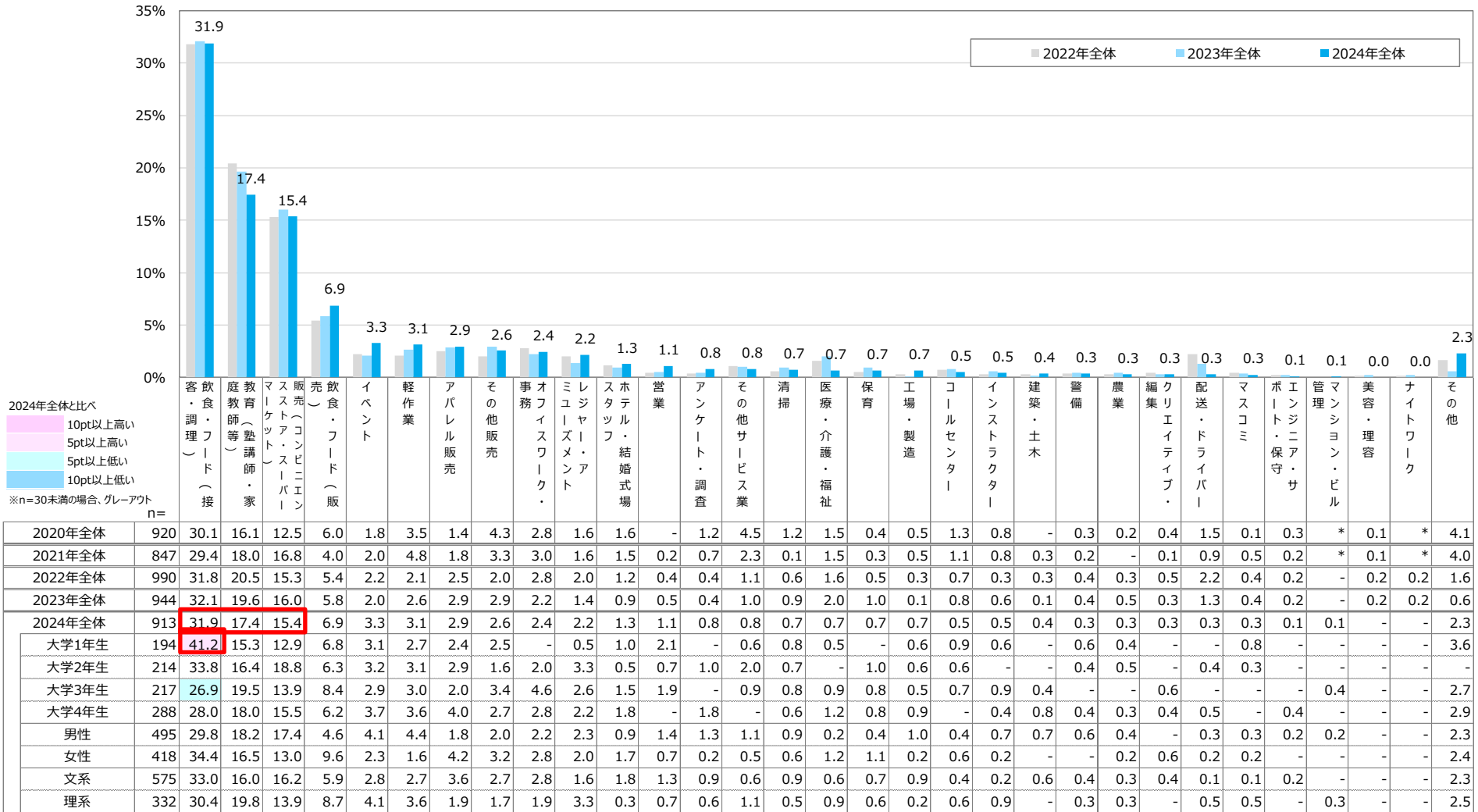


1-15. 現在のアルバイトの職種

- ◆ 現在のアルバイトの職種を2024年全体でみると、「飲食・フード（接客・調理）」が31.9%と最も高く、次いで「教育（塾講師・家庭教師等）」が17.4%、「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」が15.4%となった。
- ◆ 「飲食・フード（接客・調理）」は「大学1年生」で従事している割合が特に多く、約4割となった。

Q アルバイトの職種についてお答えください。【現在の職種（複数ある場合メインのものひとつ）】（単一回答）

※2024年全体のスコアで降順ソート



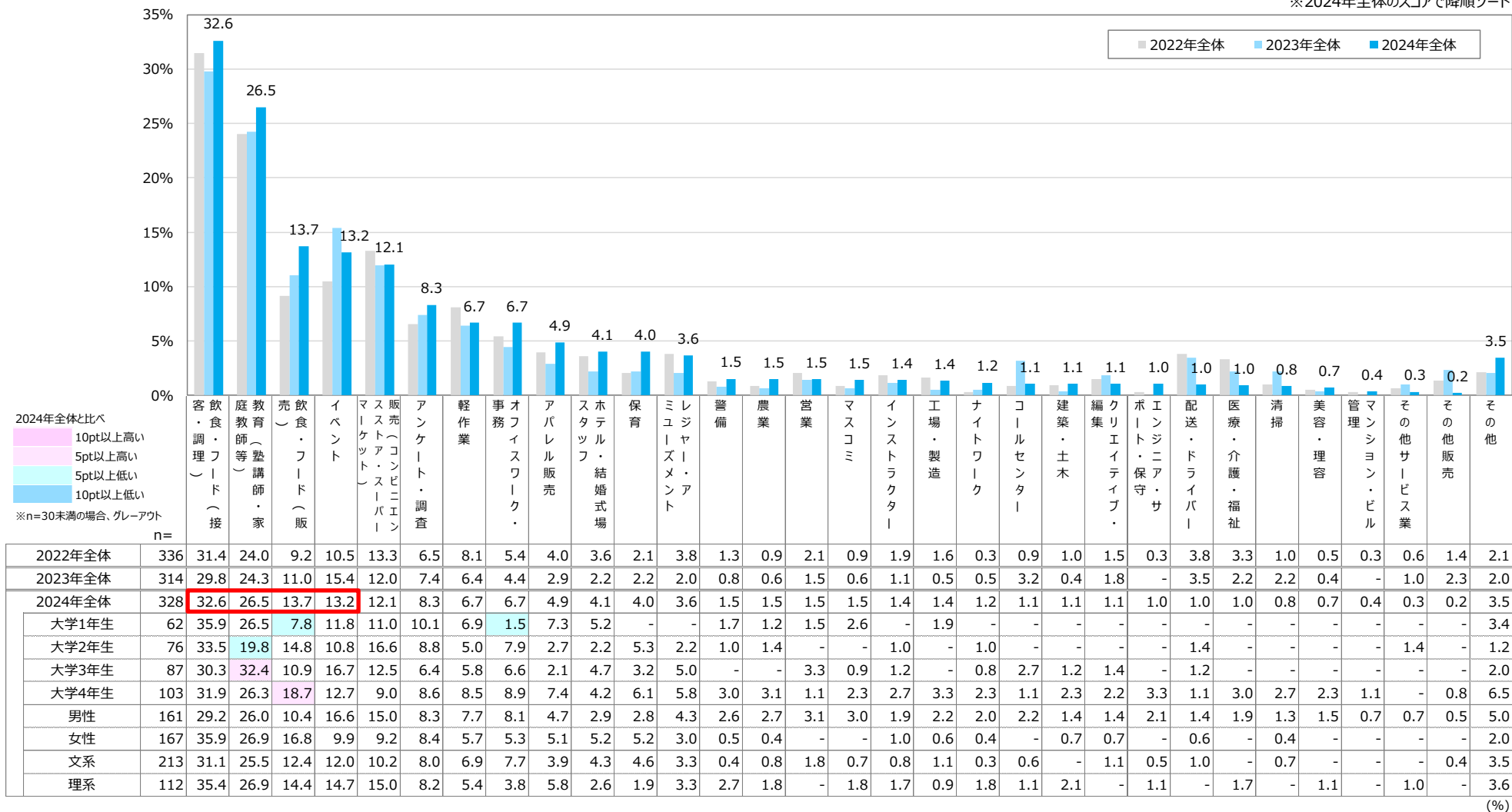
*は非聴取選択肢（%）

1-16. 副業／掛け持ちのアルバイトの職種

◆ 現在の掛け持ちのアルバイト（主なアルバイト以外のアルバイト）の職種を2024年全体でみると、「飲食・フード（接客・調理）」が32.6%と最も高く、次いで「教育（塾講師・家庭教師等）」が26.5%、「飲食・フード（販売）」が13.7%、「イベント」が13.2%となった。

Q アルバイトの職種についてお答えください。【現在の副業（掛け持ち）の職種】（複数回答）※回答ベース：2つ以上のアルバイトをしている人
※回答ベース：副業／掛け持ちしている人

※2024年全体のスコアで降順ソート

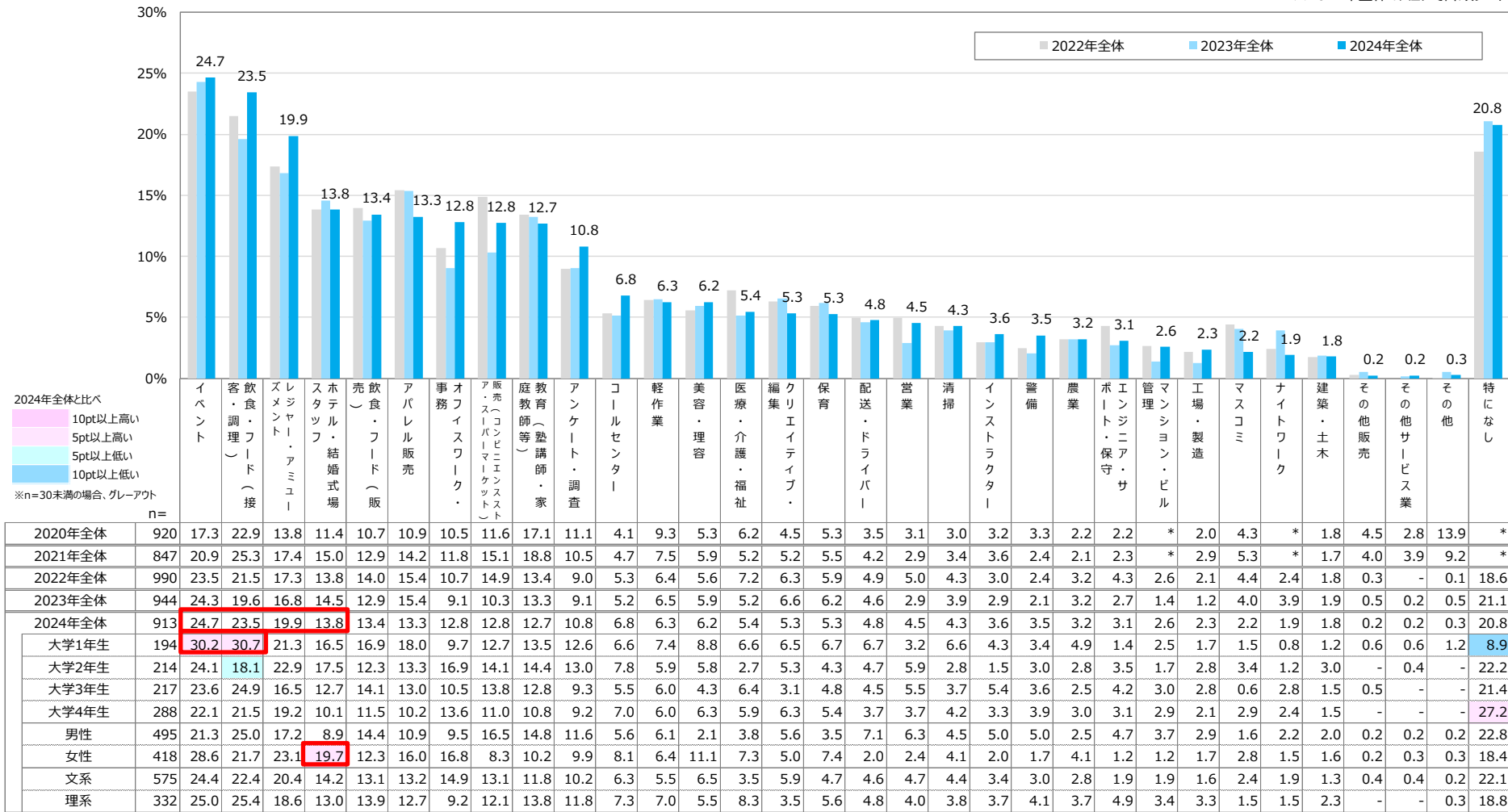


1-17. やってみたいアルバイトの職種

- ◆ やってみたい職種を2024年全体でみると、「イベント」が24.7%と最も高く、次いで「飲食・フード（接客・調理）」が23.5%、「レジャー・アミューズメント」が19.9、「ホテル・結婚式場スタッフ」が13.8%となった。
- ◆ 「イベント」「飲食・フード（接客・調理）」は「大学1年生」で高い。
- ◆ 「ホテル・結婚式場スタッフ」は「男性」より女性で高い。

Q アルバイトの職種についてお答えください。【やってみたい職種】（複数回答）

※2024年全体のスコアで降順ソート

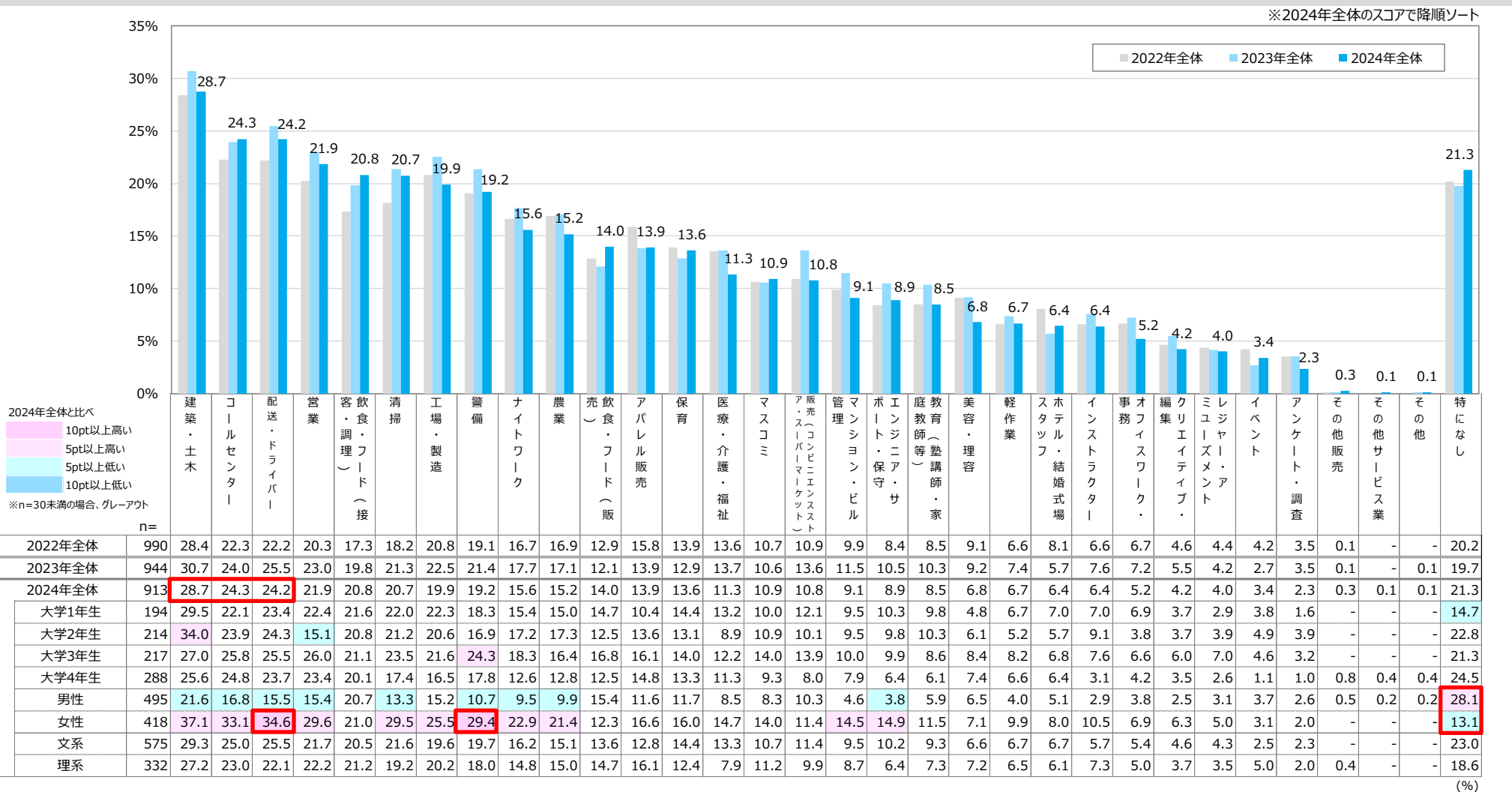


*は非聴取選択肢（%）

1-18. 特にやりたくないアルバイトの職種

- ◆ 特にやりたくない職種を2024年全体でみると、「建築・土木」が28.7%と最も高く、次いで「コールセンター」が24.3%、「配送・ドライバー」が24.2%となった。重労働や精神的に負荷が高そうというイメージの職種は避けられる傾向にある。
- ◆ 性別では、「特になし」が男性で28.1%に対し、女性で13.1%となり、女性の方がやりたくない職種が多い。
- ◆ 「配送・ドライバー」「警備」は「男性」より「女性」で特に高い。

Q アルバイトの職種についてお答えください。【特にやりたくない職種】（複数回答）

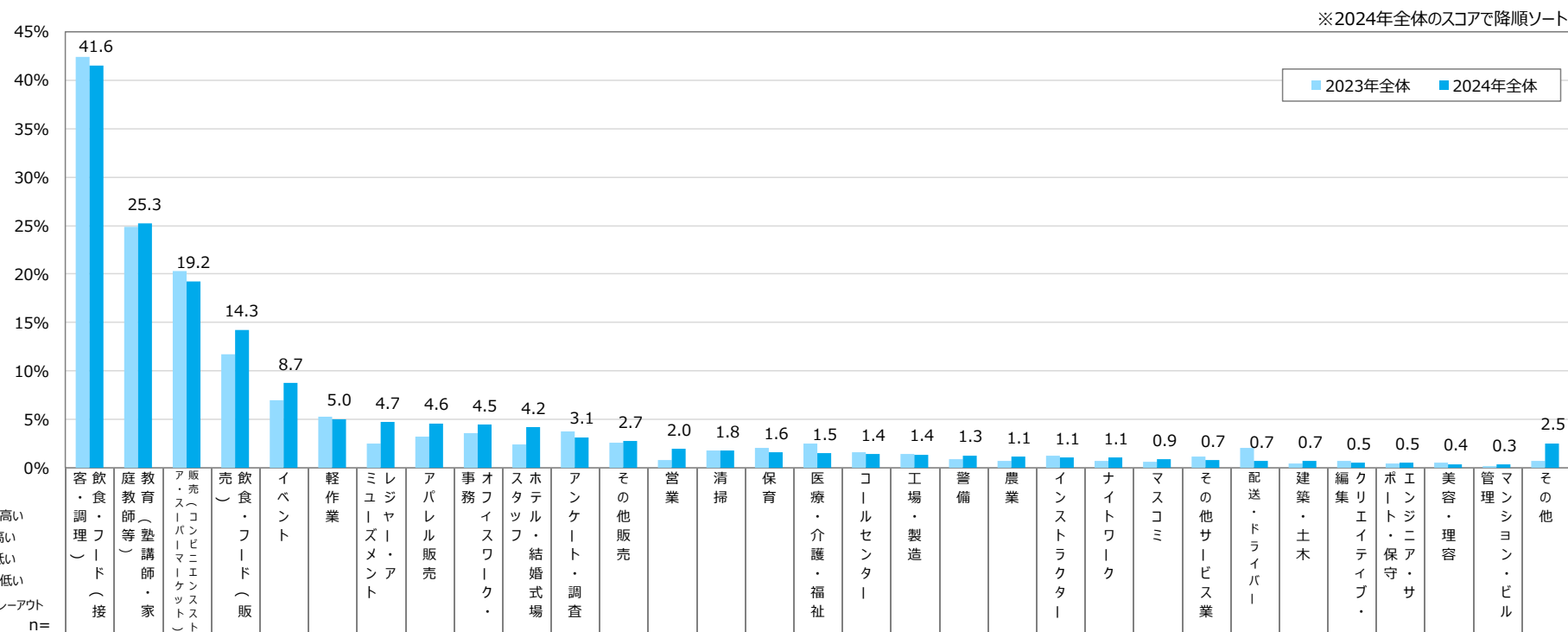


(%)

1-19. 今までに経験してよかったアルバイトの職種

◆ 今まで経験してよかった職種を2024年全体でみると、「飲食・フード（接客・調理）」が41.6%と最も高く、次いで「教育（塾講師・家庭教師等）」が25.3%、「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」が19.2%となった。

Q アルバイトの職種についてお答えください。【今までに経験してよかった職種】（複数回答）



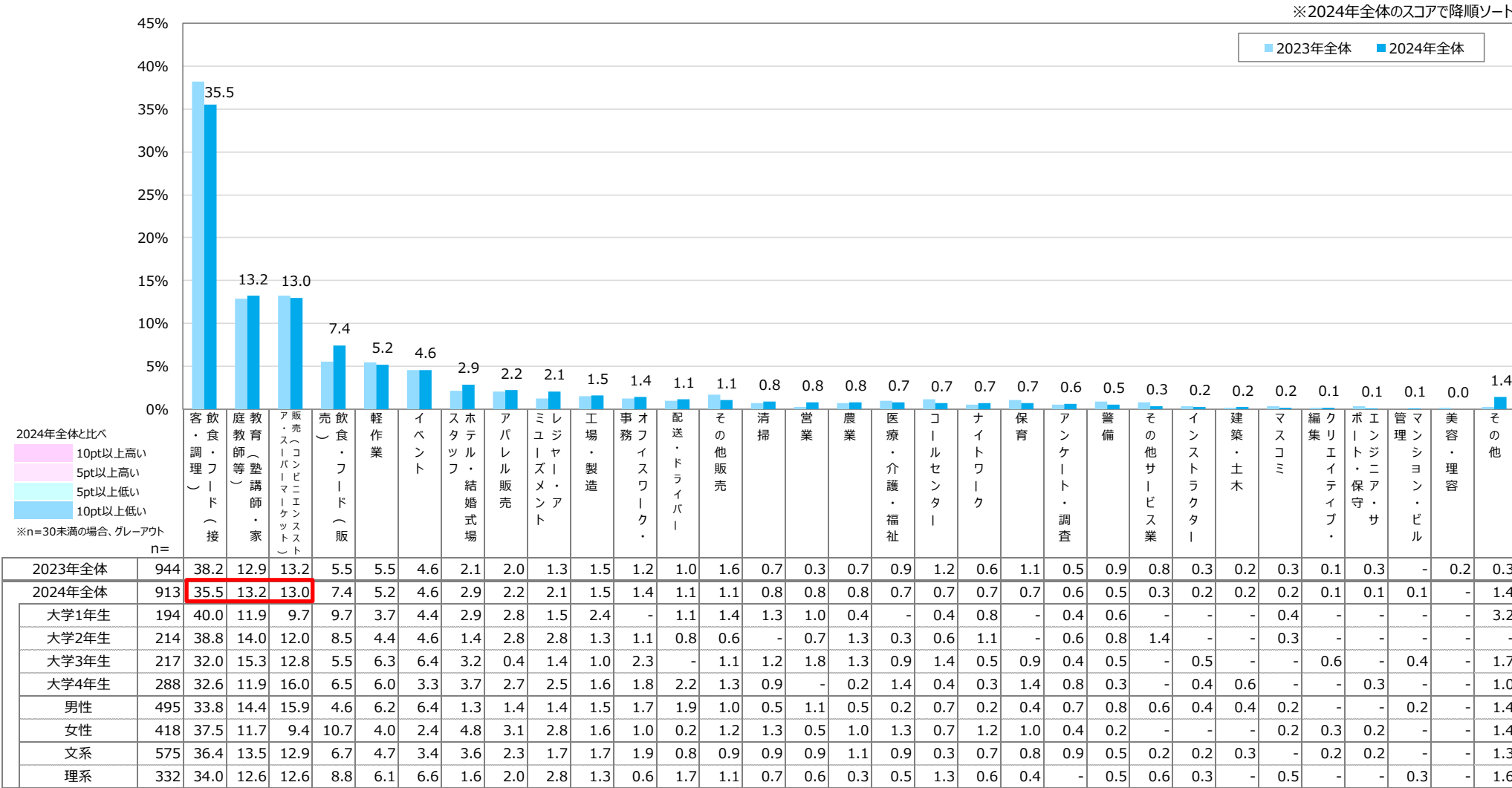
2023年全体	944	42.5	24.9	20.3	11.7	7.0	5.2	2.5	3.2	3.5	2.4	3.7	2.6	0.8	1.7	2.0	2.5	1.6	1.4	0.9	0.7	1.3	0.7	0.6	1.2	2.1	0.4	0.7	0.5	0.6	0.1	0.7
2024年全体	913	41.6	25.3	19.2	14.3	8.7	5.0	4.7	4.6	4.5	4.2	3.1	2.7	2.0	1.8	1.6	1.5	1.4	1.4	1.3	1.1	1.1	1.1	0.9	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.4	0.3	2.5
大学1年生	194	44.1	21.0	12.6	12.4	6.5	4.0	2.1	4.2	1.0	2.3	3.7	2.5	2.8	2.0	0.5	0.5	0.9	1.7	1.2	0.4	0.6	0.8	0.8	0.6	-	-	-	-	-	-	3.6
大学2年生	214	43.4	24.1	20.4	15.0	8.3	4.4	5.5	3.4	2.3	2.8	2.6	2.1	1.6	0.7	1.9	0.3	0.6	0.6	0.8	0.8	-	0.6	0.3	1.5	0.8	0.5	-	-	-	-	1.6
大学3年生	217	39.9	30.0	19.9	15.0	9.4	5.7	4.4	1.9	6.2	4.7	2.3	2.4	1.4	0.9	1.6	1.9	2.7	0.5	1.1	1.0	1.7	0.4	0.4	0.5	-	0.5	1.0	-	-	0.4	2.2
大学4年生	288	39.8	25.4	22.3	14.5	10.1	5.8	6.2	7.7	7.2	6.2	3.8	3.6	2.1	3.0	2.0	2.7	1.5	2.4	1.8	2.0	1.7	2.1	1.6	0.4	1.7	1.5	0.8	1.5	1.2	0.8	2.7
男性	495	37.7	24.9	21.2	10.9	9.7	6.4	4.3	3.6	4.5	3.1	3.4	1.7	2.4	1.7	1.0	1.4	1.5	1.5	1.9	1.4	1.7	0.7	1.2	0.9	1.1	1.0	0.5	0.7	0.7	0.6	2.5
女性	418	46.2	25.7	16.9	18.3	7.6	3.4	5.3	5.7	4.4	5.5	2.8	3.9	1.5	1.8	2.2	1.6	1.3	1.2	0.5	0.8	0.4	1.5	0.5	0.6	0.2	0.3	0.5	0.2	-	-	2.5
文系	575	42.9	24.4	19.2	13.2	7.9	5.9	4.5	5.0	5.5	4.6	3.4	3.0	2.0	1.4	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1	0.8	0.6	0.7	0.8	0.5	0.5	0.6	0.3	0.2	0.2	2.1
理系	332	39.1	26.6	19.0	16.0	10.0	3.2	4.8	3.5	2.4	3.2	2.4	1.8	1.5	2.1	1.6	1.5	1.5	1.3	1.2	0.9	1.2	1.4	0.8	0.6	0.7	0.7	-	0.4	0.4	0.3	3.4

1-19. 今までに最もきつかったアルバイトの職種



◆ 今までに最もきつかった職種を2024年全体でみると、「飲食・フード（接客・調理）」が35.5%と最も高く、次いで「教育（塾講師・家庭教師等）」が13.2%、「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」が13.0%となった。

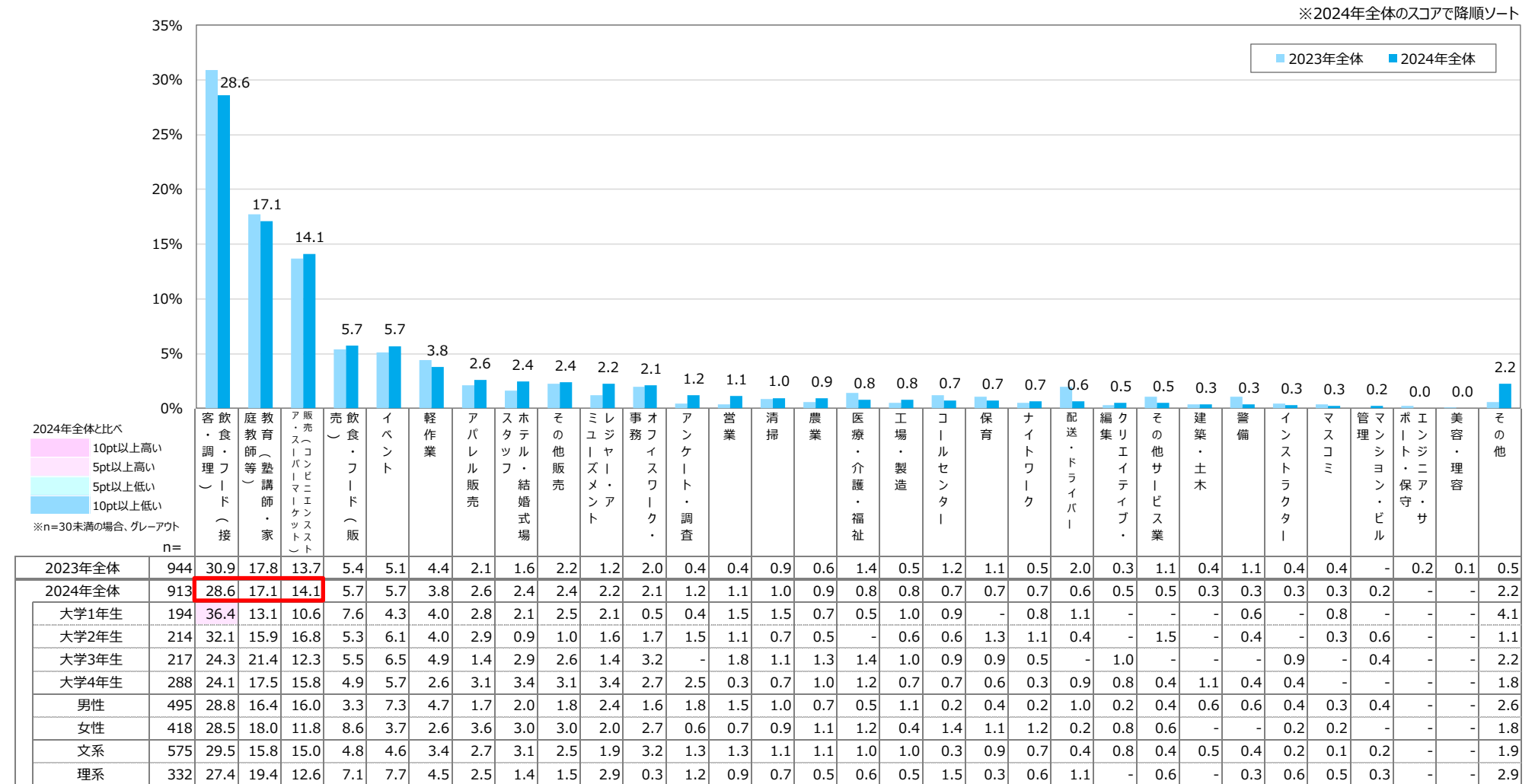
Q アルバイトの職種についてお答えください。【今までに最もきつかった職種】（複数回答）



1-19. 今までに最も稼げたアルバイトの職種

◆ 今までに最も稼げた職種を2024年全体でみると、「飲食・フード（接客・調理）」が28.6%と最も高く、次いで「教育（塾講師・家庭教師等）」が17.1%、「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」が14.1%となった。

Q アルバイトの職種についてお答えください。【今までに最も稼げた職種】（複数回答）



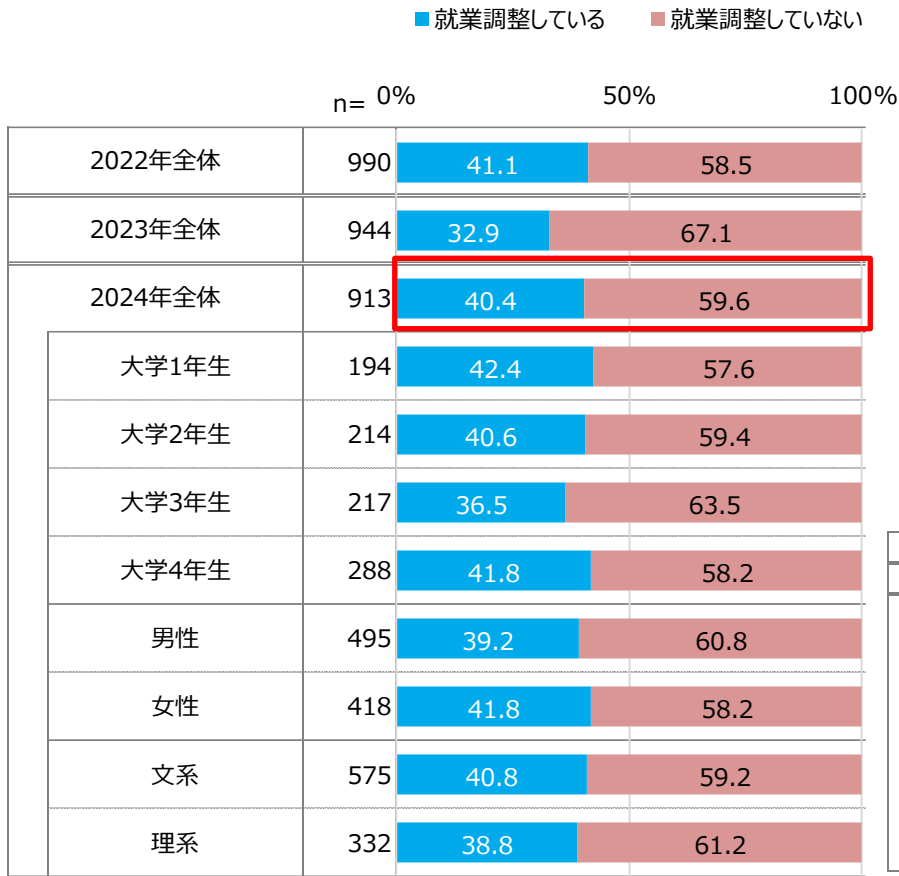
(%)

1-20. 就業調整の有無・理由

- ◆ 2024年全体では、「就業調整している」が40.4%、「就業調整していない」が59.6%となった。
- ◆ 就業調整をしている内容を2024年全体でみると、「自分の所得税の非課税限度額を超えないようにするため（103万円の壁）」が68.0%、「自分の住民税の非課税限度額を超えないようにするため（100万円前後）」が39.7%となった。

Q あなたはアルバイトで就業調整をしていますか。している方は、就業調整をしている理由についてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）
※就業調整とは：所得税や住民税の非課税限度額や、配偶者の雇用保険・厚生年金の加入要件、あるいは配偶者手当の支給要件などを意識して、年収を一定額以下に抑えるために就労時間を調整すること。

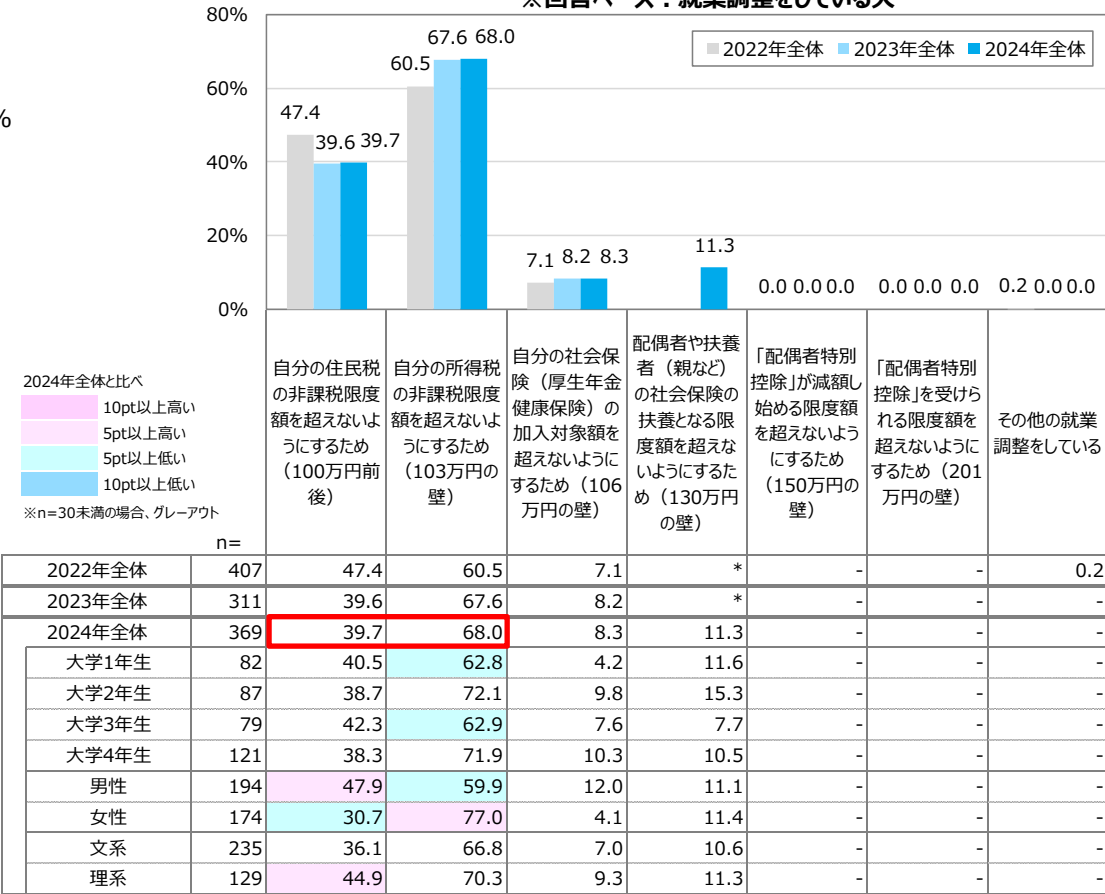
【就業調整の有無】



※2022年・2023年調査結果は集計方法を変えて再集計

【就業調整している理由】

※回答ベース：就業調整をしている人



*是非聴取選択肢（%）

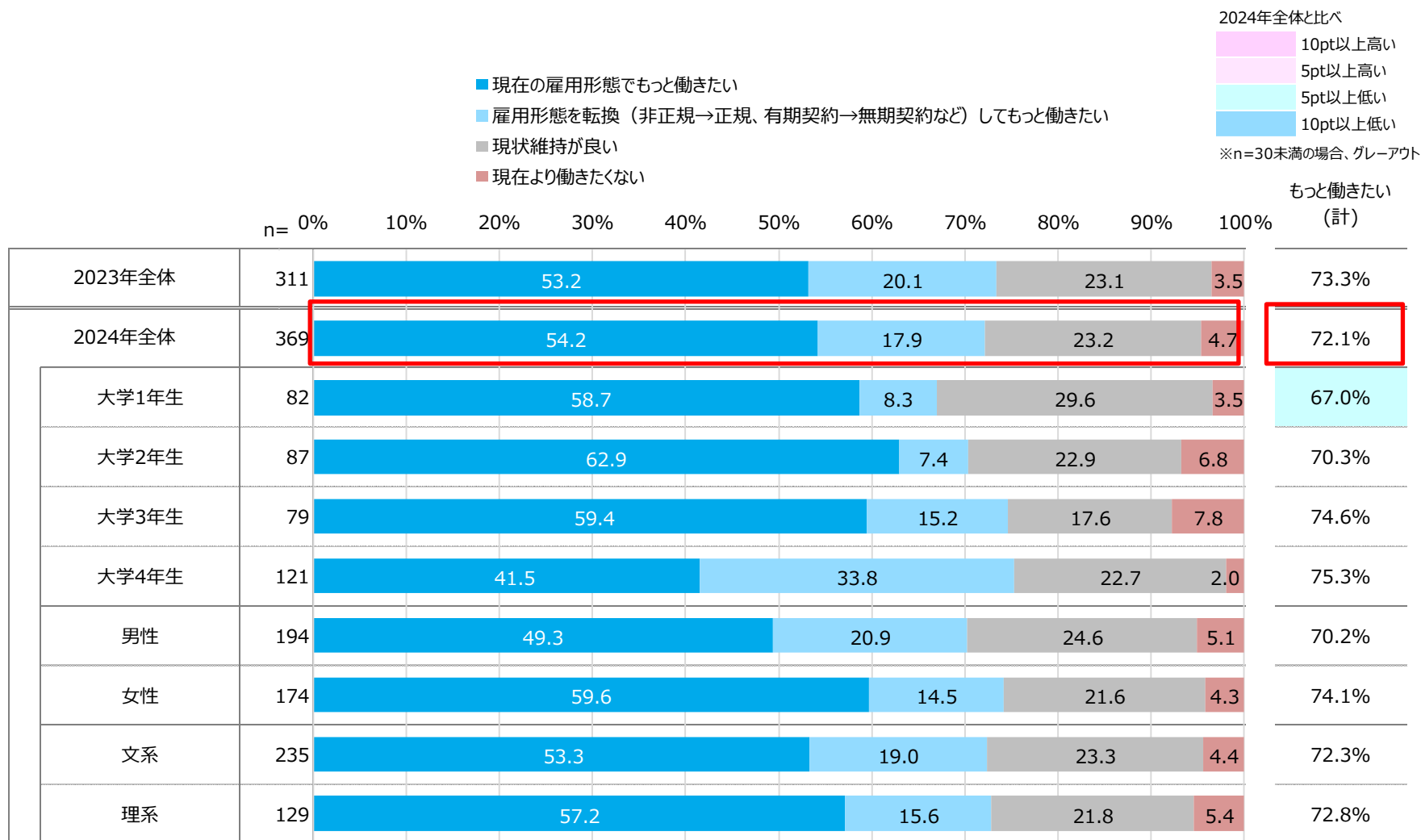
※2022年・2023年調査結果は集計方法を変えて再集計

1-20. 年収の壁が撤廃された場合の就労意欲

- ◆ 2024年全体では、「現在の雇用形態でもっと働きたい」が54.2%と最も高く、次いで「現状維持が良い」が23.2%、「雇用形態を転換（非正規→正規、有期契約→無期契約など）してもっと働きたい」が17.9%、「現在より働きたくない」が4.7%となった。
- ◆ もっと働きたい割合は72.1%となった。

Q 「年収の壁」がなくなり、一定の年収額を超えて働いても手取りが減らなくなった場合、あなたは現在よりもっと働きたいと思いますか。

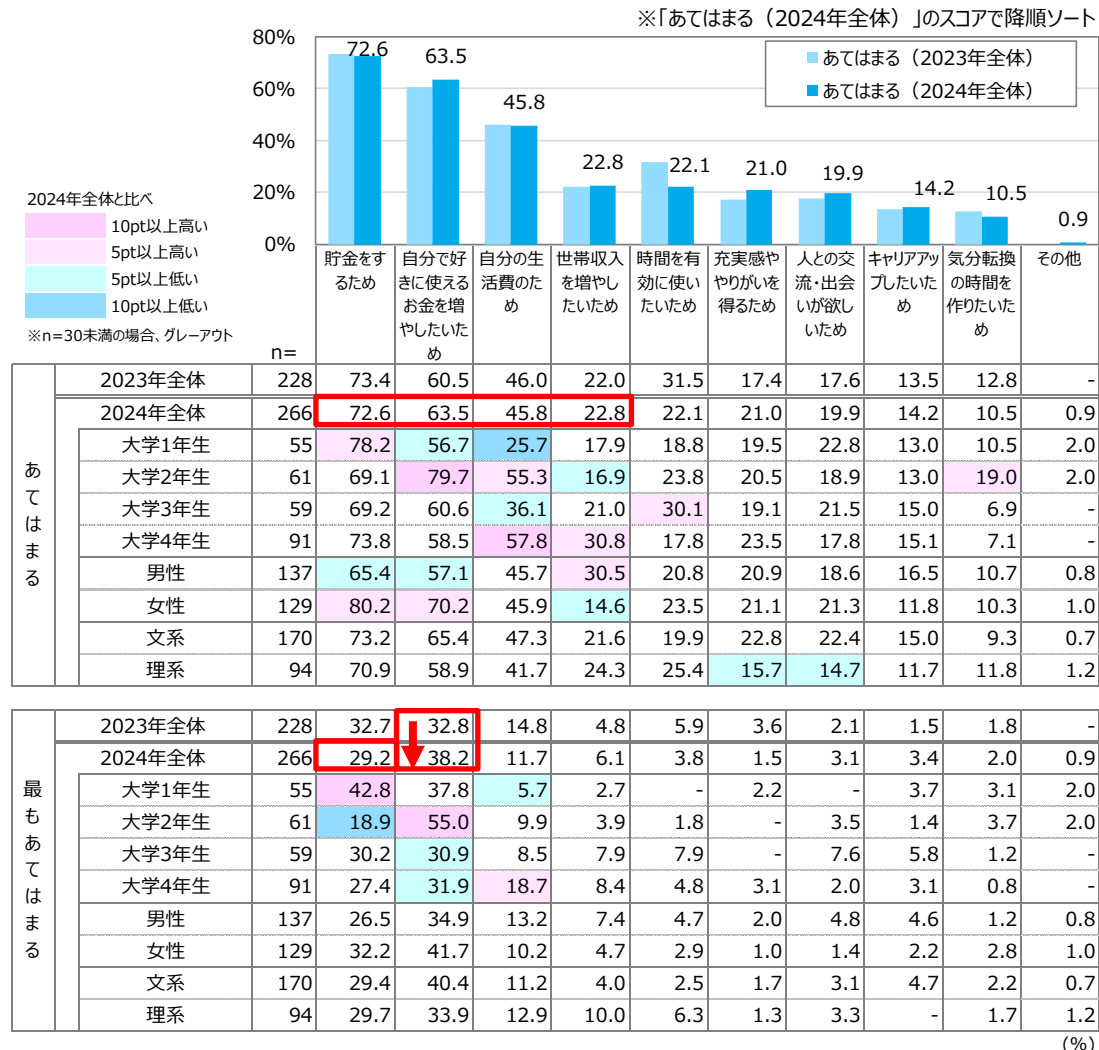
※回答ベース：就業調整をしている人（単一回答）



1-20. 年収の壁が撤廃された場合にもっと働きたい理由

- ◆ 2024年全体であてはまるものをみると、「貯金をするため」が72.6%と最も高く、次いで「自分で好きに使えるお金を増やしたいため」が63.5%、「自分の生活費のため」が45.8%、「世帯収入を増やしたいため」が22.8%となった
- ◆ 2024年全体で最もあてはまるものをみると、「自分で好きに使えるお金を増やしたいため」が38.2%と最も高く、次いで「貯金をするため」が29.2%となった。前年と比べると「自分で好きに使えるお金を増やしたいため」が5.4pt増加した。

Q 「年収の壁」がなくなり、一定の年収額を超えて働いても手取りが減らなくなった場合、現在よりもっと働きたいと思う理由について教えてください。（複数回答）
※回答ベース：「年収の壁」がなくなり、一定の年収額を超えて働いても手取りが減らなくなった場合、「現在の雇用形態でもっと働きたい」「雇用形態を転換してもっと働きたい」人

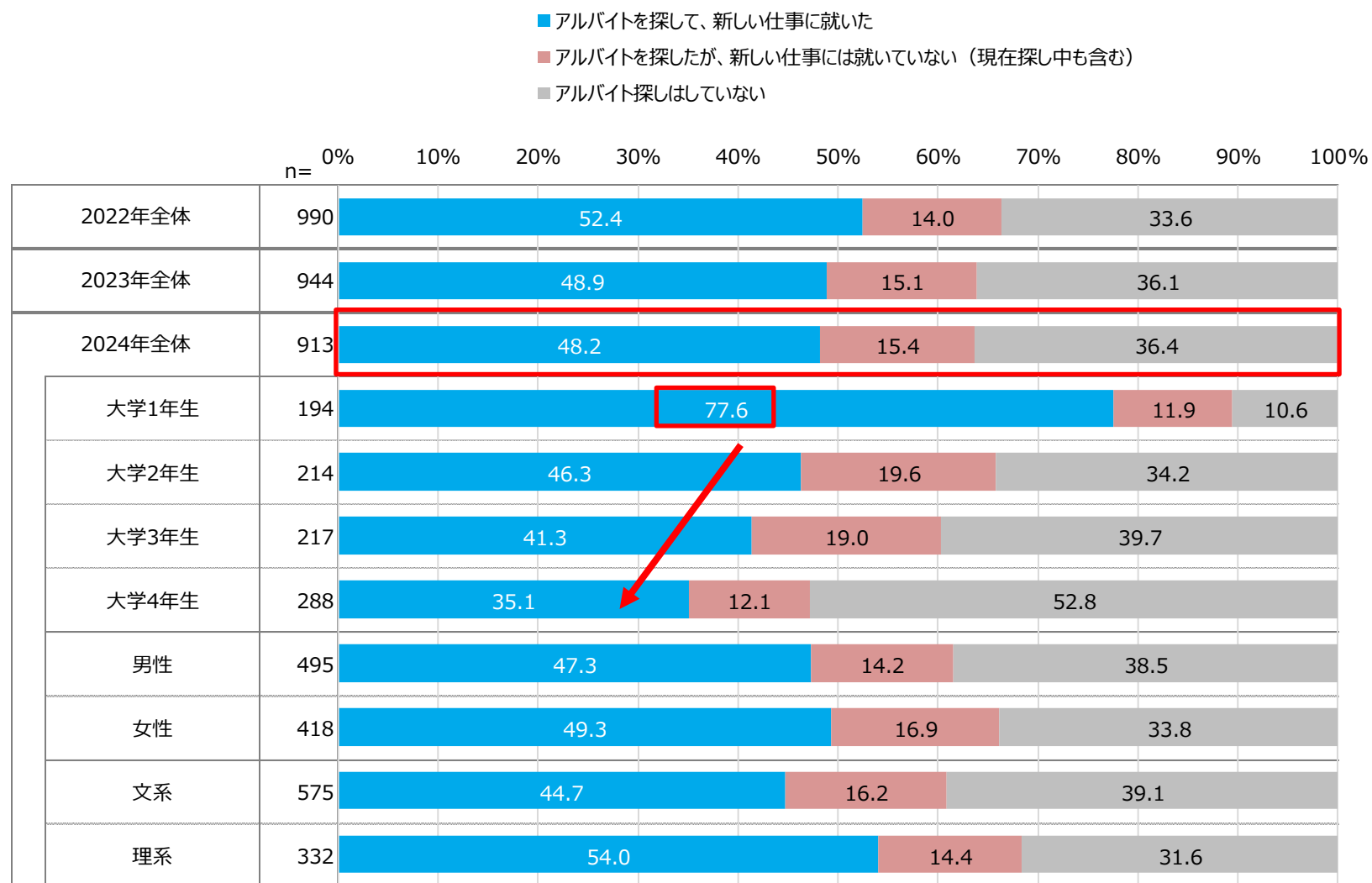


2. アルバイト探し

2-1.直近1年間のアルバイト探し経験

- ◆ 2024年全体では、直近1年間で「アルバイトを探して、新しい仕事に就いた」が48.2%と半数を占め、「アルバイトを探したが、新しい仕事には就いていない」は15.4%、「アルバイト探しはしていない」は36.4%となった。
- ◆ 直近1年間で「アルバイトを探して、新しい仕事に就いた」は【大学1年生】で77.6%と最も高くなり、低学年層ほど高かった。

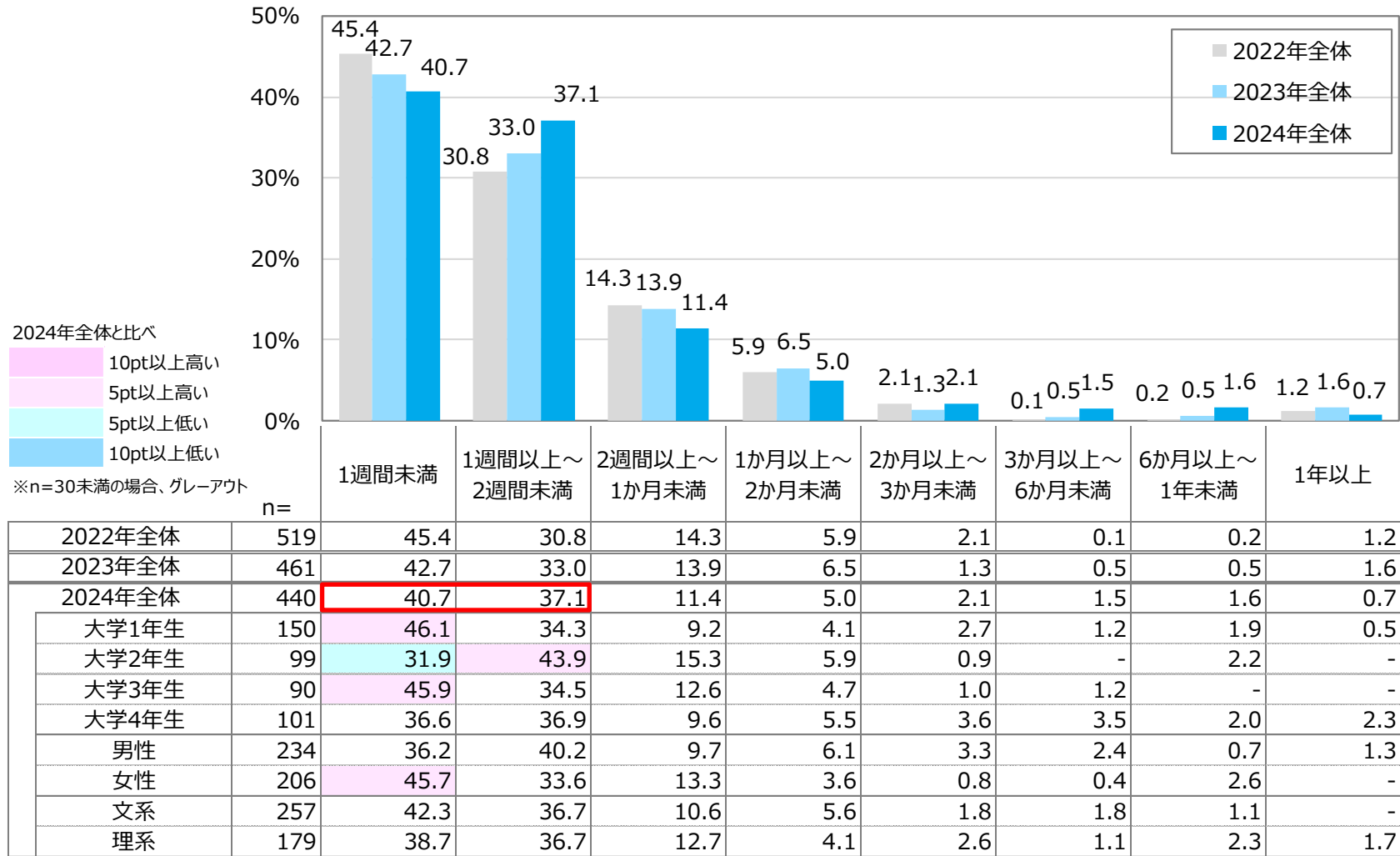
Q 直近1年間のあなたのアルバイト探しの経験として、あてはまるものをお選びください。（単一回答）



2-2.アルバイトを探してから採用されるまでの期間

◆ 2024年全体では、「1週間未満」が40.7%と最も高く、次いで「1週間以上～2週間未満」が37.1%となり、2週間未満が約8割を占める。

Q 直近1年間のあなたのアルバイト探しの経験で、採用されるまでどの程度かかりましたか。※回答ベース：直近1年間にアルバイト・パートを探して、新しい仕事に就いた人
※複数採用経験がある場合は、直近のものについてお答えください。（単一回答）

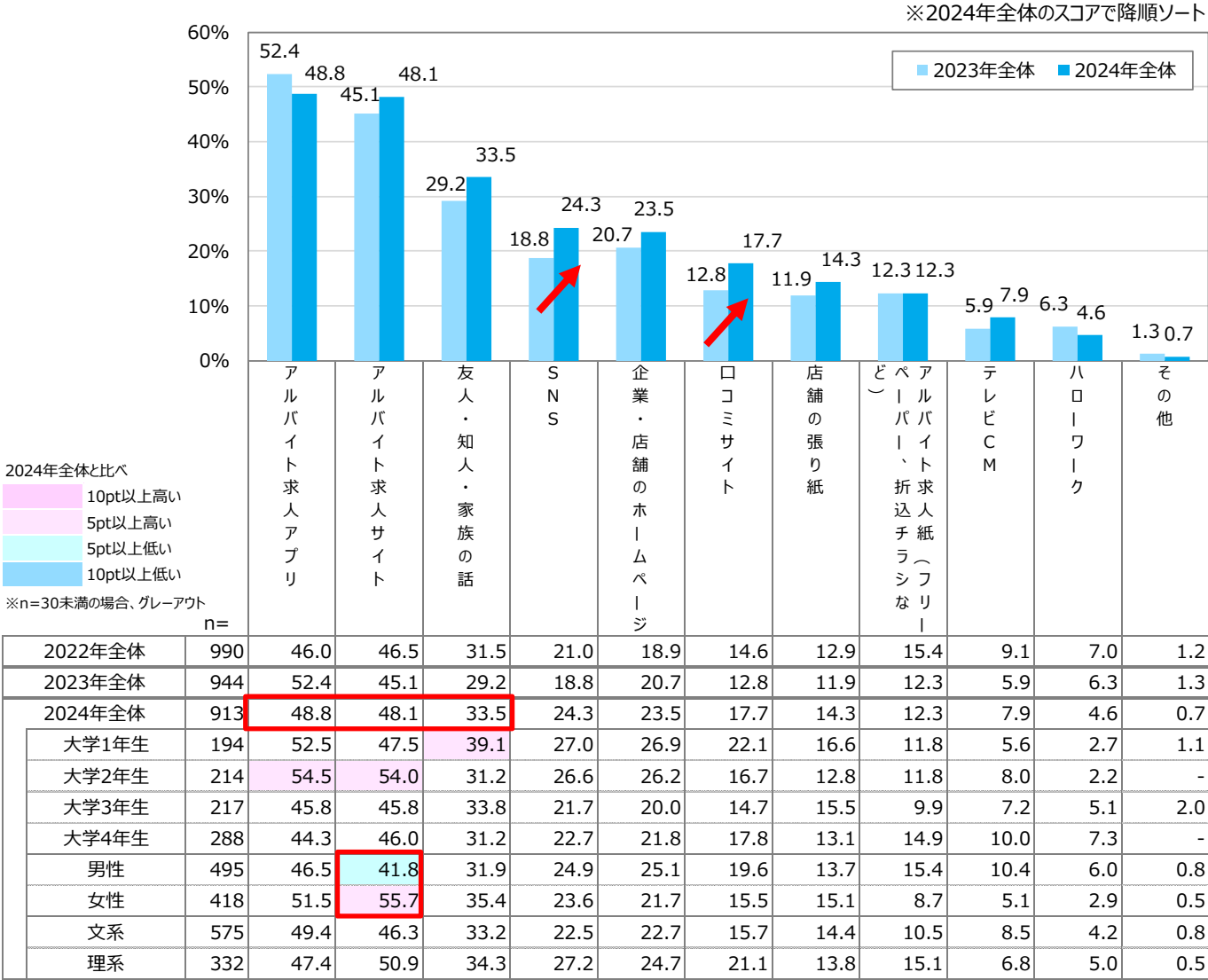


(%)

2-3. アルバイト探しでの情報収集源

- ◆ 2024年全体では、「アルバイト求人アプリ」が48.8%と最も高く、次いで「アルバイト求人サイト」が48.1%、「友人・知人・家族の話」が33.5%となった。
- ◆ 性別では「女性」で「アルバイト求人アプリ」が55.7%なのに対して、「男性」で41.8%となり、女性でアルバイト求人アプリを使用している人が多い。
- ◆ 前年比では、「SNS」が+5.5ptと最も上げ幅が大きく、次いで「口コミサイト」が+4.9ptとなった。よりリアルな情報収集のために増加したと考えられる。

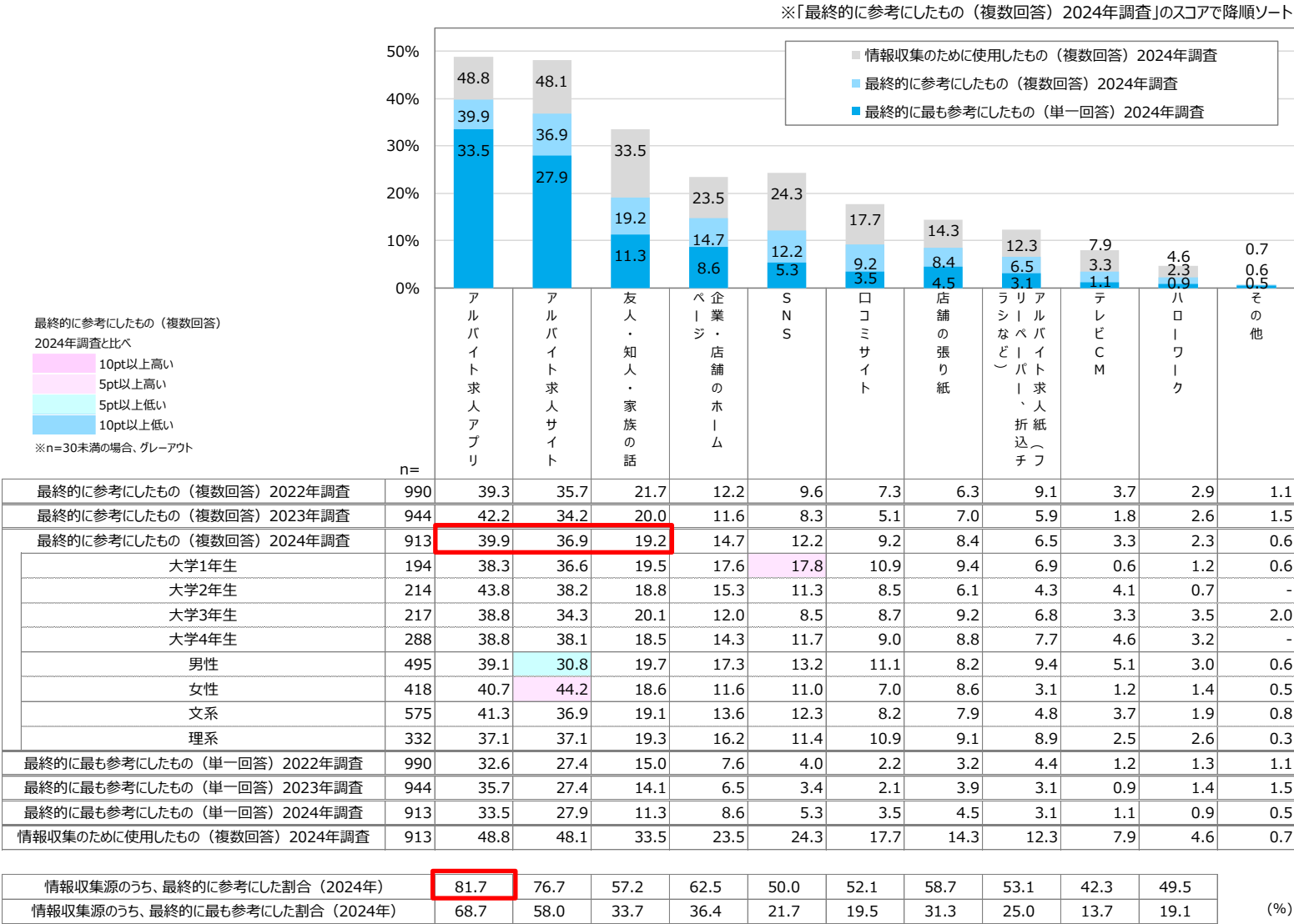
Q 直近のアルバイト探しの際に、情報収集のために使用したものを教えてください。（複数回答）



2-4. アルバイト探しでの応募参考

- ◆ アルバイト探しで応募する際に最終的に参考にしたものを2024年全体でみると、「アルバイト求人アプリ」が39.9%と最も高く、次いで「アルバイト求人サイト」が36.9%、「友人・知人・家族の話」が19.2%となり、情報収集源と同様の分布となった。
- ◆ 情報収集源のうち最終的に参考にした割合としては、「アルバイト求人アプリ」が81.7%と8割を超え、アルバイト先の決定で重要な情報源となっている。

Q 直近のアルバイト探しの際に、最終的にアルバイト先に応募する際に参考にしたものを教えてください。（単一回答／複数回答）

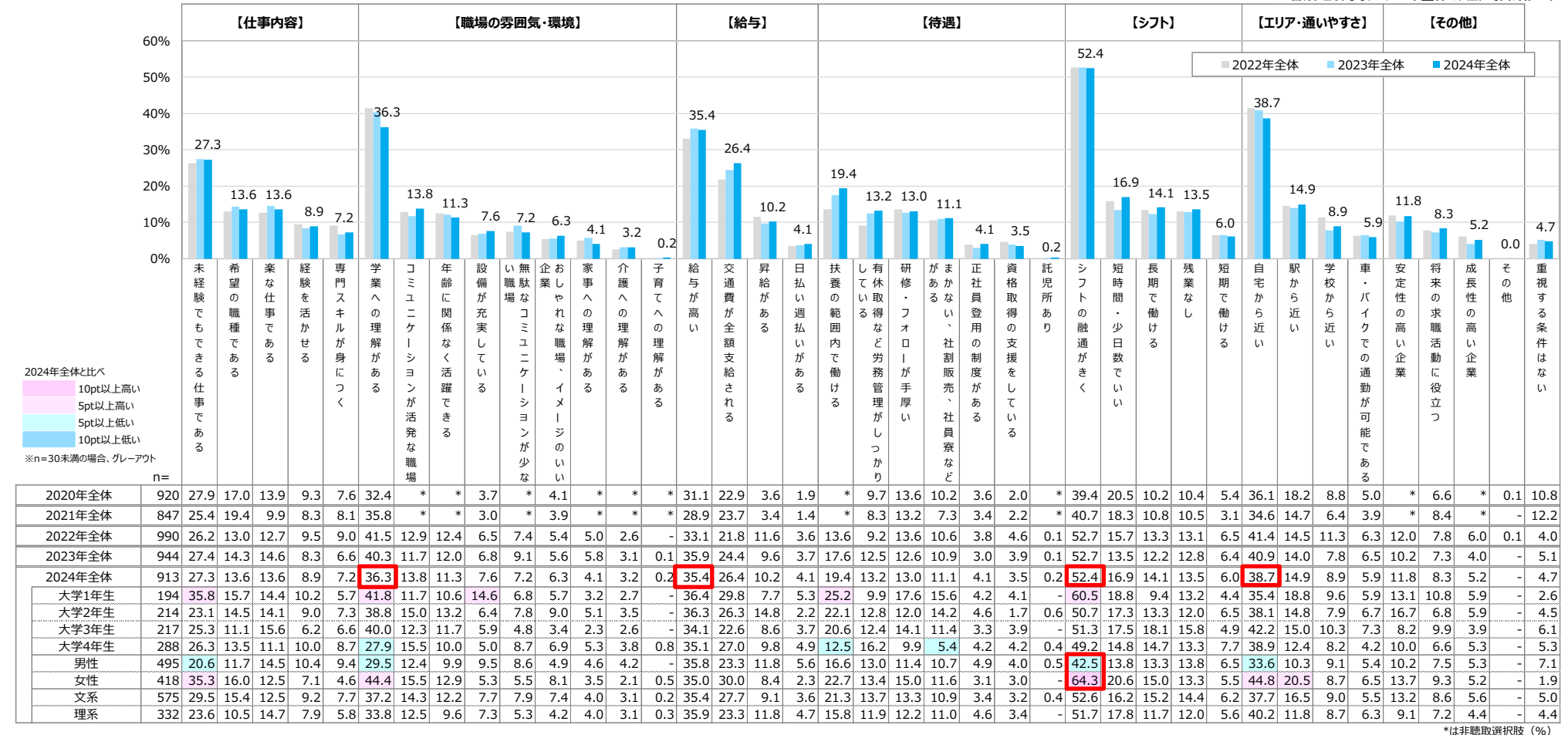


2-5. アルバイトの必須条件

- ◆ 2024年全体では、「シフトの融通がきく」が52.4%と最も高く、次いで「自宅から近い」が38.7%、「学業への理解がある」が36.3%、「給与が高い」が35.4%となり、前年同様。
- ◆ 性別では【女性】で「シフトの融通がきく」が64.3%なのに対して、【男性】で42.5%となり、女性でシフトの融通を重視している人が多い。

Q あなたがアルバイトを探す際に、絶対になくてはならないことをすべてお選びください。（複数回答）

※各カテゴリ内で、2024年全体のスコアを降順ソート

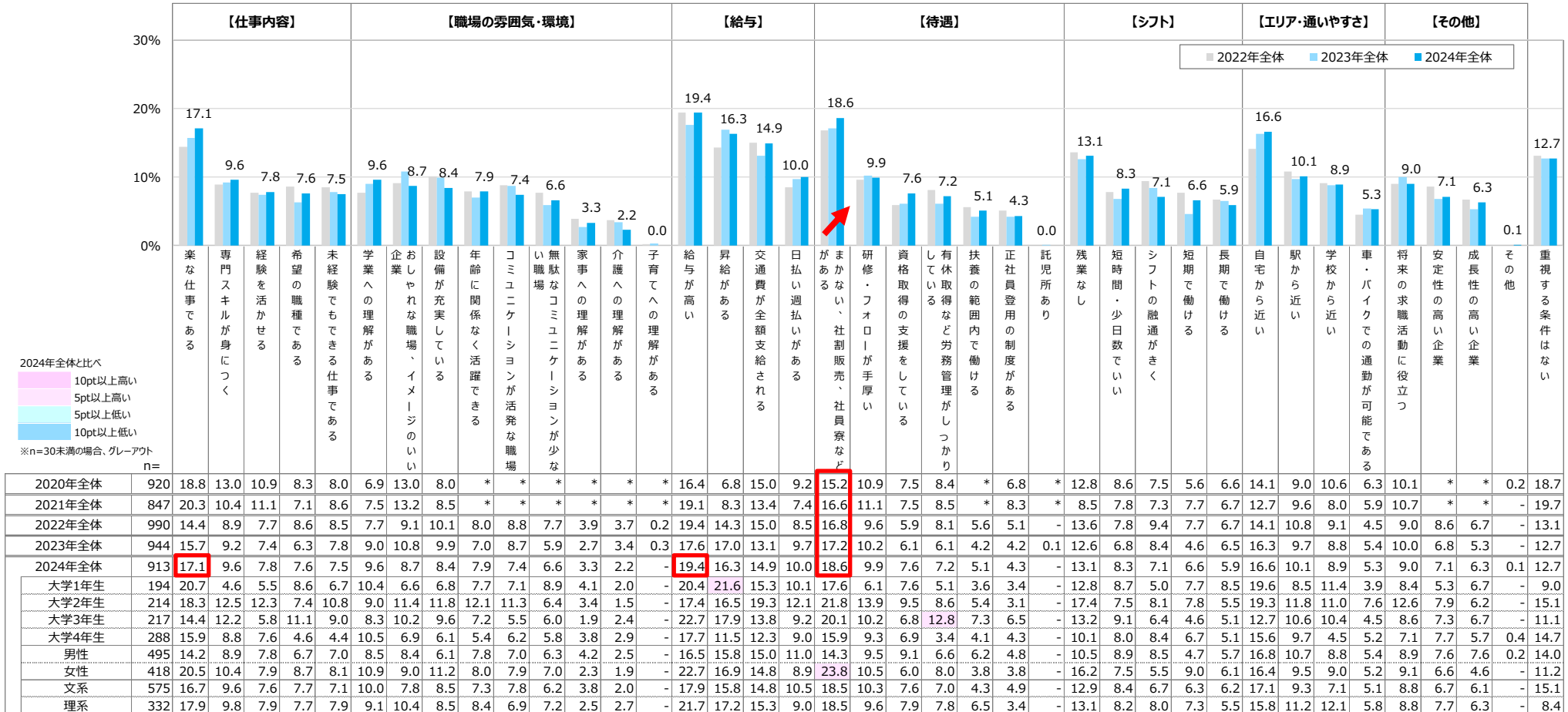


2-6. アルバイトのあったら良いが必須ではない条件

- ◆ 2024年全体では、「給与が高い」が19.4%と最も高く、次いで「まかない、社割販売、社員寮などがある」が18.6%、「楽な仕事である」が17.1%となった。
- ◆ 「まかない、社割販売、社員寮などがある」は2020年から連続で増加しており、重視する人が増えているようだ。

Q あなたがアルバイトを探す際に、あったら良いが、必須ではないことをすべてお選びください。（複数回答）

※各カテゴリ内で、2024年全体のスコアで降順ソート

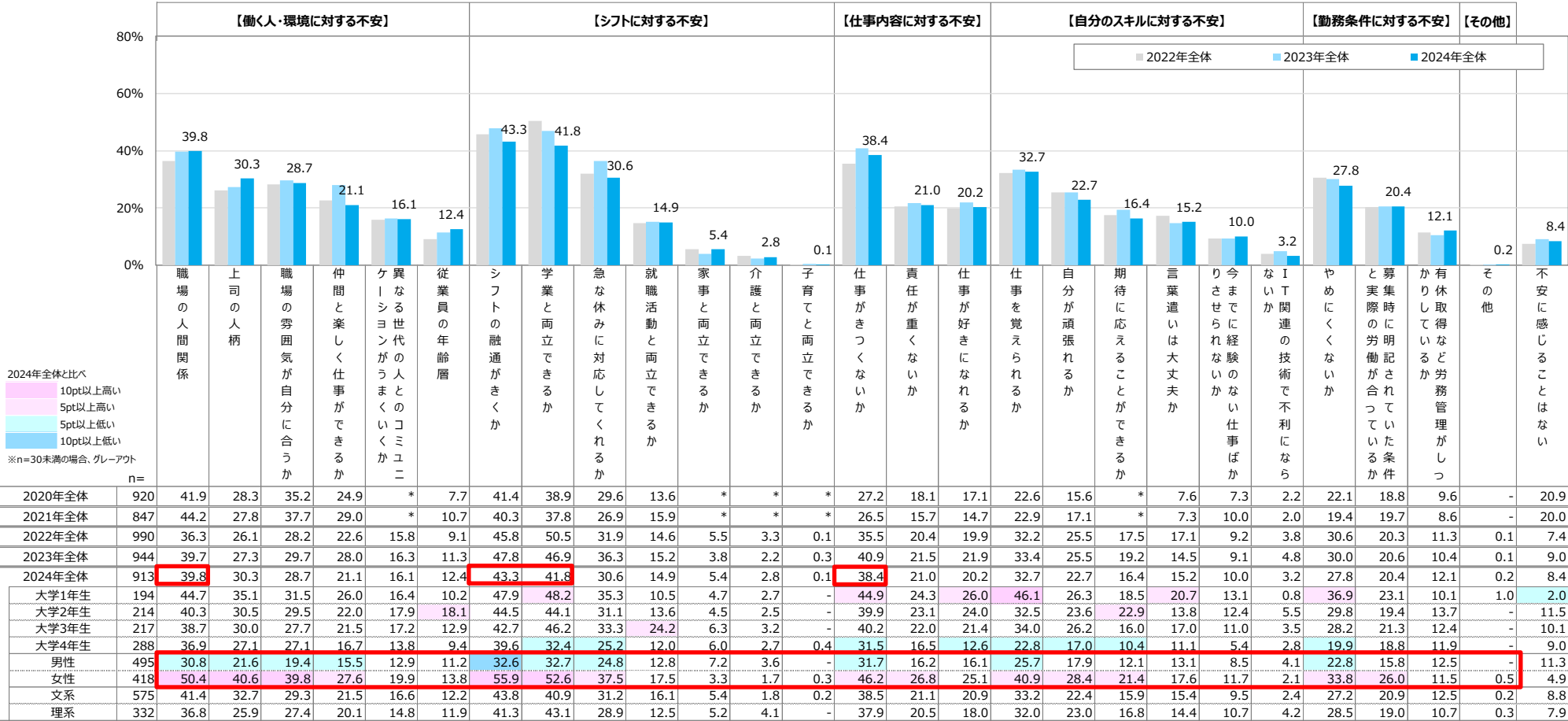


*は非聴取選択肢 (%)

2-7. アルバイトを始める際に不安に感じること（あてはまるものすべて）

- ◆ 2024年全体では、「シフトの融通がきくか」が43.3%と最も高く、次いで「学業と両立できるか」が41.8%、「職場の人間関係」が39.8%、「仕事がつきくないか」が38.4%となった。
- ◆ 性別では、男性より女性の方が不安に感じる傾向。

Q 新しくアルバイトを始める際に、不安に感じることであてはまるものをお選びください。（複数回答）

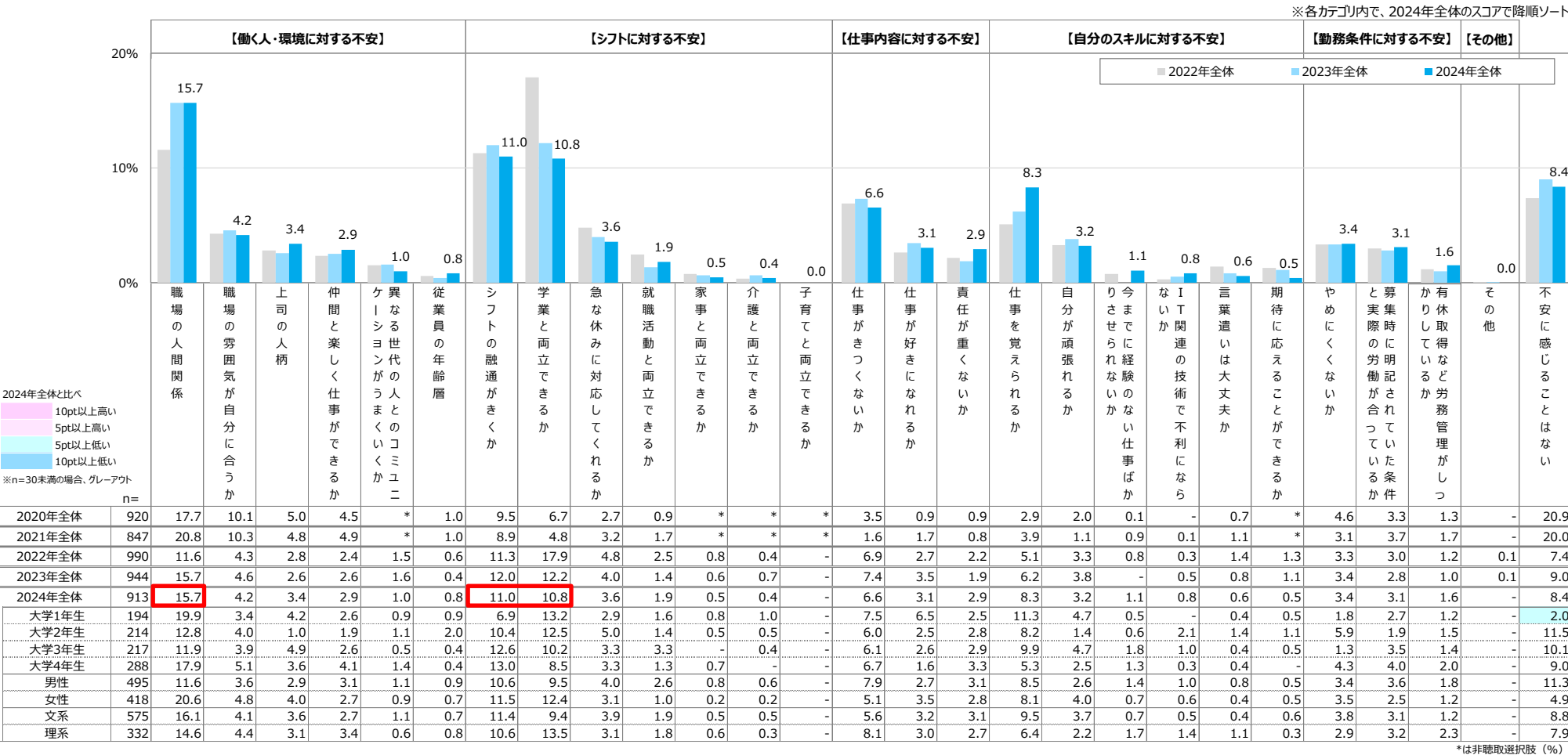


*は非聴取選択 (%)

2-7. アルバイトを始める際に不安に感じること（最もあてはまる）

◆ 2024年全体では、「職場の人間関係」が15.7%と最も高く、次いで「シフトの融通がきくか」が11.0%、「学業と両立できるか」が10.8%となった。

Q 新しくアルバイトを始める際に、不安に感じることであてはまるものをお選びください。（単一回答）



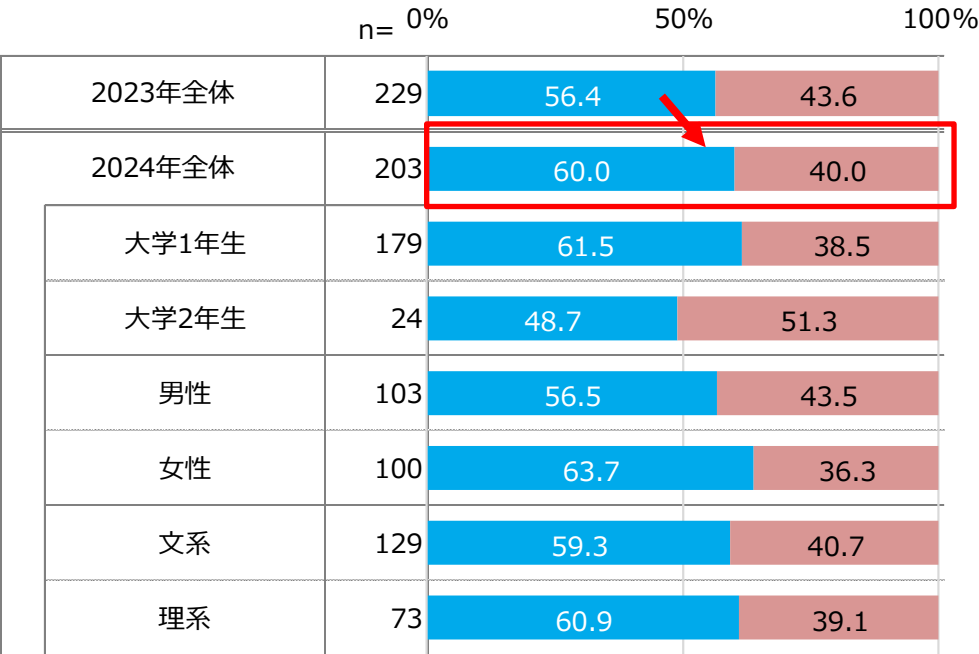
2-8. アルバイト選びの際の親の関与

- ◆ 20歳未満の大学生にアルバイト選びの際に親の関与があったかを聞いたところ、「アルバイト先を決定する際に親の関与があった」は60.0%となり、6割でアルバイト選びの際に親の関与があることがわかった。また前年と比べると、親が関与した割合は3.6pt増加した。
- ◆ 親が関与した内容としては、「アルバイト先を決めるときに親の意見を参考にした」が61.6%と最も高く、次いで「アルバイト先を決めるときに親の許可をもらった」が29.7%、「アルバイト許可証を発行するために親の許可をもらった」が24.8%となった。

Q 現在のアルバイト先を決定する際の親の関与についてお答えください。※回答ベース：20歳未満で現在アルバイトをしている（複数回答）

【親の関与有無】

- アルバイト先を決定する際に親の関与がある
- アルバイト先を決定する際に親の関与がない



※2023年調査結果は集計方法を変えて再集計

【親の関与の仕方】

※回答ベース：親の関与あり

2024年全体と比べ

- 10pt以上高い
- 5pt以上高い
- 5pt以上低い
- 10pt以上低い

※n=30未満の場合、グレーアウト

	n	2023年全体	2024年全体	大学1年生	大学2年生	男性	女性	文系	理系
アルバイト先を決めるときに親の意見を参考にした	129	66.0	61.6	60.4	73.8	51.2	71.2	64.8	55.3
アルバイト許可証を発行するために親の許可をもらった	122	26.1	29.7	32.1	6.7	37.9	22.2	22.5	42.8
アルバイト先を決めるときに親の許可をもらった	122	27.9	24.8	24.6	26.2	23.7	25.8	26.8	21.8
親が紹介してきたアルバイトをしている	122	4.8	7.2	7.1	7.3	8.6	5.8	10.0	2.4
その他	122	-	-	-	-	-	-	-	-

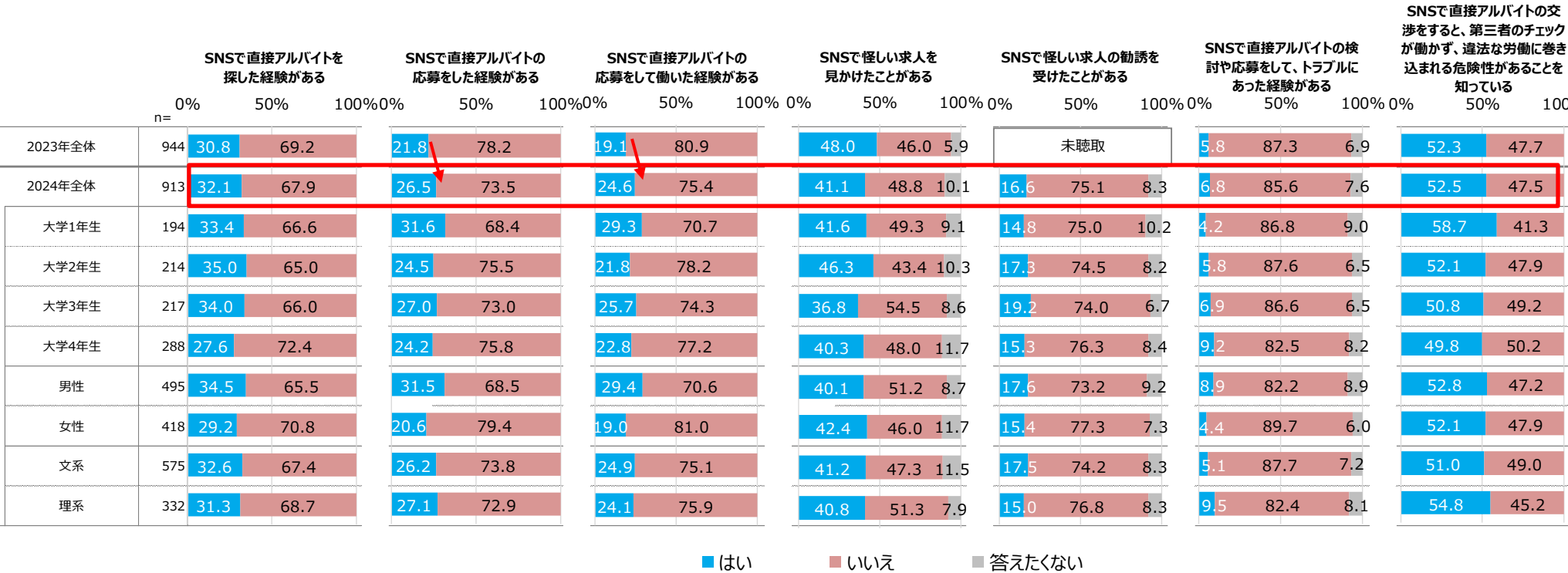
(%)

※2023年調査結果は集計方法を変えて再集計

2-9. SNSでのアルバイト探し

- ◆ 2024年全体では、SNSで直接アルバイトを探した経験がある割合は32.1%、SNSで直接アルバイトの応募をした経験がある割合は26.5%、SNSで直接アルバイトの応募をして働いた経験がある割合は24.6%、SNSで怪しい求人を見かけたことがある割合は41.1%、SNSで怪しい求人の勧誘を受けたことがある割合は16.6%、SNSで直接アルバイトの検討や応募をしてトラブルにあった経験がある割合は6.8%、SNSで直接アルバイトの交渉をすると第三者のチェックが働かず、違法な労働に巻き込まれる危険性があることを知っている割合は52.5%となった。
- ◆ 前年と比べると、SNSで直接アルバイトの応募をして働いた経験がある割合が+5.5ptと最も上げ幅が大きく、次いでSNSで直接アルバイトの応募をした経験がある割合が+4.7ptとなった。

Q 以下の項目について、あなたの経験や考えを教えてください。（単一回答）

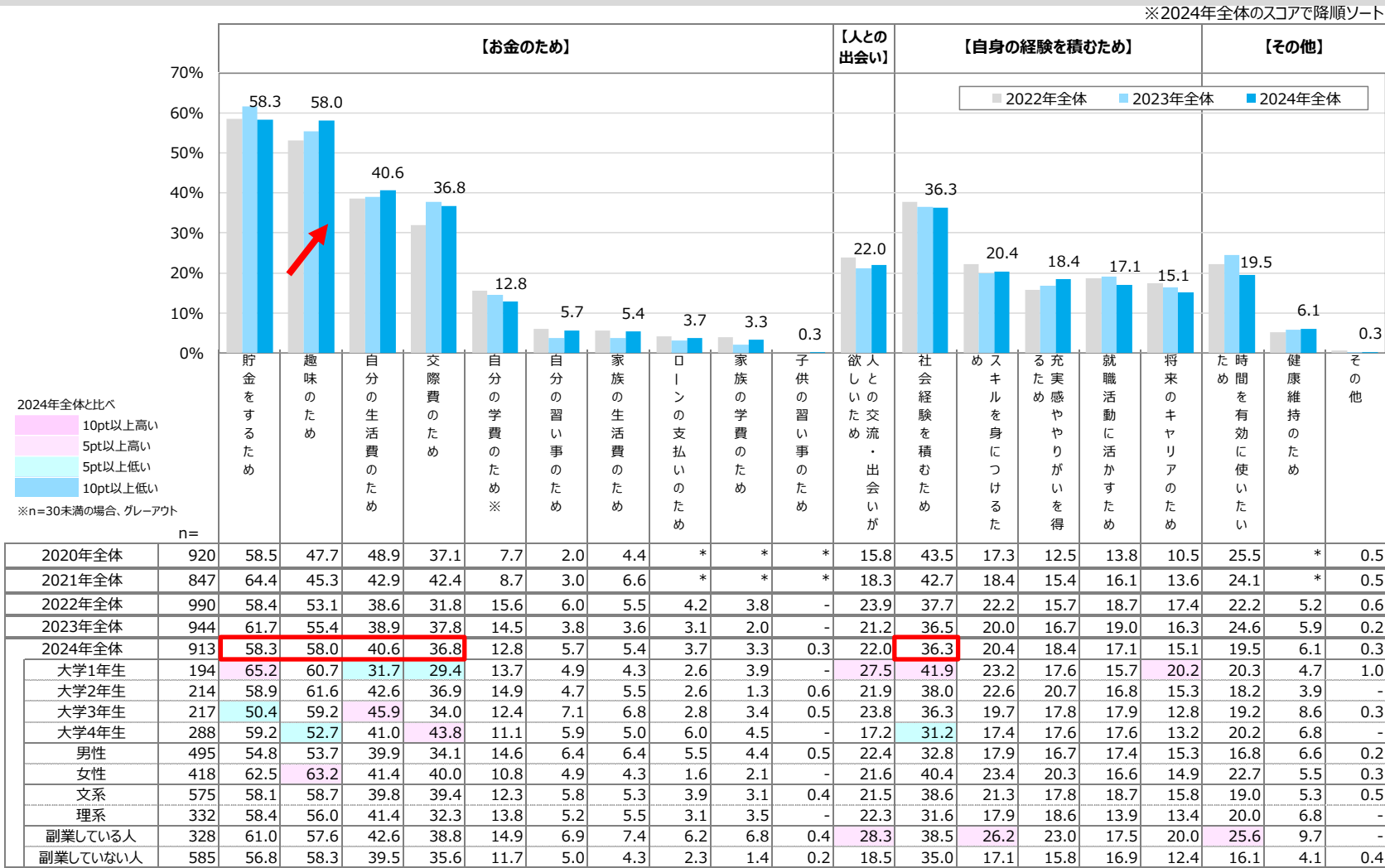


3. 就業意識

3-1. アルバイトの目的（あてはまるものすべて）

- ◆ 2024年全体では、「貯金をするため」が58.3%と最も高く、次いで「趣味のため」が58.0%、「自分の生活費のため」が40.6%、「交際費のため」が36.8%、「社会経験を積むため」が36.3%となった。
- ◆ 「趣味のため」は2020年より増加傾向にあり、2020年比では10.3pt増加している。趣味のためにアルバイトをする大学生が増えている様子がうかがえる。

Q あなたがアルバイトをする目的をお答えください。（複数回答）



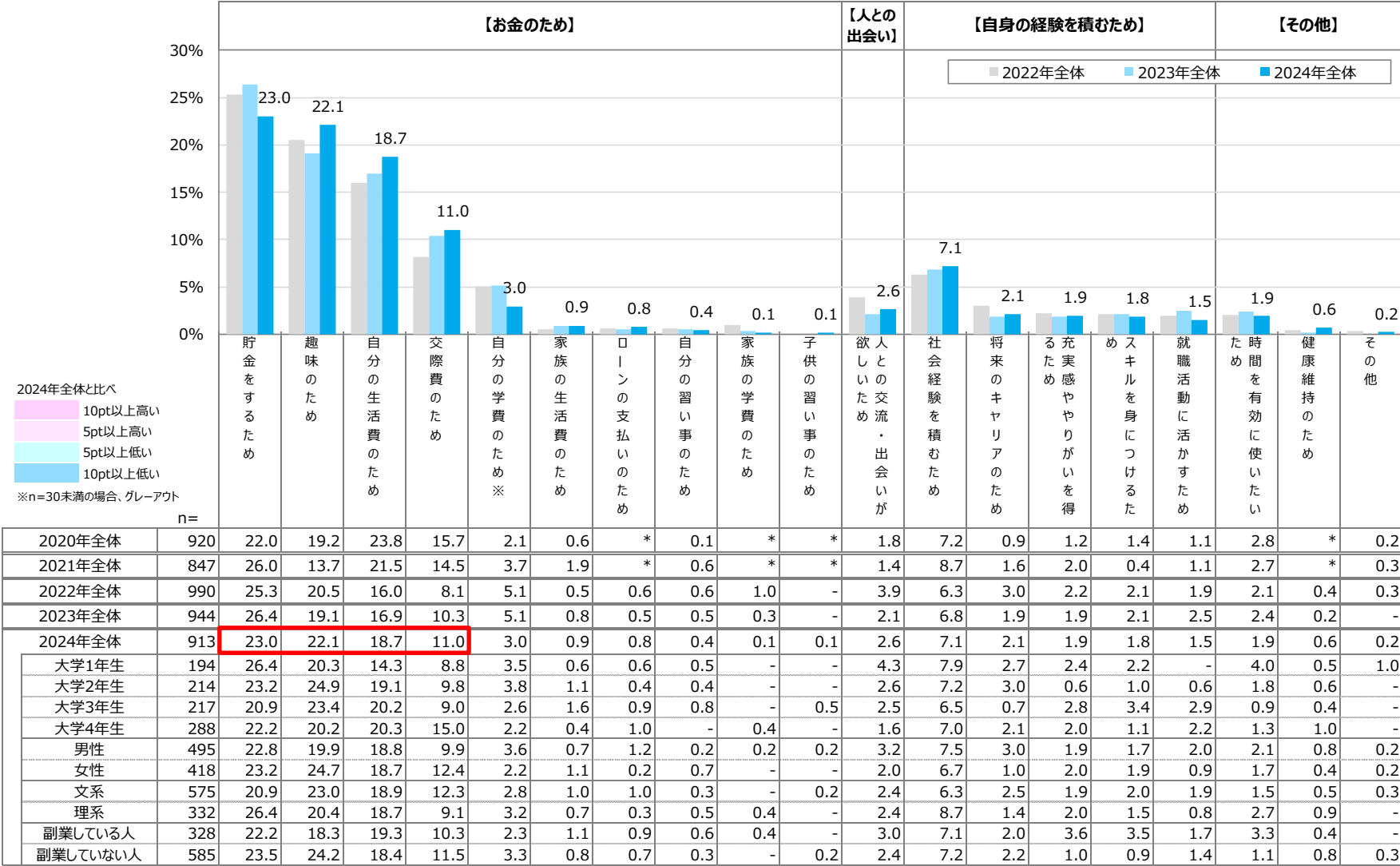
*は非聴取選択肢（％）
※2020年・2021年調査の「自分の学費のため」は、「授業料を払うため」の数値を記載している

3-1. アルバイトの目的（最もあてはまる）

◆ 2024年全体では、「貯金をするため」が23.0%と最も高く、次いで「趣味のため」が22.1%、「自分の生活費のため」が18.7%、「交際費のため」が11.0%となった。

Q あなたがアルバイトをする目的をお答えください。（単一回答）

※2024年全体のスコアで降順ソート



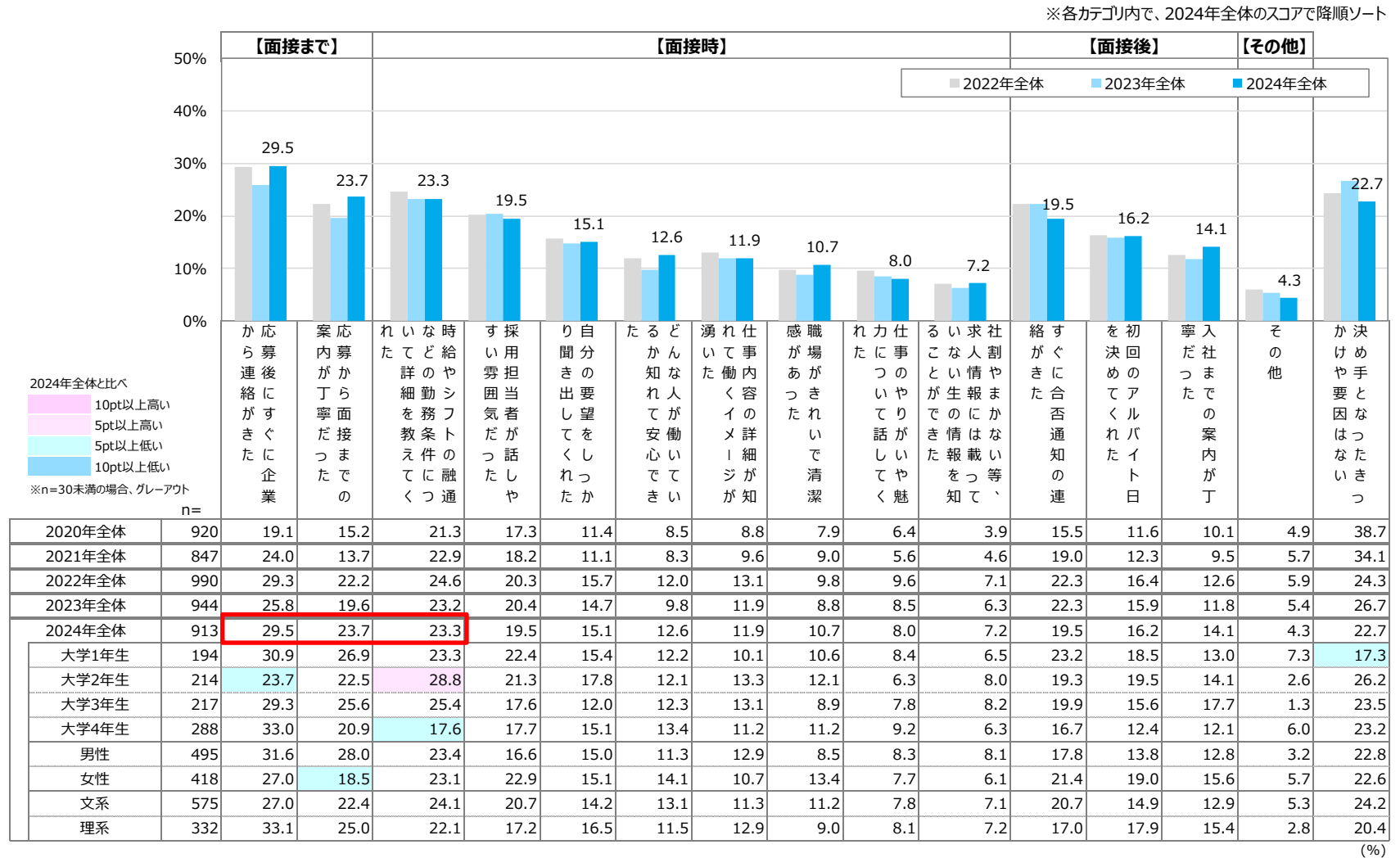
*は非聴取選択肢（%）

※2020年・2021年調査の「自分の学費のため」は、「授業料を払うため」の数値を記載している

3-2. アルバイト先を決めた要因（あてはまるものすべて）

◆ 2024年全体では、アルバイト先を決めた要因としては「応募後にすぐに企業から連絡がきた」が29.5%と最も高く、次いで「応募から面接までの案内が丁寧だった」が23.7%、「時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えてくれた」が23.3%となった。

Q 現在のアルバイトについて、応募してから入社を決めるまでの期間で、入社の決め手となるきっかけや決定打となった要因について、あてはまるものをお答えください。（複数回答）

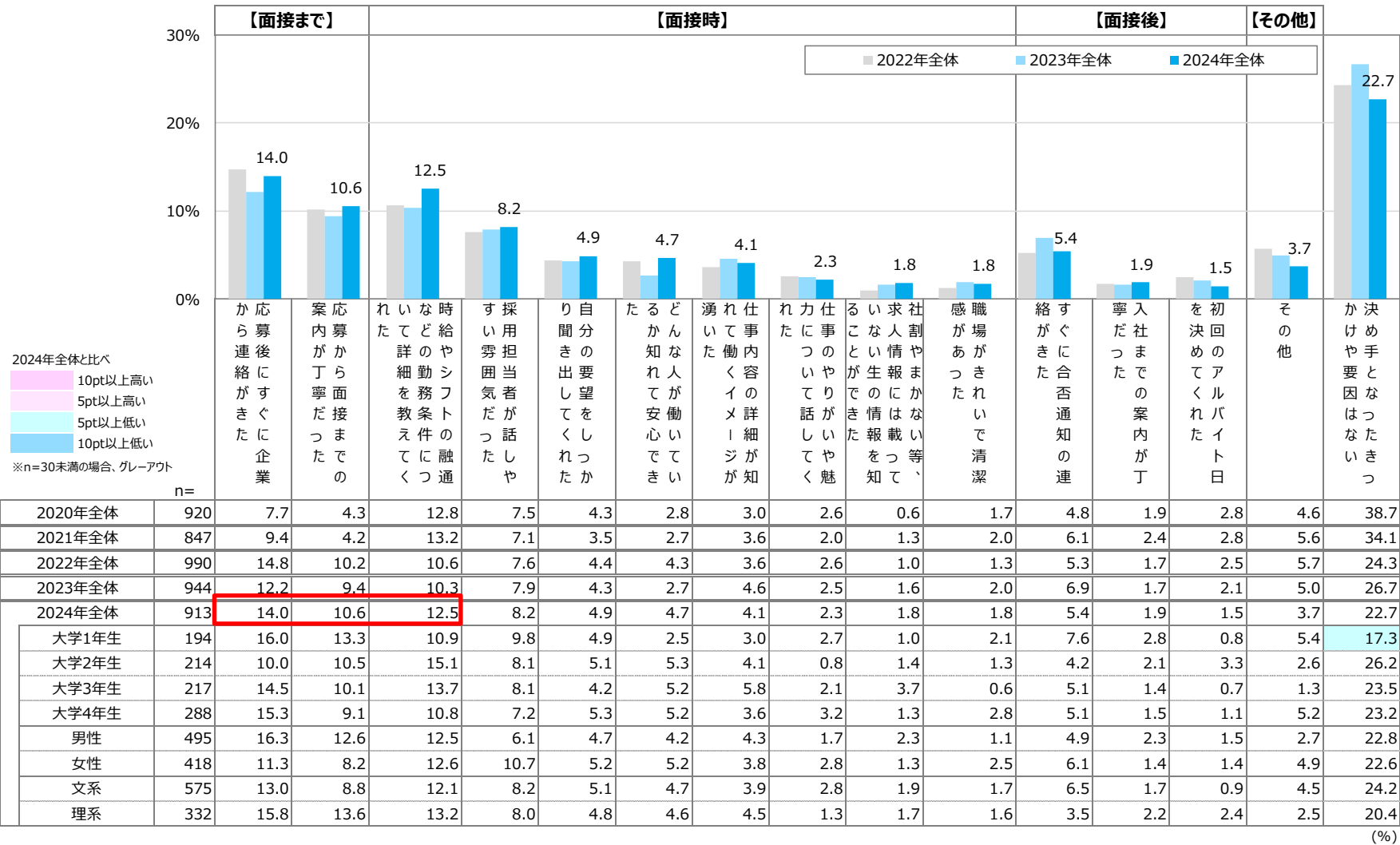


3-2. アルバイト先を決めた要因（最もあてはまる）

◆ 2024年全体では、アルバイト先を決めた要因としては「応募後にすぐに企業から連絡がきた」が14.0%と最も高く、次いで「時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えてくれた」が12.5%、「応募から面接までの案内が丁寧だった」が10.6%となった。

Q 現在のアルバイトについて、応募してから入社を決めるまでの期間で、入社の決め手となるきっかけや決定打となった要因について、あてはまるものをお答えください。（単一回答）

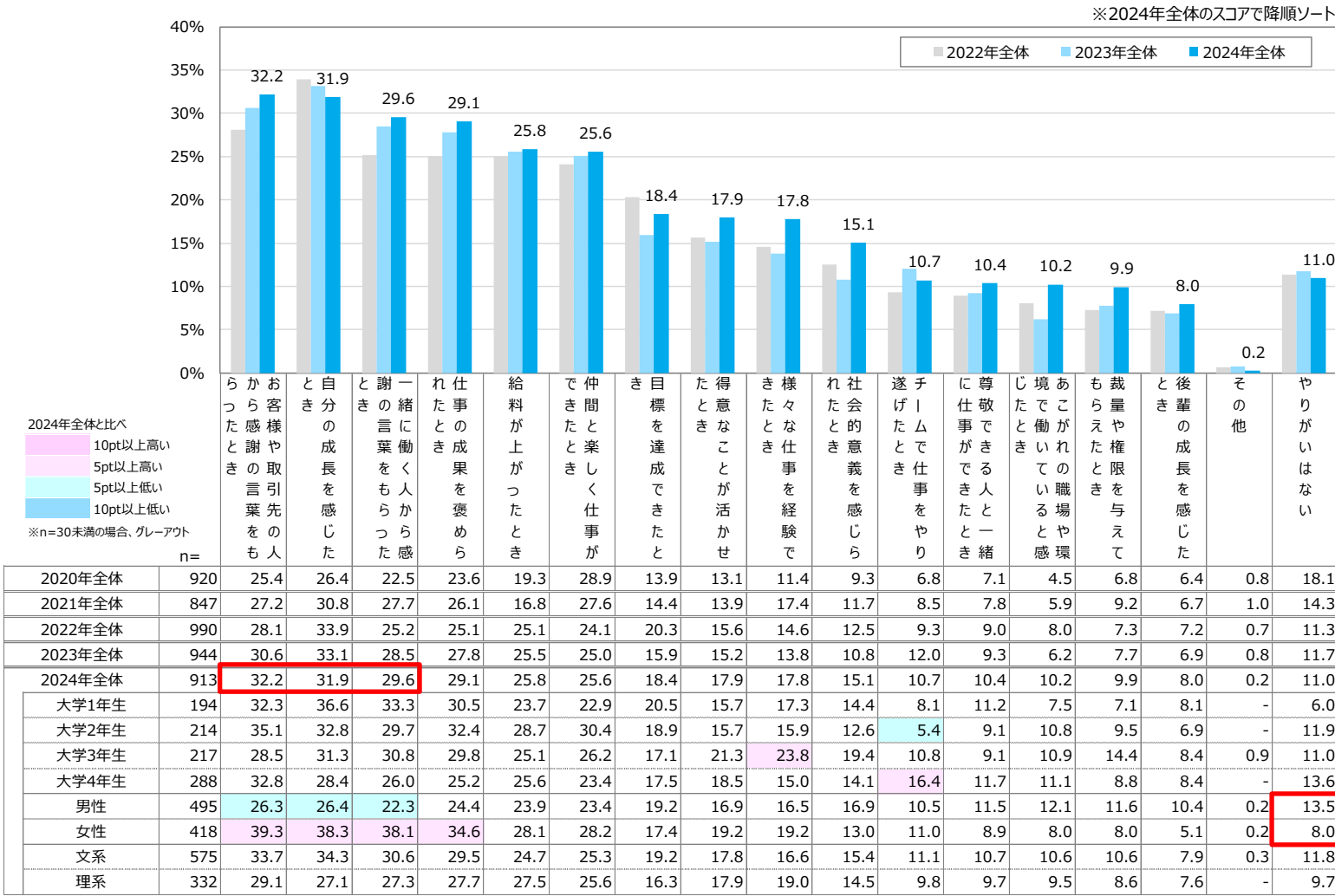
※各カテゴリ内で、2024年全体のスコアで降順ソート



3-3. アルバイトのやりがい（あてはまるものすべて）

- ◆ 2024年全体では、「お客様や取引先の人から感謝の言葉をもらったとき」が32.2%と最も高く、次いで「自分の成長を感じたとき」が31.9%、「一緒に働く人から感謝の言葉をもらったとき」が29.6%となった。
- ◆ 「やりがいはない」は【男性】より【女性】で低く、女性は男性よりやりがいを感じている人が多い。

Q あなたがアルバイト先でやりがいを感じたときに、あてはまるものをお選びください。（複数回答）



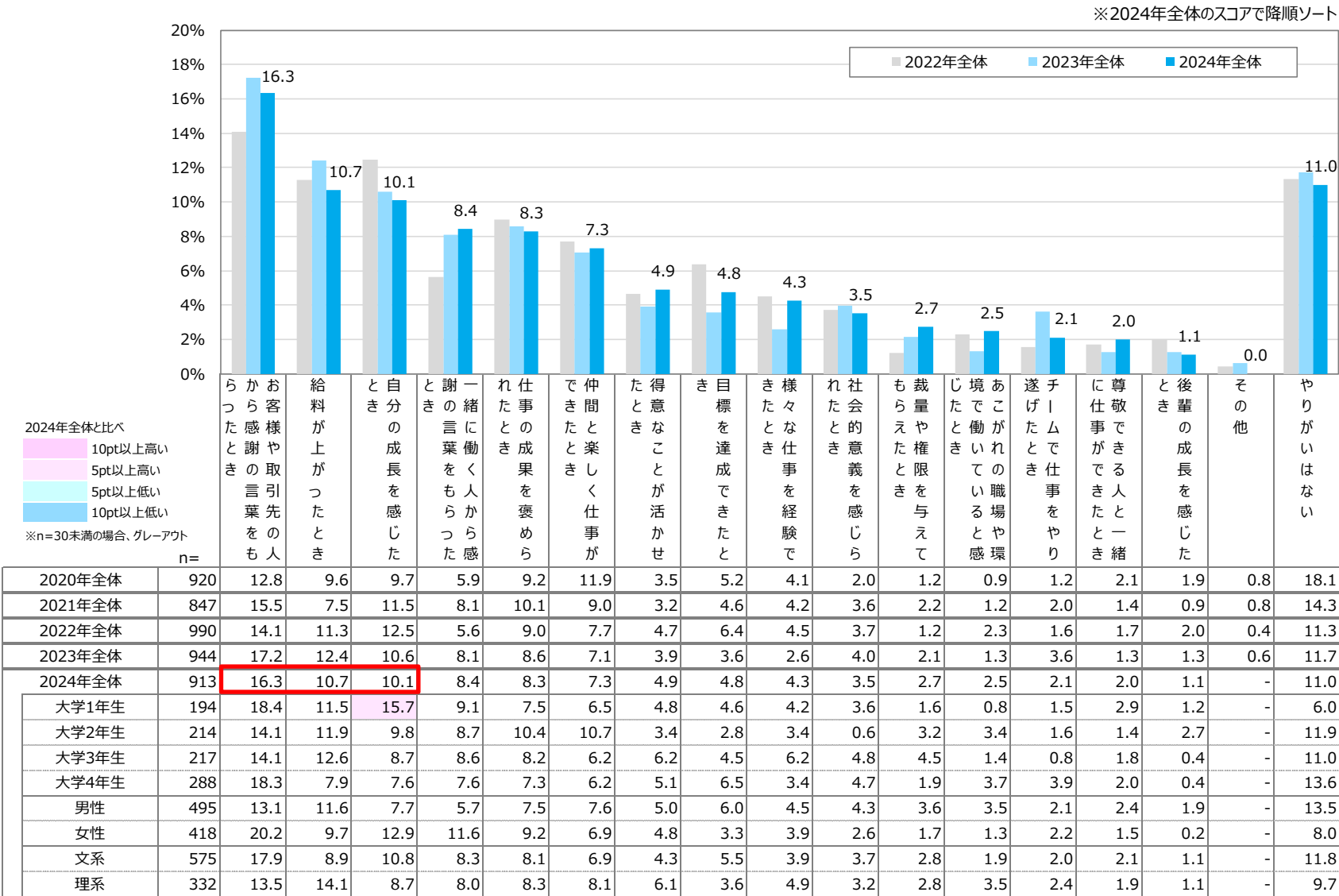
(%)

3-3. アルバイトのやりがい（最もあてはまる）



◆ 2024年全体では、「お客様や取引先の人から感謝の言葉をもらったとき」が16.3%と最も高く、次いで「給料が上がったとき」が10.7%、「自分の成長を感じたとき」が10.1%となった。

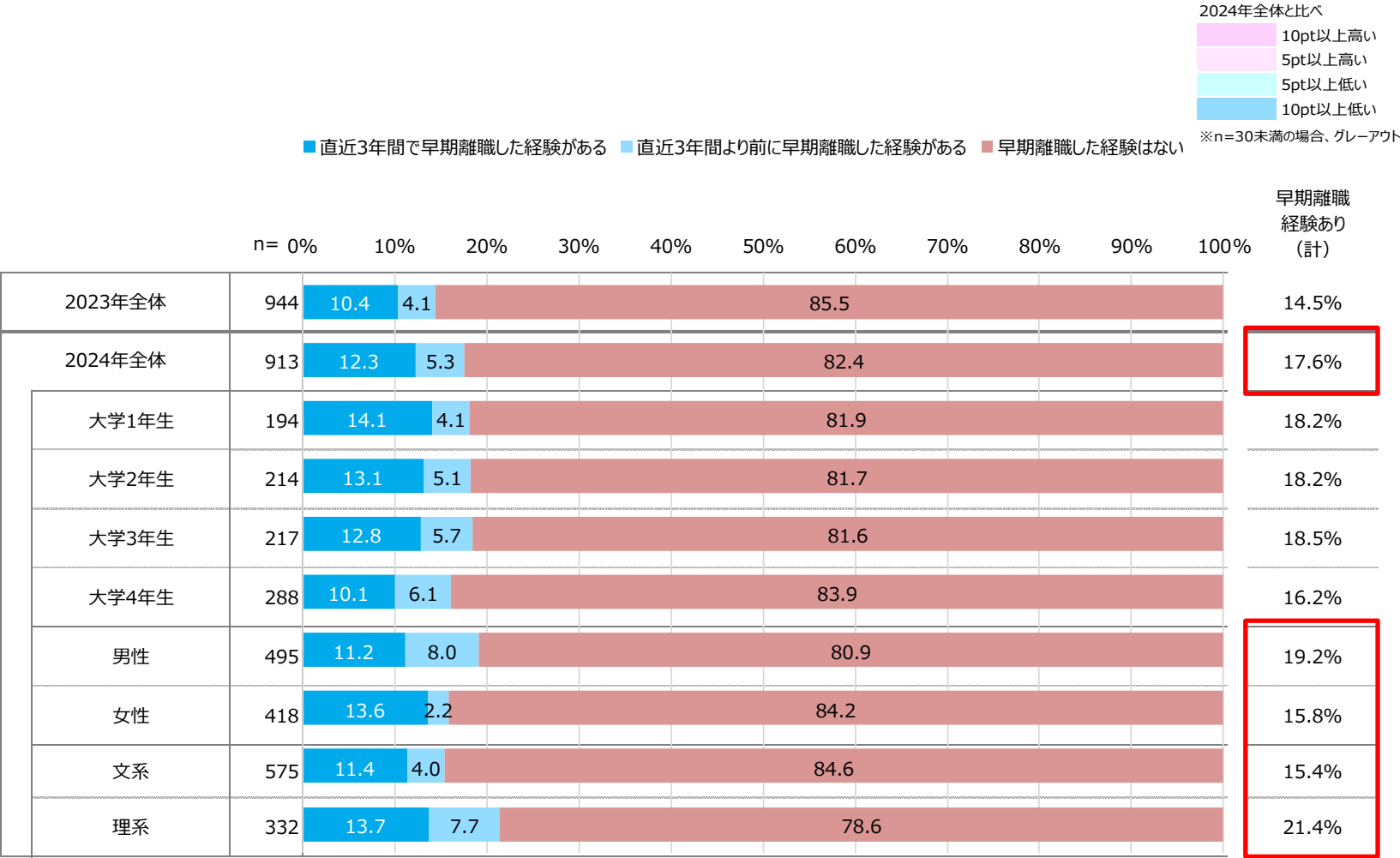
Q あなたがアルバイト先でやりがいを感じたときに、あてはまるものをお選びください。（単一回答）



3-4. 早期離職経験

- ◆ 2024年全体では、「早期離職経験あり（直近3年間で早期離職した経験がある+直近3年間より前に早期離職した経験がある）」は17.6%。
- ◆ 「早期離職経験あり」は【女性】より【男性】の方が高い。また、【文系】より【理系】で高い。

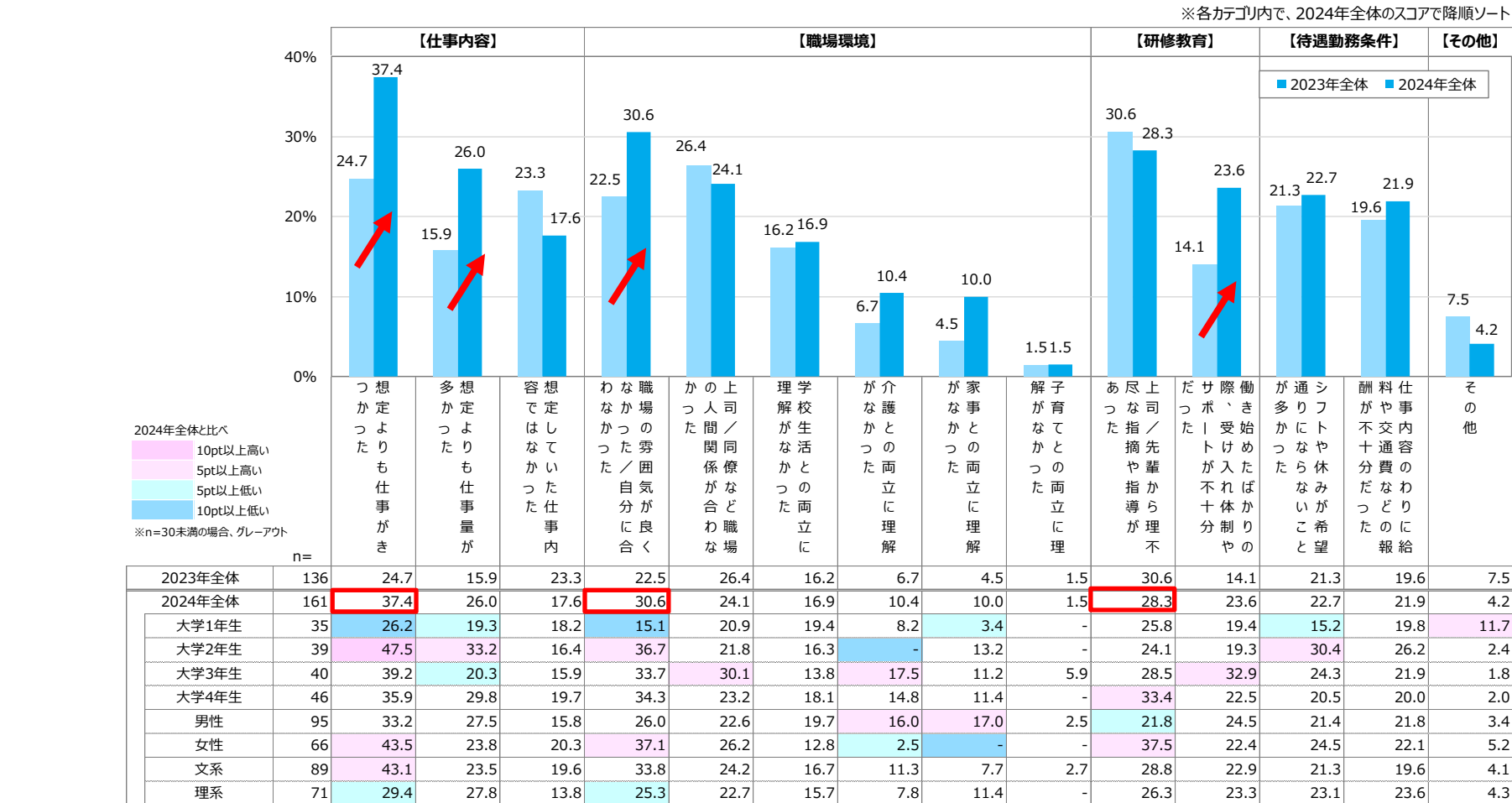
Q あなたのアルバイトの早期離職経験についてあてはまるものひとつお選びください。（単一回答）
※ここでの「早期離職」とは：引越し等のやむを得ない状況は含まず、就業当初は長期勤務予定だったアルバイトを【1ヶ月以内】に辞めることを指す。



3-5. 早期離職理由（あてはまるものすべて）

- ◆ 2024年全体では、「想定よりも仕事がつかなかった」が37.4%と最も高く、次いで「職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった」が30.6%、「上司／先輩から理不尽な指摘や指導があった」が28.3%となった。
- ◆ 前年比では、「想定よりも仕事がつかなかった」が12.7pt増と上げ幅が最も大きく、次いで「想定よりも仕事量が多かった」が10.1pt増、「働き始めたばかりの際、受け入れ体制やサポートが不十分だった」が9.5pt増、「職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった」が8.1pt増となった。働き始める前のイメージと実際の仕事内容や職場環境とのギャップや受け入れ体制・サポートの不十分さが要因で早期離職をした大学生が増加した。

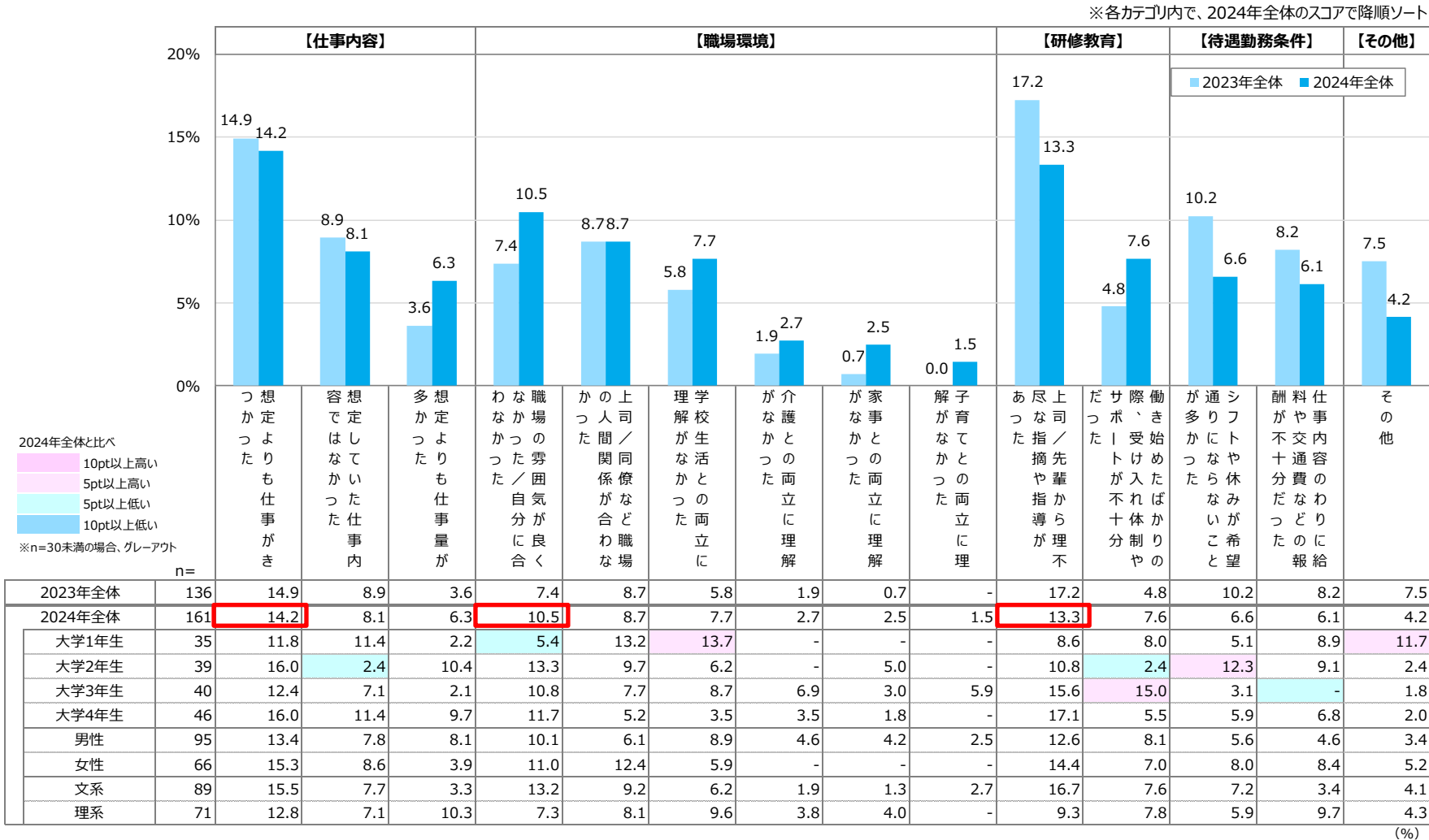
Q 直近の早期離職の要因となったこととして、あてはまるものをお選びください。
※回答ベース：早期離職経験あり（複数回答）



3-5. 早期離職理由（最もあてはまる）

◆ 2024年全体では、「想定よりも仕事がつかなかった」が14.2%と最も高く、次いで「上司／先輩から理不尽な指摘や指導があった」が13.3%、「職場の雰囲気が悪くなかった／自分に合わなかった」が10.5%となった。

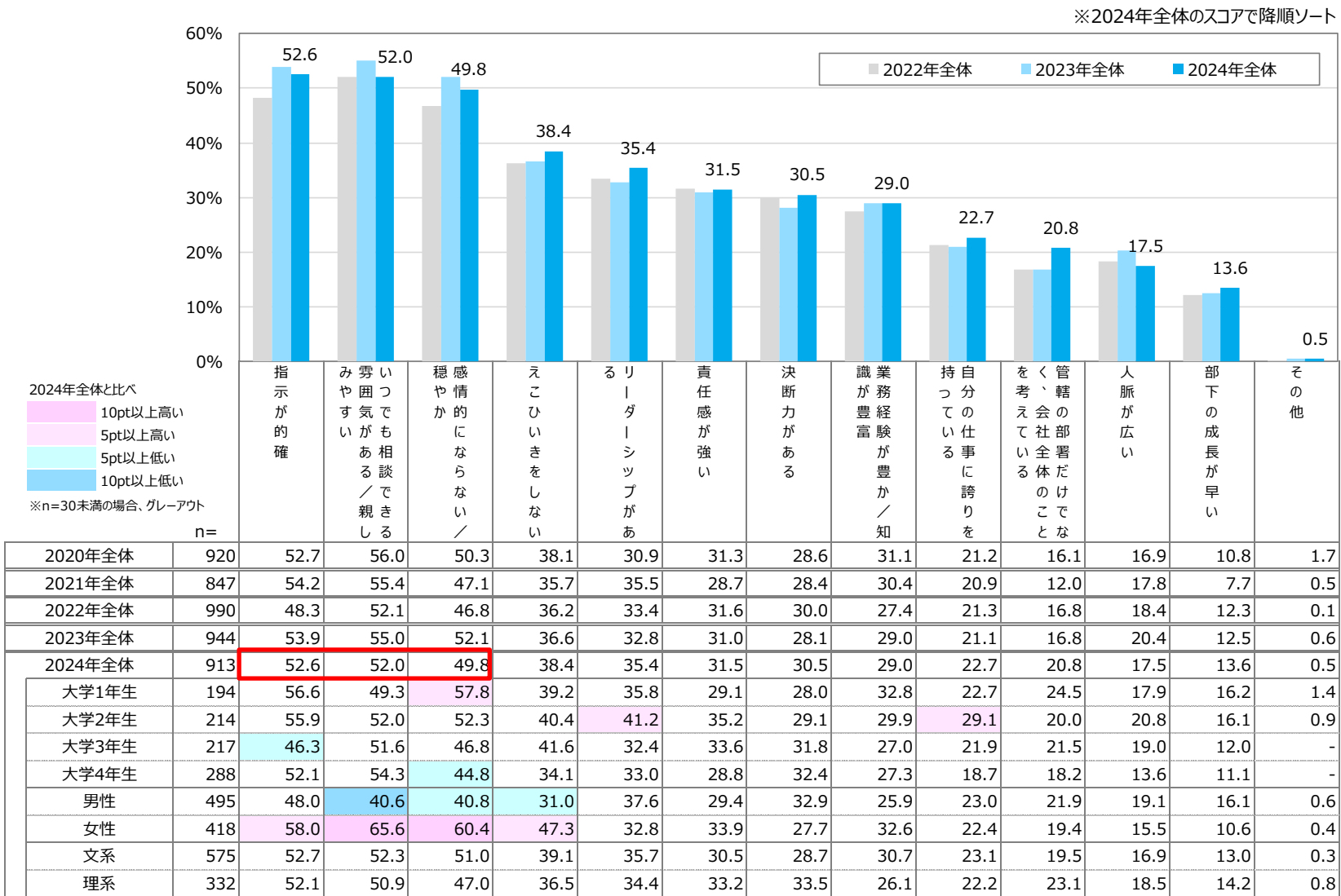
Q 早期離職の要因となったこととして、あてはまるものをお選びください。
※回答ベース：早期離職経験あり（単一回答）



3-6. アルバイト先の理想の上司像（あてはまるものすべて）

◆ 2024年全体では、「指示が的確」が52.6%と最も高く半数を占め、次いで「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」が52.0%、「感情的にならない／穏やか」が49.8%となった。

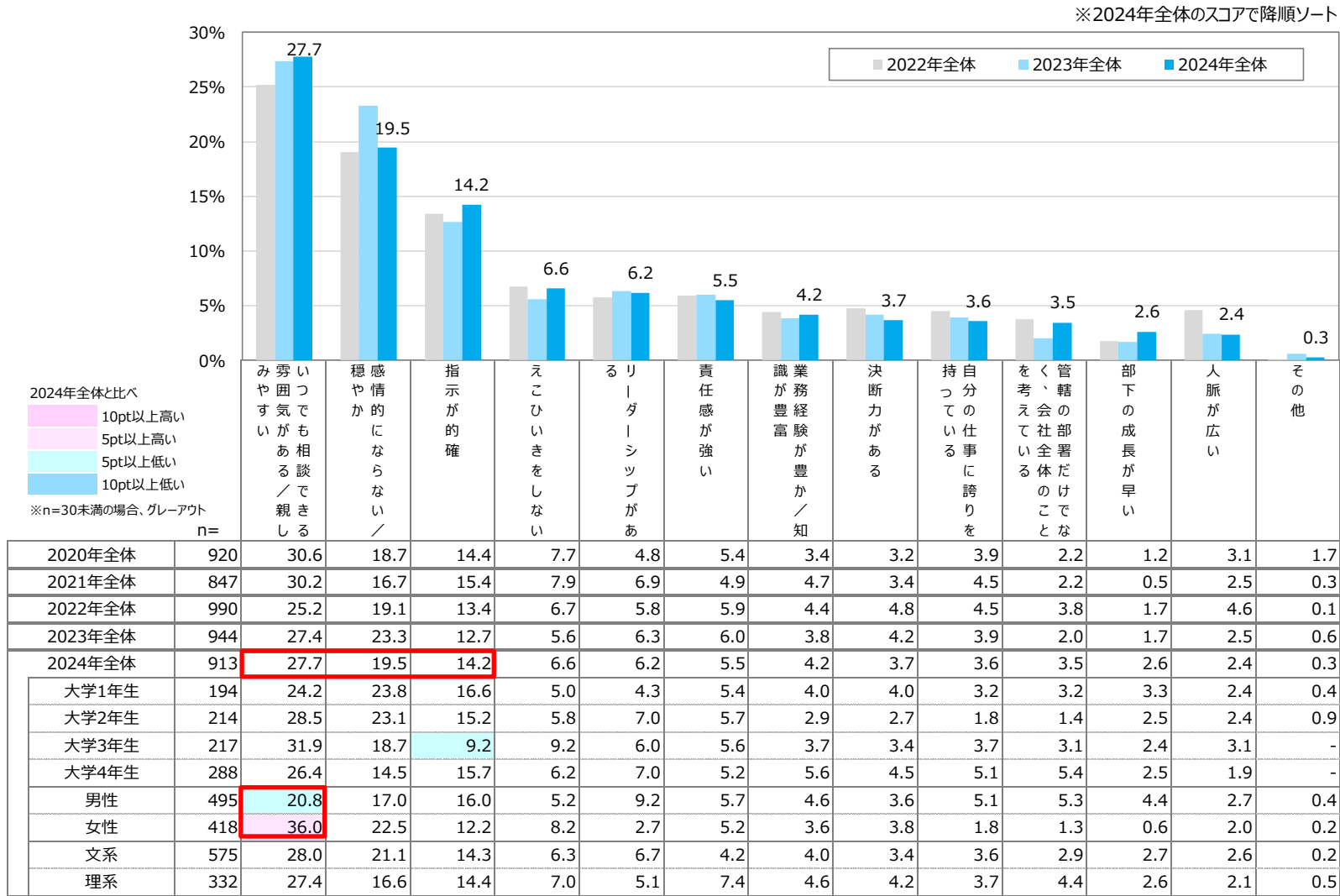
Q あなたが考えるアルバイト先の理想の上司像として、あてはまるものをお選びください。（複数回答）



3-6. アルバイト先の理想の上司像（最もあてはまる）

- ◆ 2024年全体では、「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」が27.7%と最も高く、次いで「感情的にならない／穏やか」が19.5%、「指示が的確」が14.2%となった。
- ◆ 性別では〔女性〕で「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」が36.0%なのに対して、〔男性〕で20.8%となり、女性でいつでも相談できる雰囲気や親しみやすさを重視している人が多い。

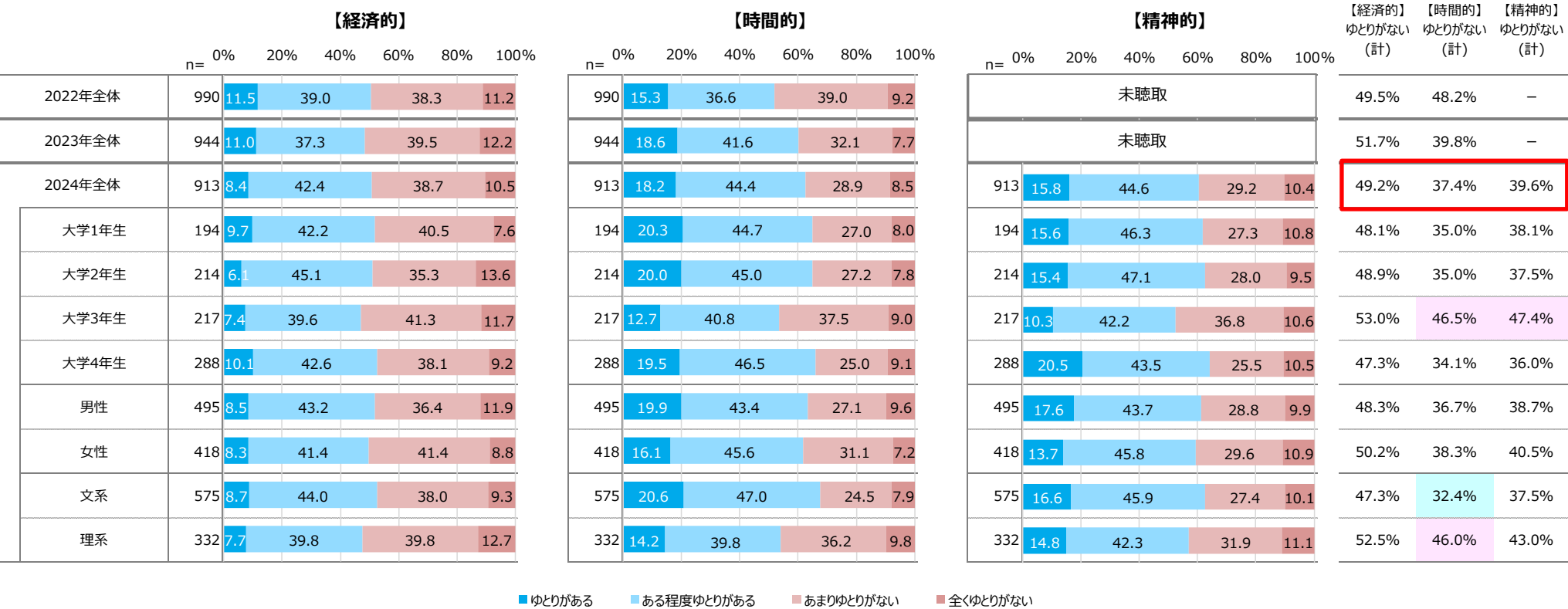
Q あなたが考えるアルバイト先の理想の上司像として、あてはまるものをお選びください。（単一回答）



3-7. 経済的・時間的・精神的なゆとりの有無

- ◆ 経済的なゆとりがあるかを2024年全体でみると、「ゆとりがない・計（あまりゆとりがない+全くゆとりがない）」は49.2%となった。
- ◆ 時間的なゆとりがあるかを2024年全体でみると、「ゆとりがない・計（あまりゆとりがない+全くゆとりがない）」は37.4%となった。
- ◆ 精神的なゆとりがあるかを2024年全体でみると、「ゆとりがない・計（あまりゆとりがない+全くゆとりがない）」は39.6%となった

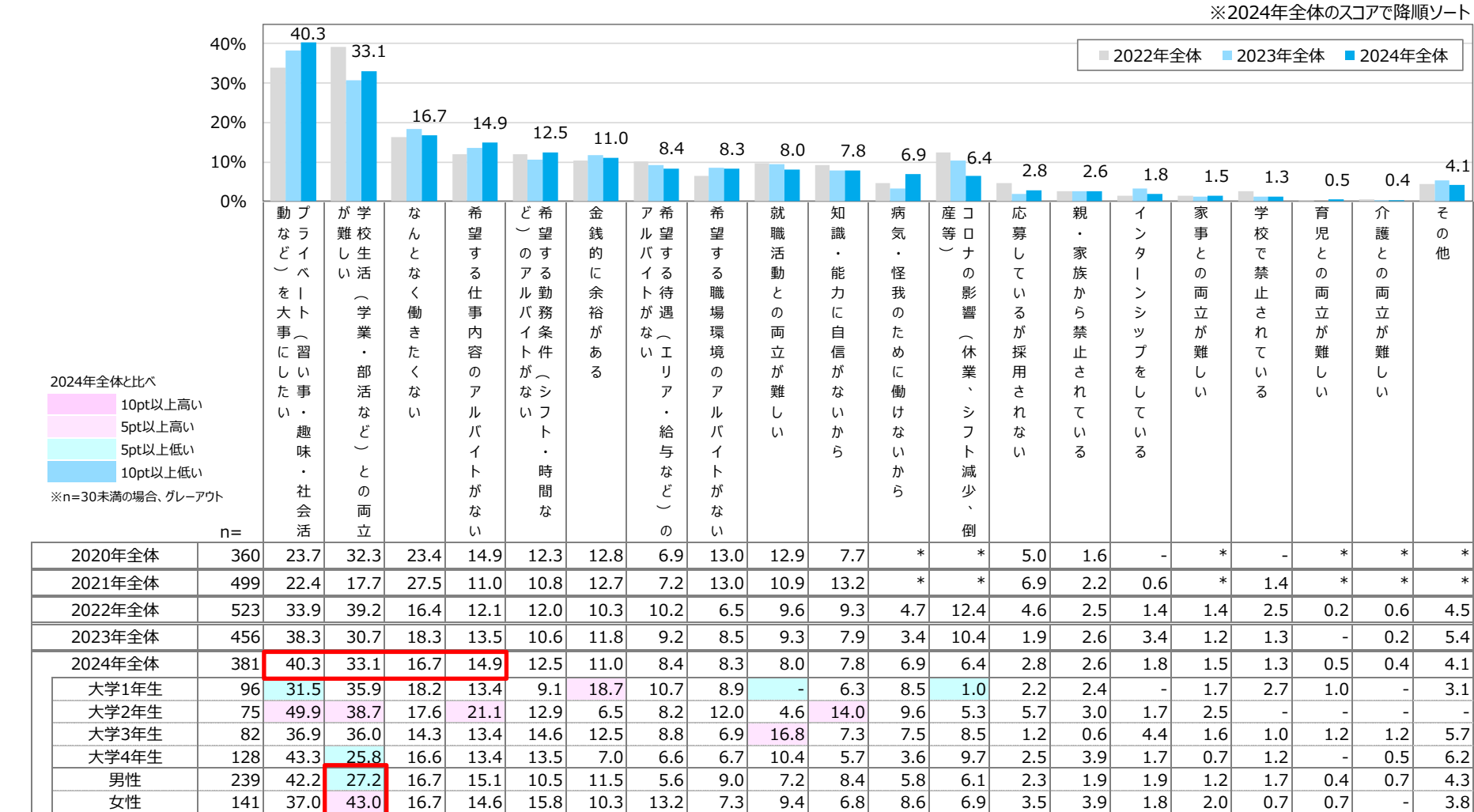
Q 経済的・時間的・精神的なゆとりがあるかについて教えてください。（単一回答）



3-8. 非就業者のアルバイトをしていない理由（あてはまるものすべて）

- ◆ 2024年全体では、「プライベート（習い事・趣味・社会活動など）を大事にしたい」が40.3%と最も高く、次いで「学校生活（学業・部活など）との両立が難しい」が33.1%、「なんとなく働きたくない」が16.7%、「希望する仕事内容のアルバイトがない」が14.9%となった。
- ◆ 「学校生活（学業・部活など）との両立が難しい」は【男性】より【女性】で高い。

Q 現在アルバイトをしていない理由として、あてはまるものをお選びください。
※回答ベース：現在アルバイトをしていない人（複数回答）



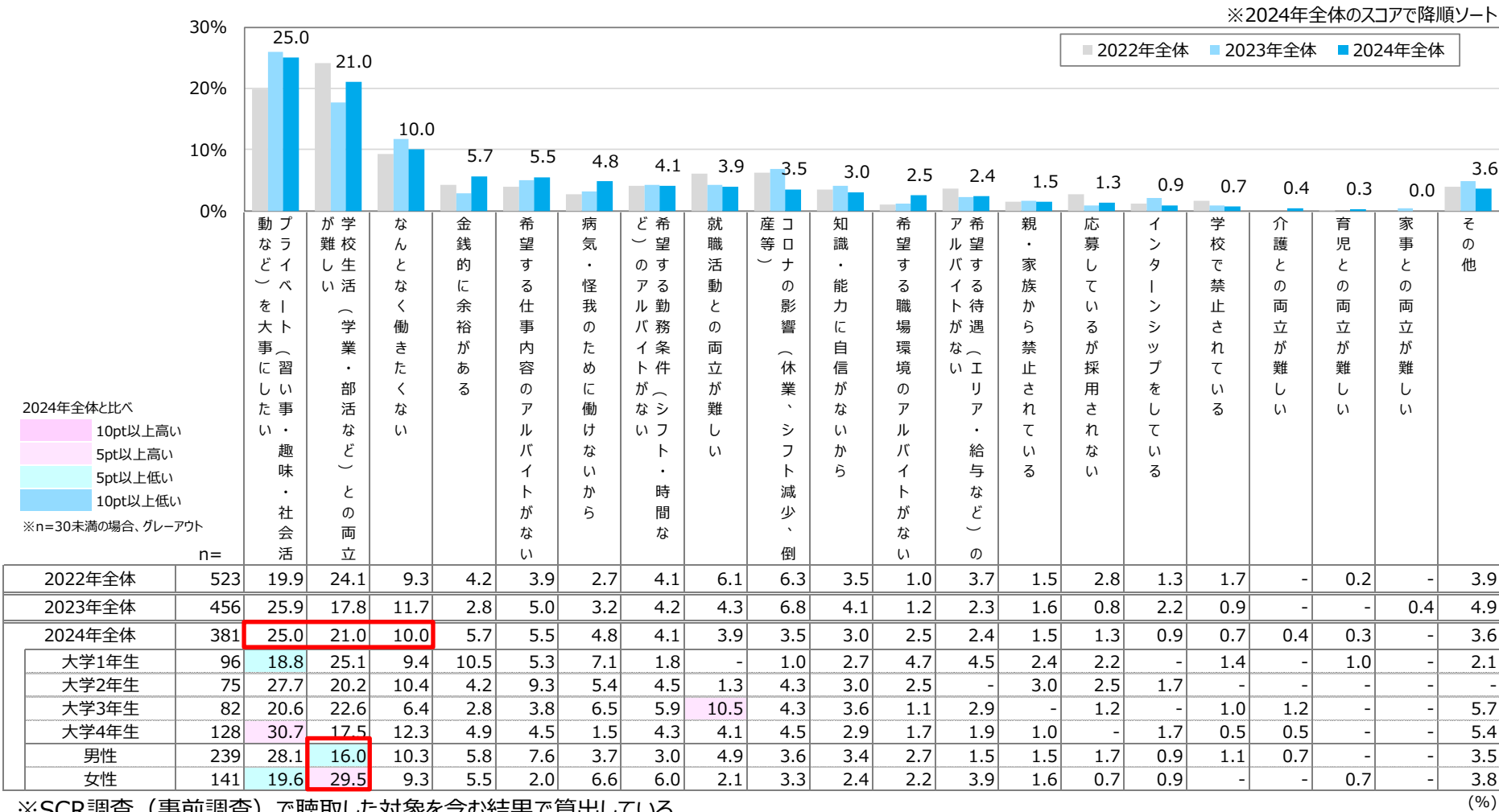
※SCR調査（事前調査）で聴取した対象を含む結果で算出している

*は非聴取選択肢（%）

3-8. 非就業者のアルバイトをしていない理由（最もあてはまる）

- ◆ 2024年全体では、「プライベート（習い事・趣味・社会活動など）を大事にしたい」が25.0%と最も高く、次いで「学校生活（学業・部活など）との両立が難しい」が21.0%、「なんとなく働きたくない」が10.0%となった。
- ◆ 「学校生活（学業・部活など）との両立が難しい」は【男性】より【女性】で高い。

Q 現在アルバイトをしていない理由として、あてはまるものをお選びください。
※回答ベース：現在アルバイトをしていない人（単一回答）

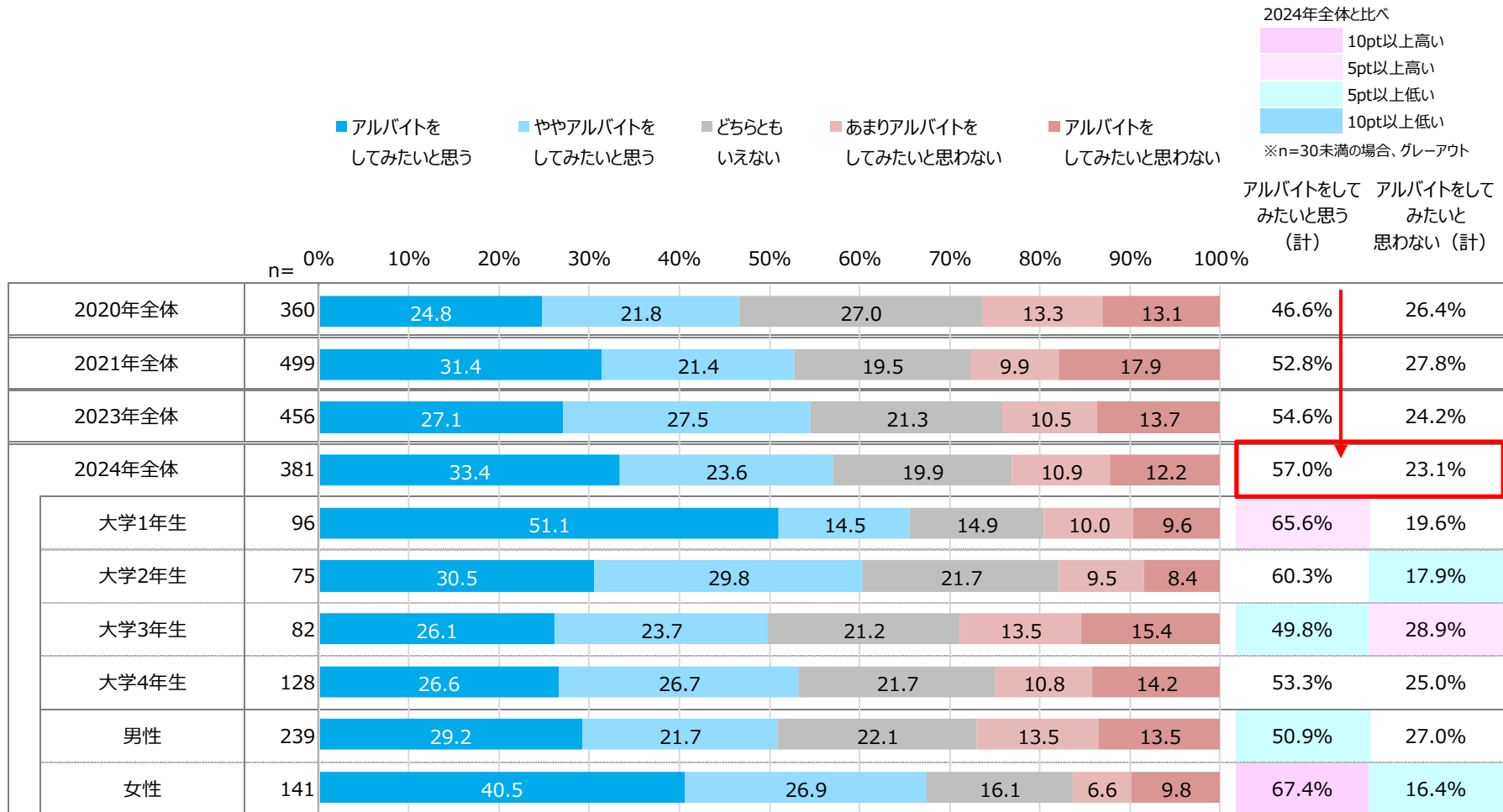


3-9. 非就業者のアルバイト就業意向【学期中】

- ◆ 学期中のアルバイト就業意向を2024年全体でみると、「就業意向あり（アルバイトをしてみたいと思う+ややアルバイトをしてみたいと思う）」は57.0%、「就業意向なし（あまりアルバイトをしてみたいと思わない+アルバイトをしてみたいと思わない）」は23.1%となった。
- ◆ 就業意向ありは、2020年から連続で増加しており、2020年比では10.4pt増加した。現在アルバイトをしていない大学生のアルバイト就業意向は高まっているとみられる。

Q あなたは、大学生の間にアルバイトをしてみたいと思いますか。

※回答ベース：現在アルバイトをしていない人：学期中（ふだんの学校に通っているとき、休日含む）（単一回答）



※2022年は調査時期が異なるため比較していない

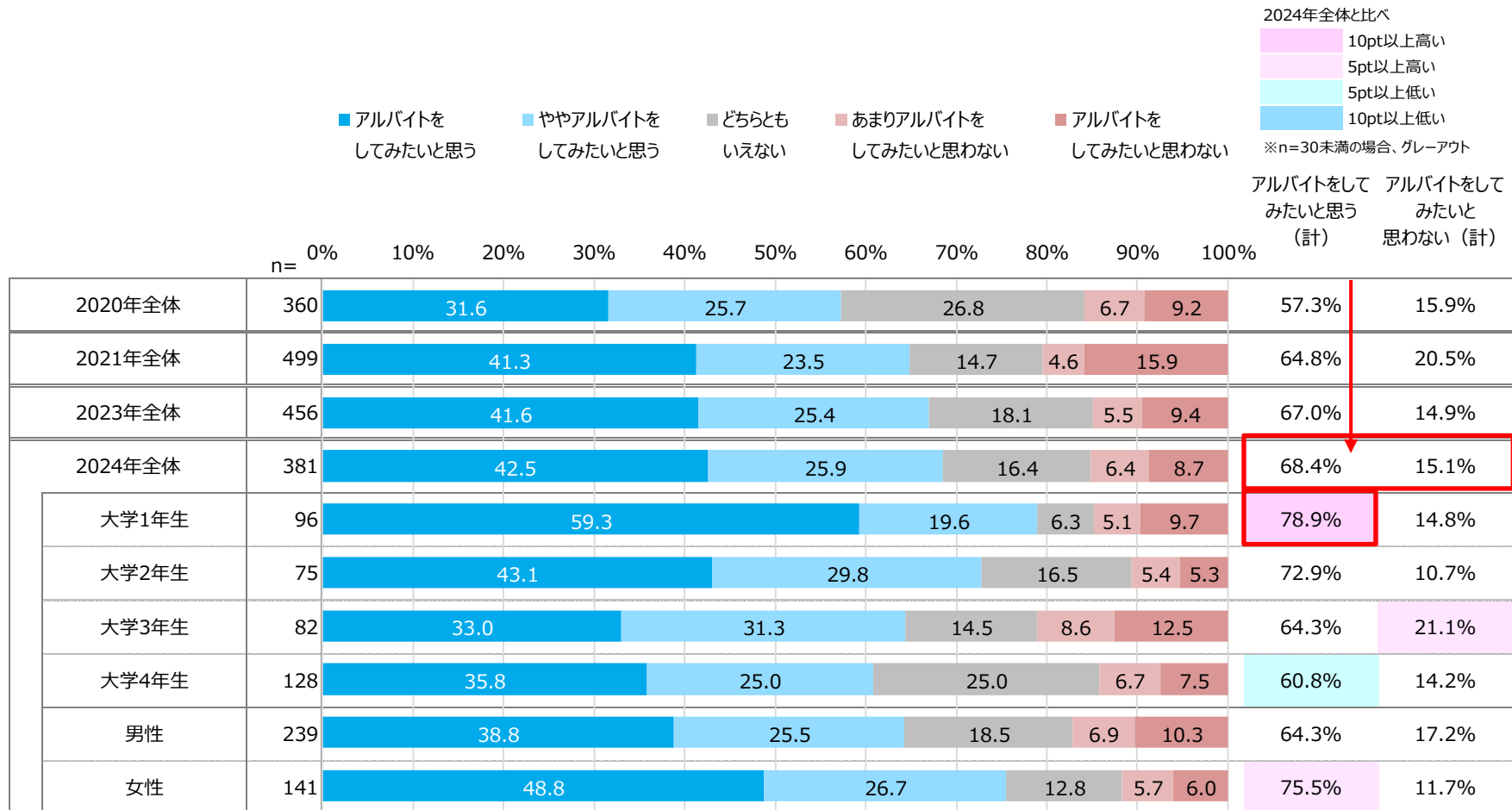
※SCR調査（事前調査）で聴取した対象を含む結果で算出している

3-9. 非就業者のアルバイト就業意向【長期休み中】

- ◆ 長期休み中のアルバイト就業意向を2024年全体でみると、「就業意向あり（アルバイトをしてみたいと思う+ややアルバイトをしてみたいと思う）」は68.4%、「就業意向なし（あまりアルバイトをしてみたいと思わない+アルバイトをしてみたいと思わない）」は15.1%となった。
- ◆ 就業意向ありは、2020年から連続で増加しており、2020年比では11.1pt増加した。現在アルバイトをしていない大学生のアルバイト就業意向は高まっているとみられる。
- ◆ 学年別では、「就業意向あり」は大学1年生で78.9%と最も高くなった。

Q あなたは、大学生の間にアルバイトをしてみたいと思いますか。

※回答ベース：現在アルバイトをしていない人：春休み・夏休みなどの長期休み中（単一回答）



※2022年は調査時期が異なるため比較していない

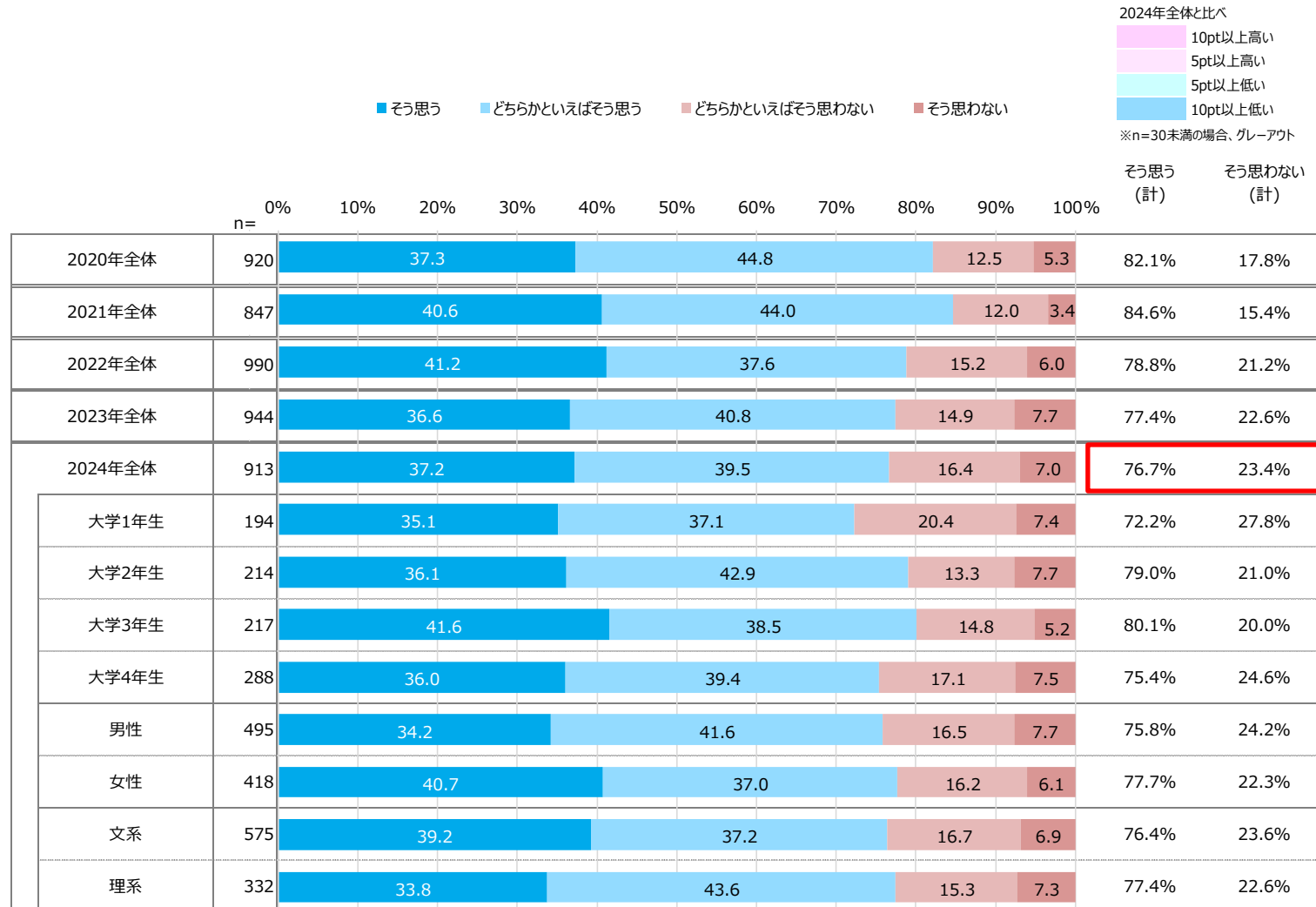
※SCR調査（事前調査）で聴取した対象を含む結果で算出している

4. 現在のアルバイト先への意識

4-1. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイト先で長く働きたいと思える】

◆ 2024年全体では、現在のアルバイト先で「長く働きたい・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は76.7%、「長く働きたくない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない・計）」は23.4%となった。

Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。
【現在のアルバイト先で長く働きたいと思える】（単一回答）

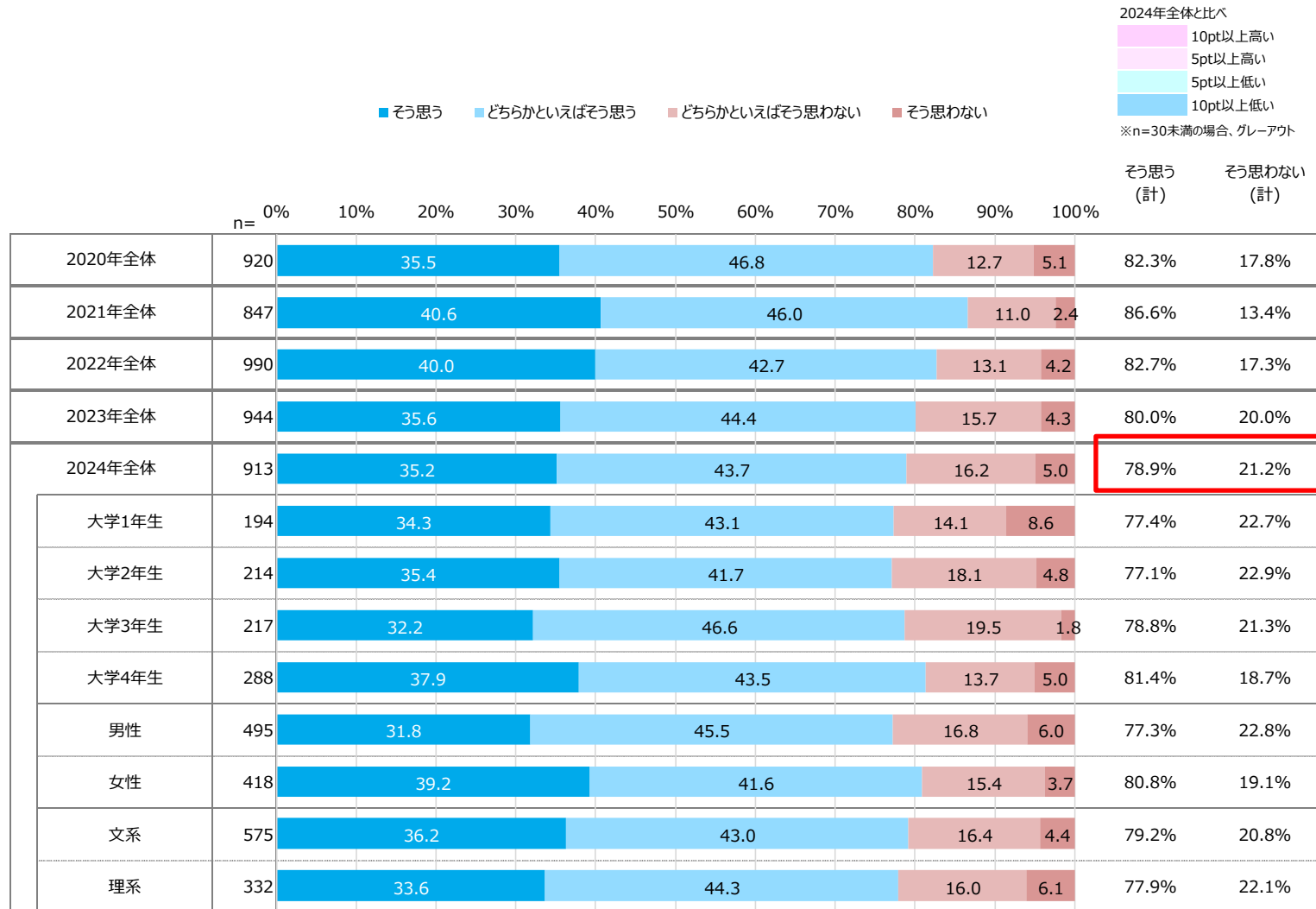


4-2. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイト先に満足している】

◆ 2024年全体では、現在のアルバイト先に「満足・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は78.9%、「不満・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない）」は21.2%となった。

Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。

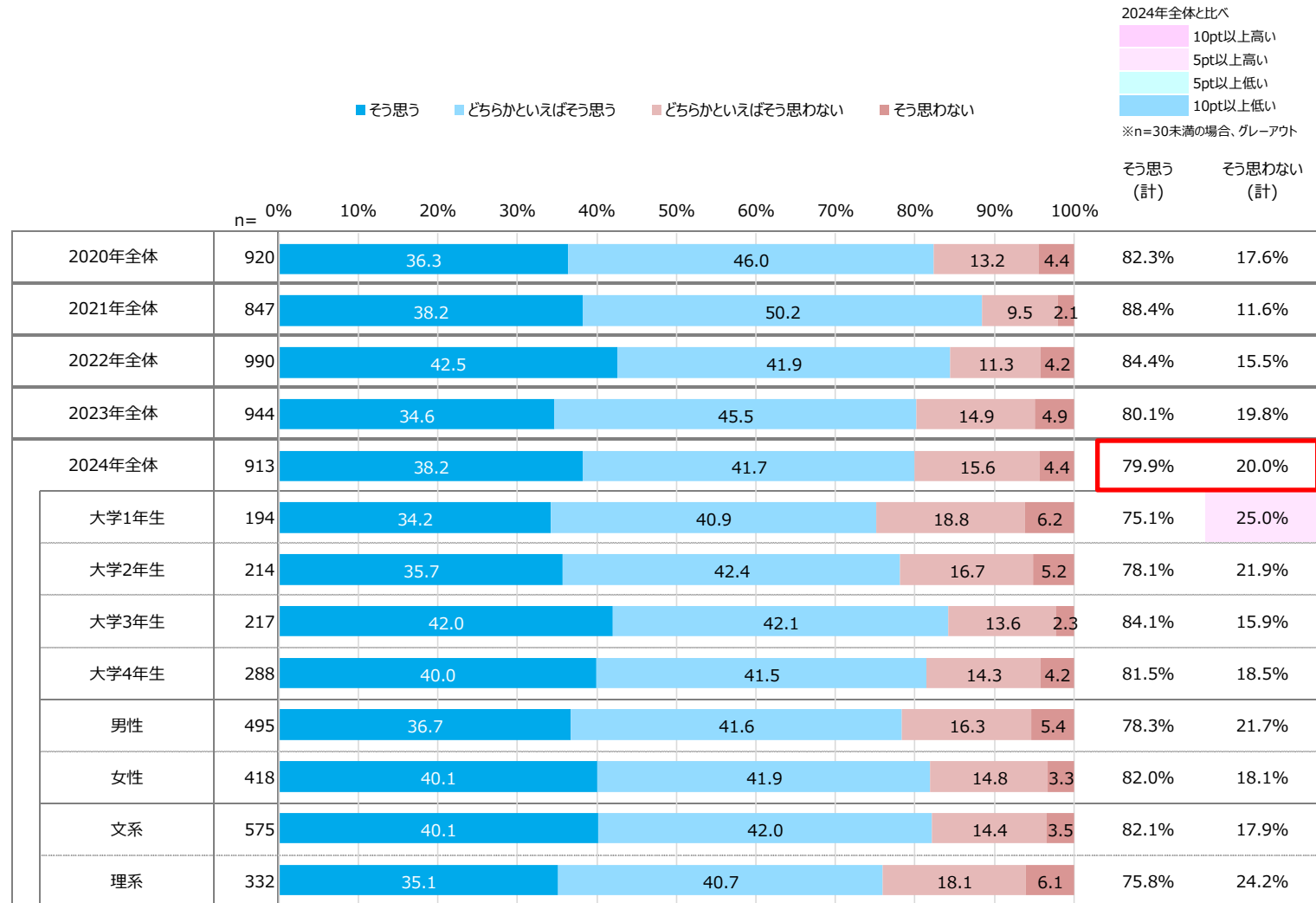
【現在のアルバイト先に満足している】（単一回答）



4-3. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイトに前向きに取り組める】

◆ 2024年全体では、現在のアルバイトに「前向き・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は79.9%、「前向きでない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない）」は20.0%となった。

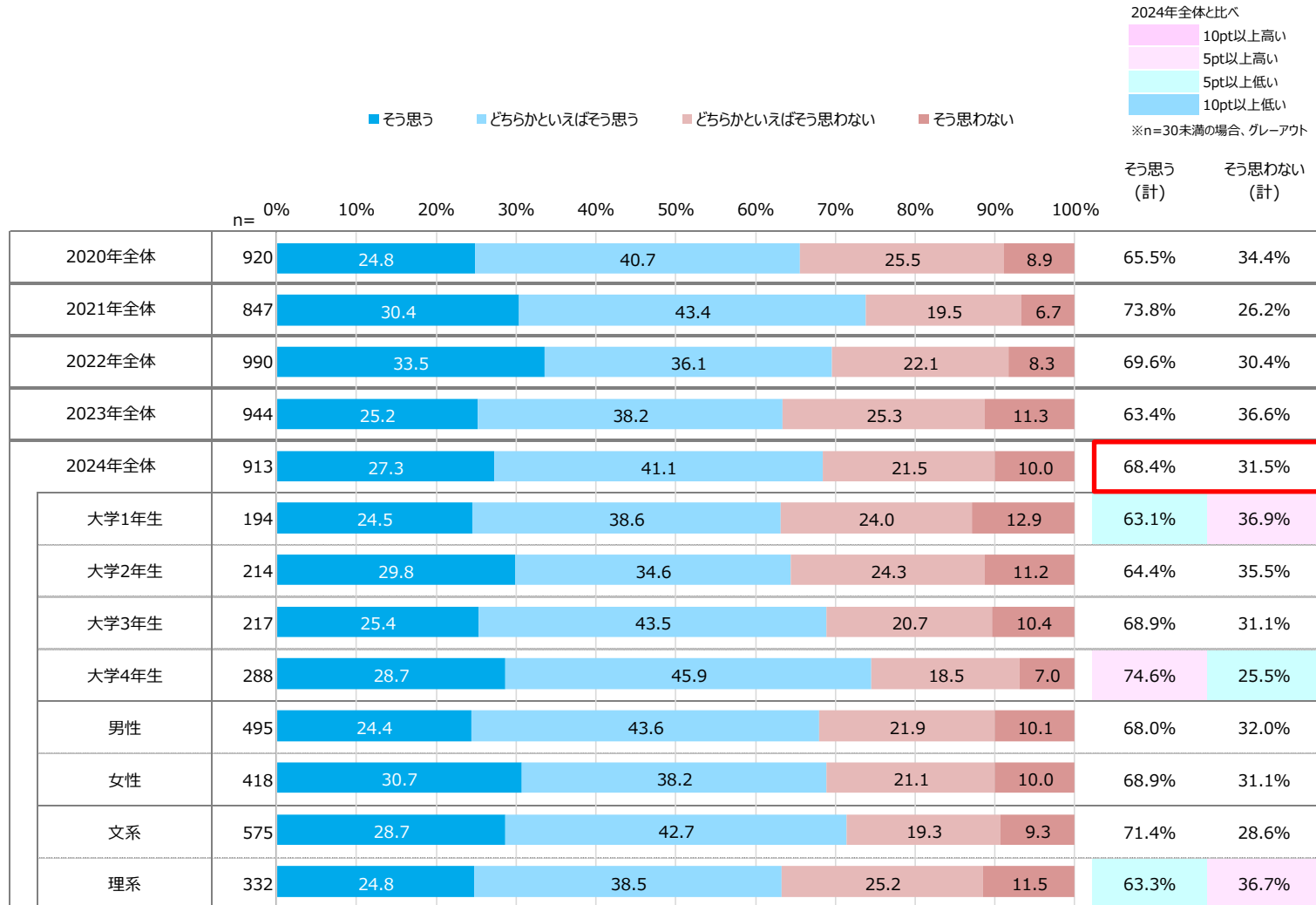
Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。
【現在のアルバイトに前向きに取り組める】（単一回答）



4-4. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイト先を家族や友人に薦めたいと思える】

◆ 2024年全体では、現在のアルバイト先を家族や友人に「薦めたい・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は68.4%、「薦めたくない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない・計）」は31.5%となった。

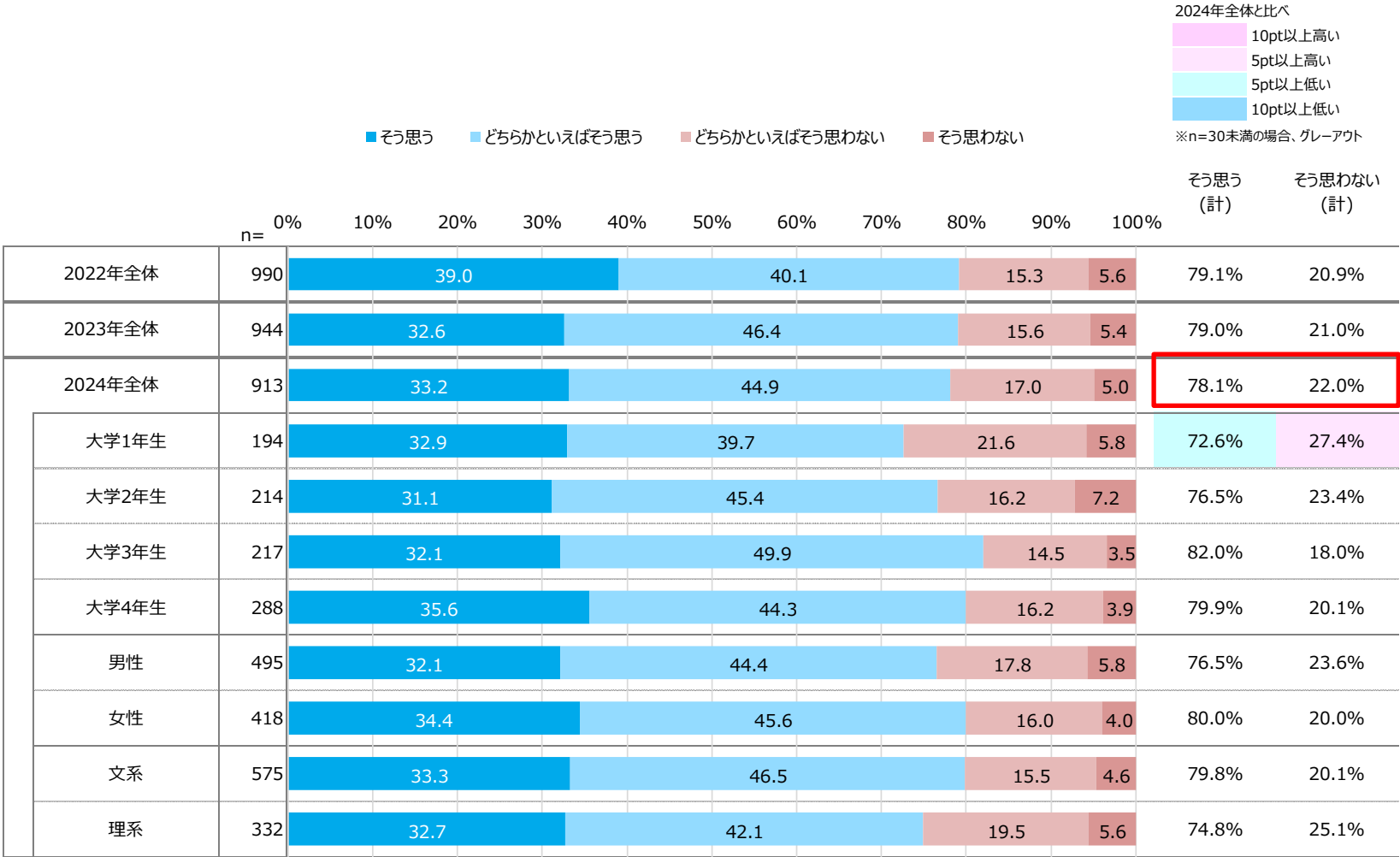
Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。
【現在のアルバイト先を家族や友人に薦めたいと思える】（単一回答）



4-5. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイトが充実している】

◆ 2024年全体では、現在のアルバイトが「充実している・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は78.1%、「充実していない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない）」は22.0%となった。

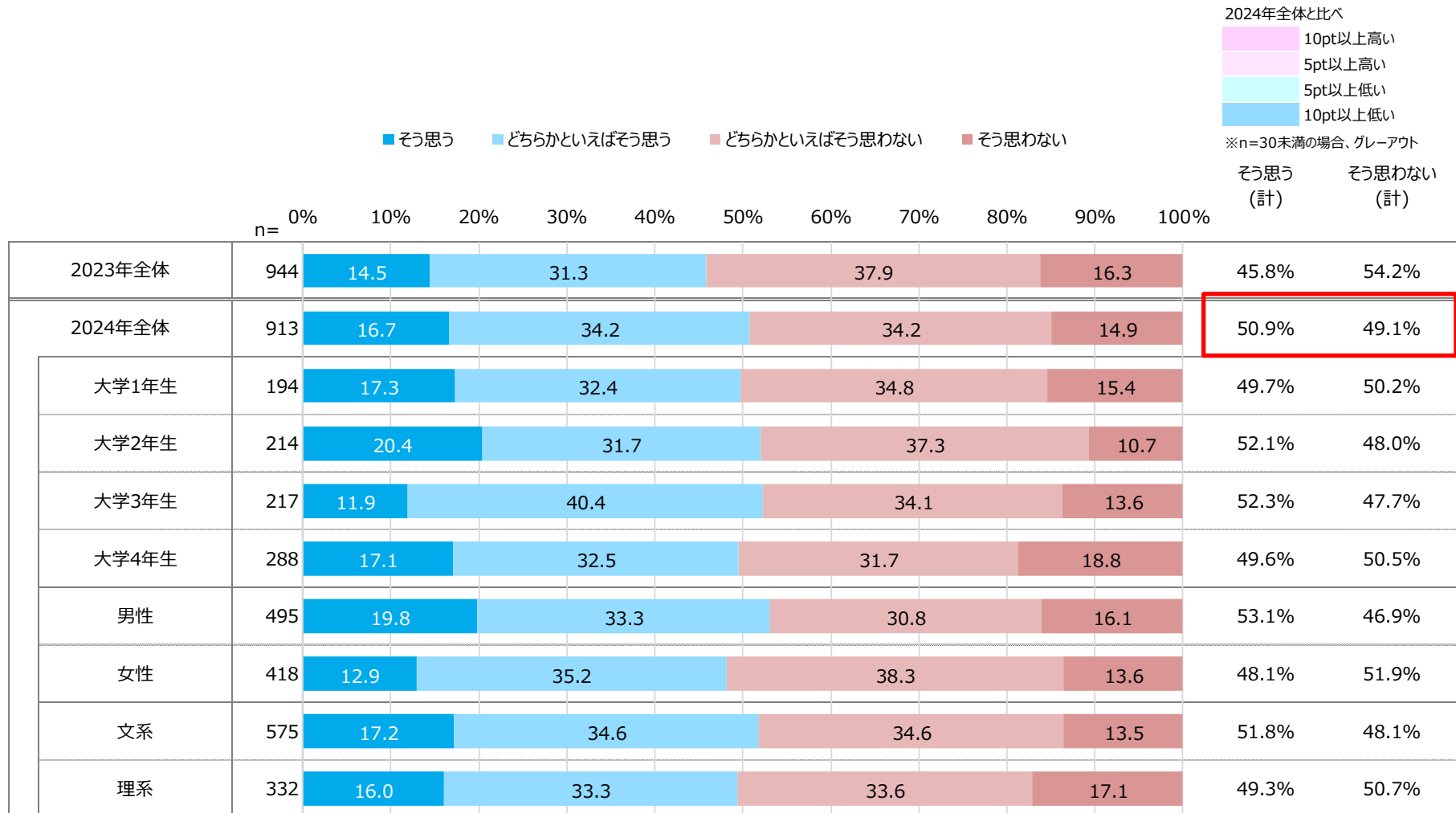
Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。
【現在のアルバイトが充実している】（単一回答）



4-6. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイトにストレスを感じる】

◆ 2024年全体では、現在のアルバイトに「ストレスを感じる・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は50.9%、「ストレスを感じない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない・計）」は49.1%となった。

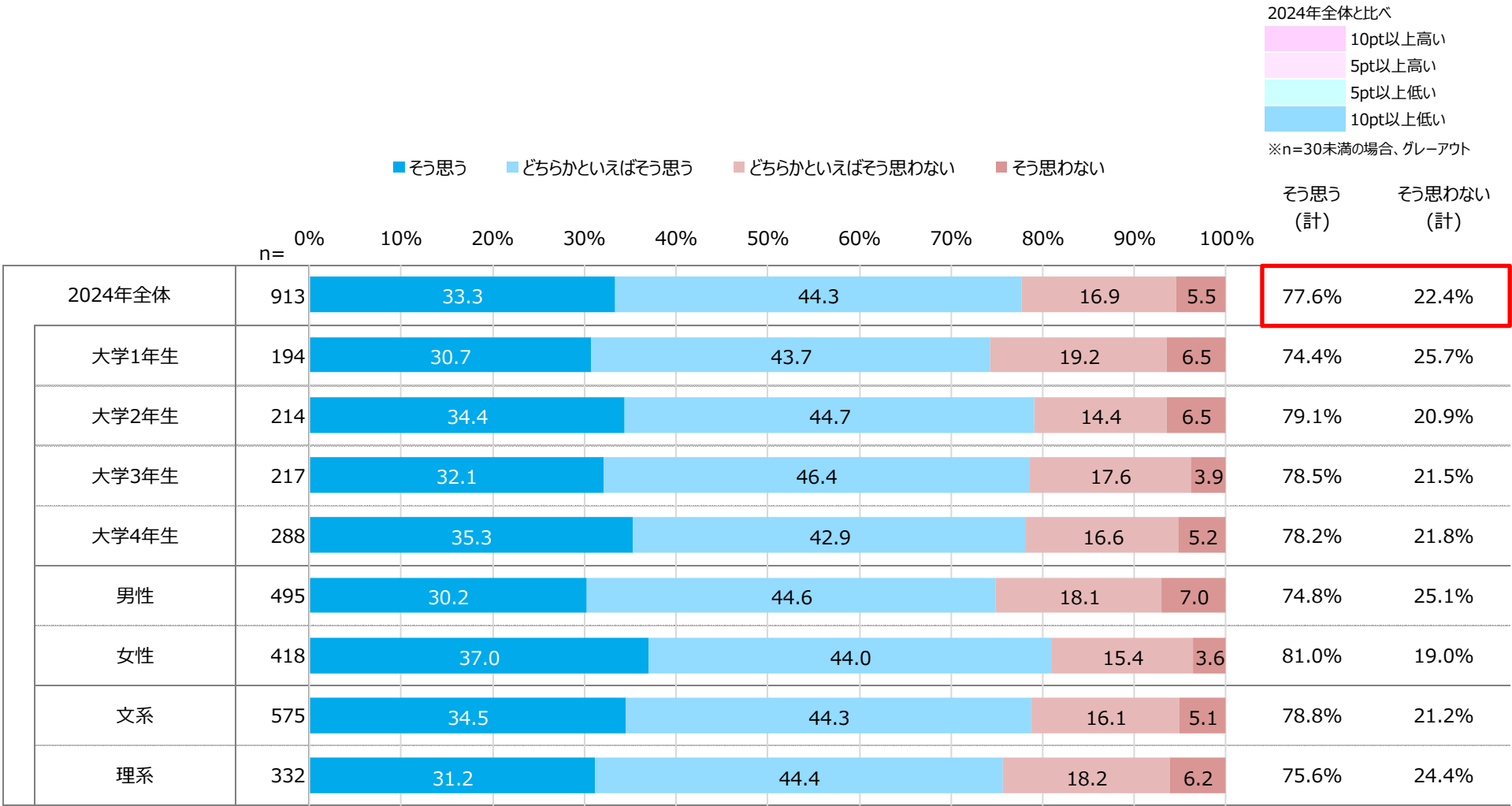
Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。
【現在のアルバイトにストレスを感じる】（単一回答）



4-7. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイトの仕事にやりがいを感じる】

◆ 2024年全体では、現在のアルバイトの仕事に「やりがいを感じる・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は77.6%、「やりがいを感じない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない）」は22.4%となった。

Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。
【現在のアルバイトの仕事にやりがいを感じる】（単一回答）

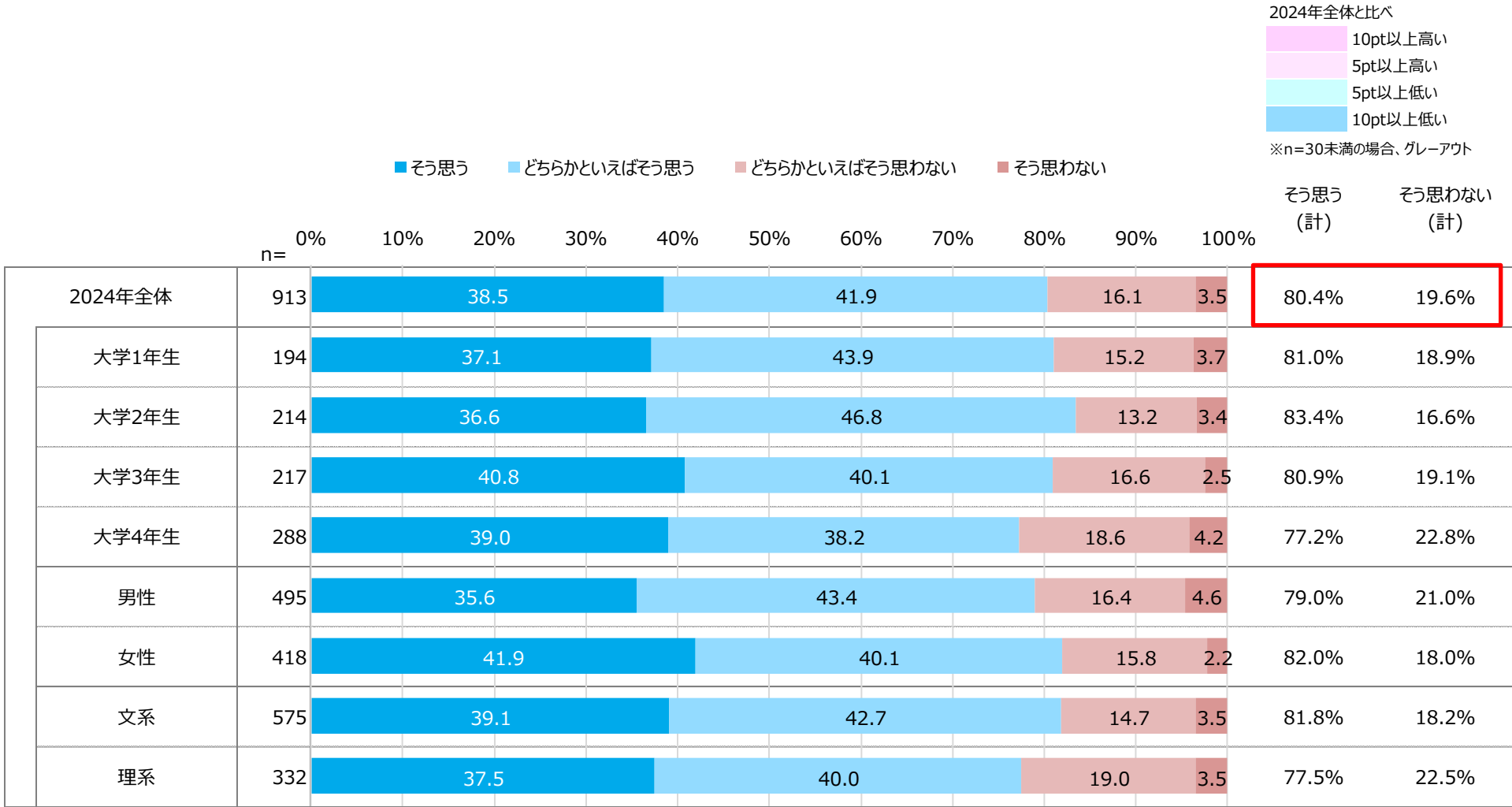


4-8. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイトの働き方に対して上司の配慮・協力がある】



◆ 2024年全体では、現在のアルバイトの働き方に対して「上司の配慮・協力がある・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は80.4%、「上司の配慮・協力がない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない・計）」は19.6%となった。

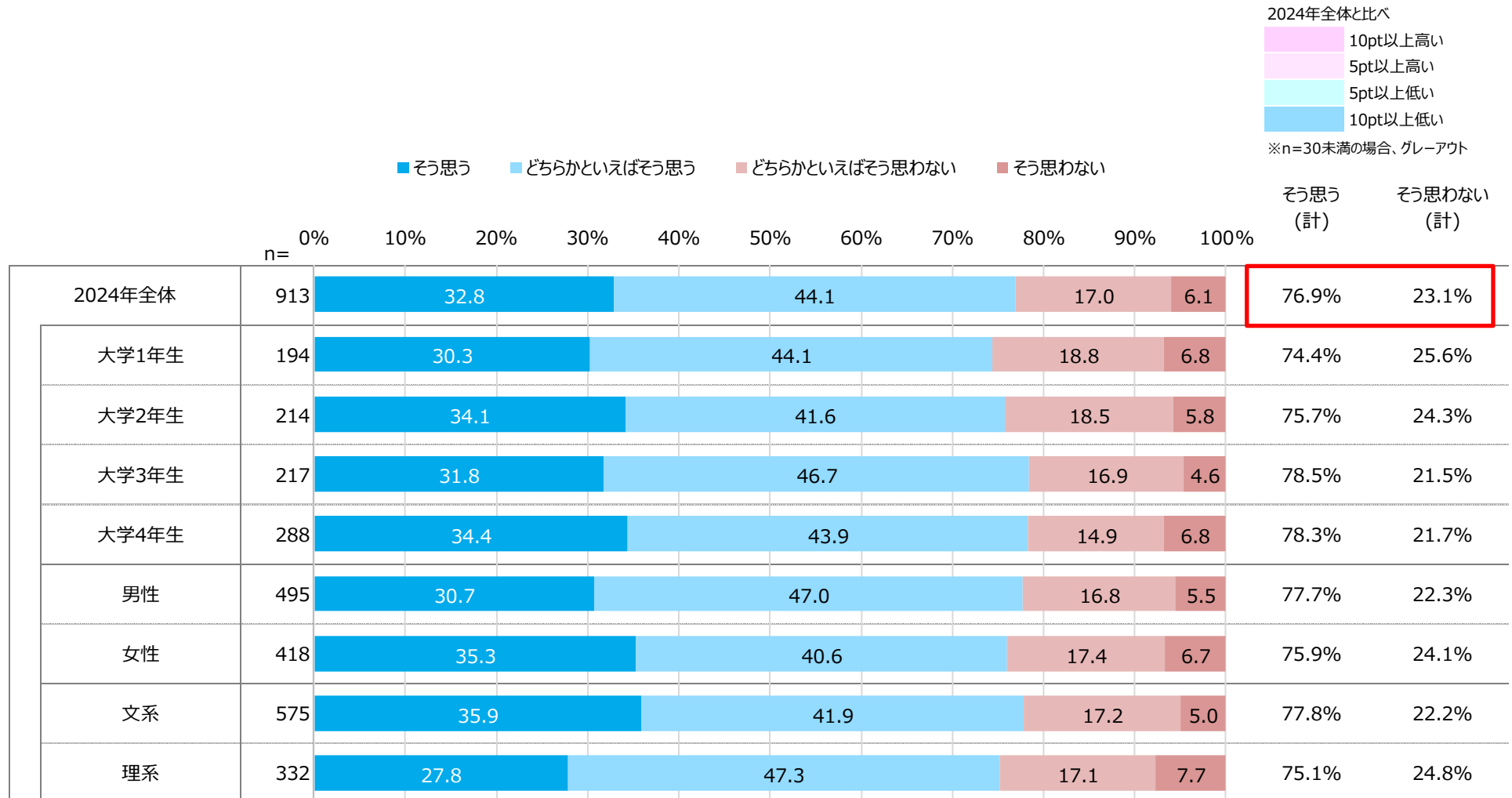
Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。
【現在のアルバイトの働き方に対して上司の配慮・協力がある】（単一回答）



4-9. アルバイト先に対する意識【仕事内容や役割に見合った収入が支払われている】

◆ 2024年全体では、現在のアルバイト先で「仕事内容や役割に見合った収入が支払われている・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は76.9%、「仕事内容や役割に見合った収入が支払われていない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない）」は23.1%となった。

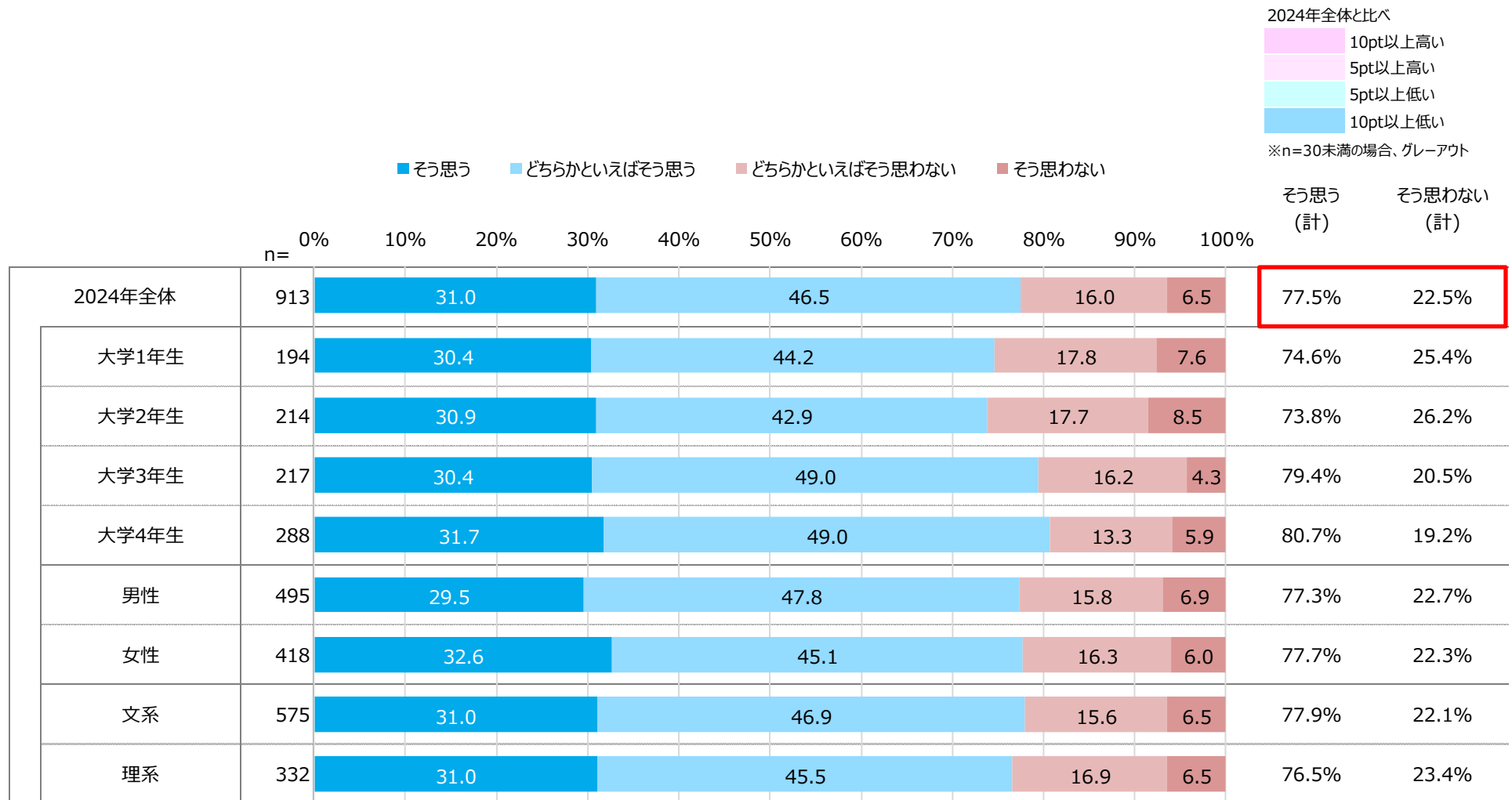
Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。
【現在のアルバイト先で仕事内容や役割に見合った収入が支払われている】（単一回答）



4-10. アルバイト先に対する意識【収入に対して業務量は適正である】

◆ 2024年全体では、現在のアルバイトは「収入に対して業務量は適正である・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は77.5%、「収入に対して業務量は適正でない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない・計）」は22.5%となった。

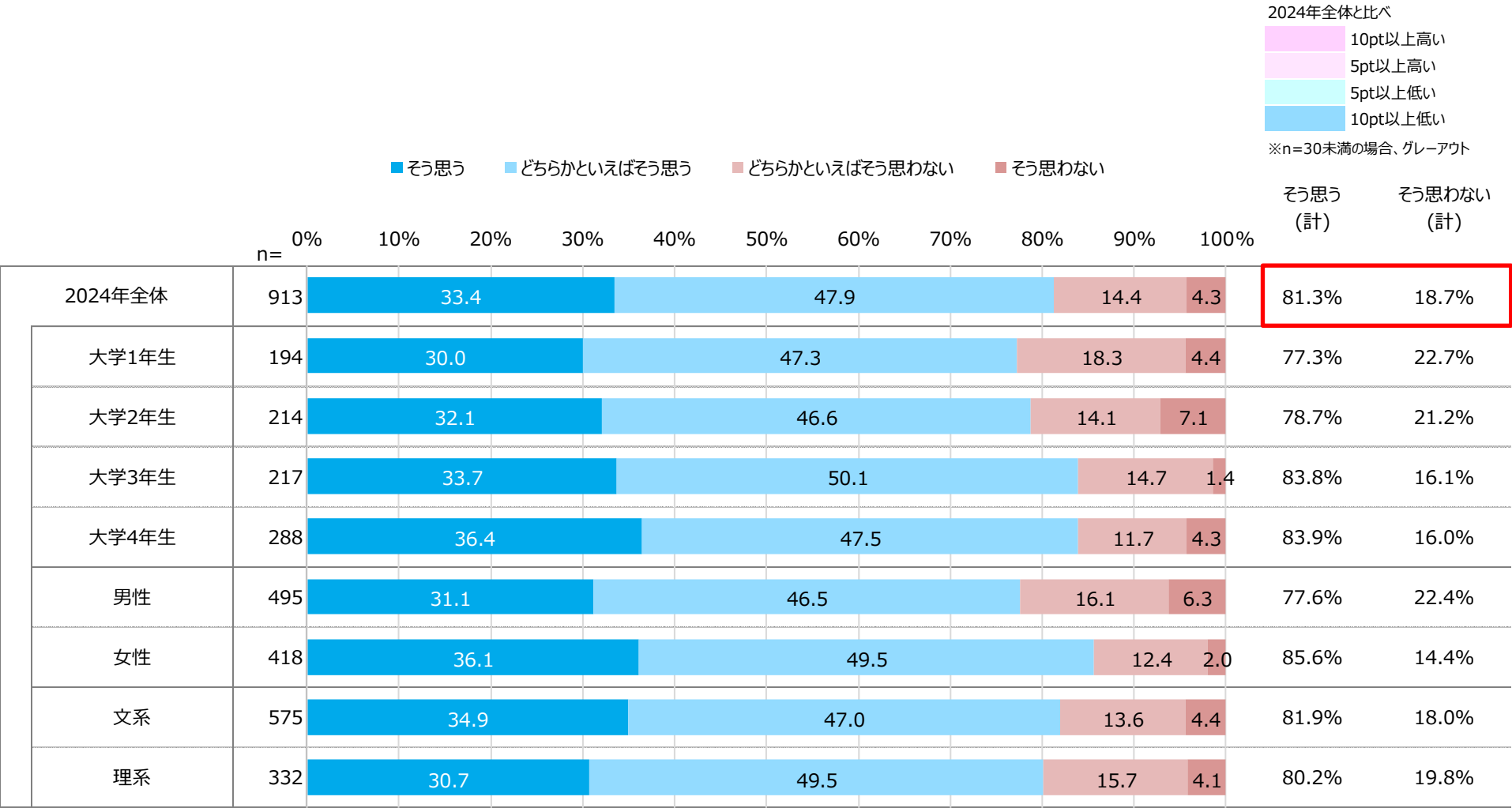
Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。
【現在のアルバイトは収入に対して業務量は適正である】（単一回答）



4-11. アルバイト先に対する意識【現在のアルバイト先で働きが認められている】

◆ 2024年全体では、現在のアルバイト先で「働きが認められている・計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は81.3%、「働きが認められていない・計（どちらかといえばそう思わない+そう思わない）」は18.7%となった。

Q 現在のアルバイトについて、あなたは以下の項目についてどの程度あてはまると思いますか。
【現在のアルバイト先で働きが認められている】（単一回答）

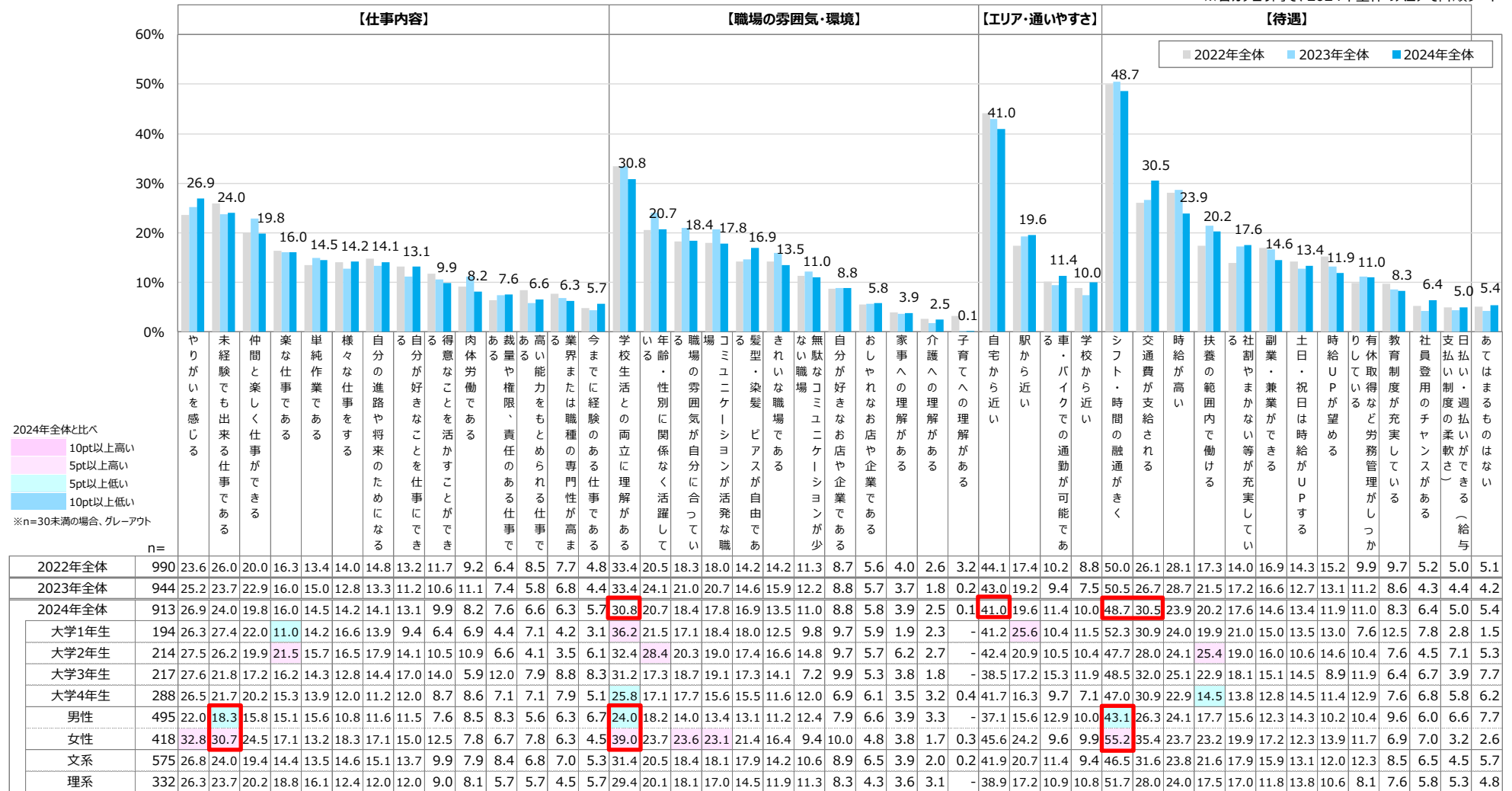


4-12. 現在のアルバイト実態

- ◆ 2024年全体では、「シフト・時間の融通がきく」が48.7%と最も高く、次いで「自宅から近い」が41.0%、「学校生活との両立に理解がある」が30.8%、「交通費が支給される」が30.5%となった。
- ◆ 性別では、「未経験でも出来る仕事」「学校生活との両立に理解がある」「自宅から近い」等が女性の方が男性より高くなった。

Q 現在しているアルバイトについてあてはまるものをすべてお選びください。※複数のアルバイトをしている場合はメインのアルバイトについてお答えください。（複数回答）

※各カテゴリ内で、2024年全体のスコアを降順ソート

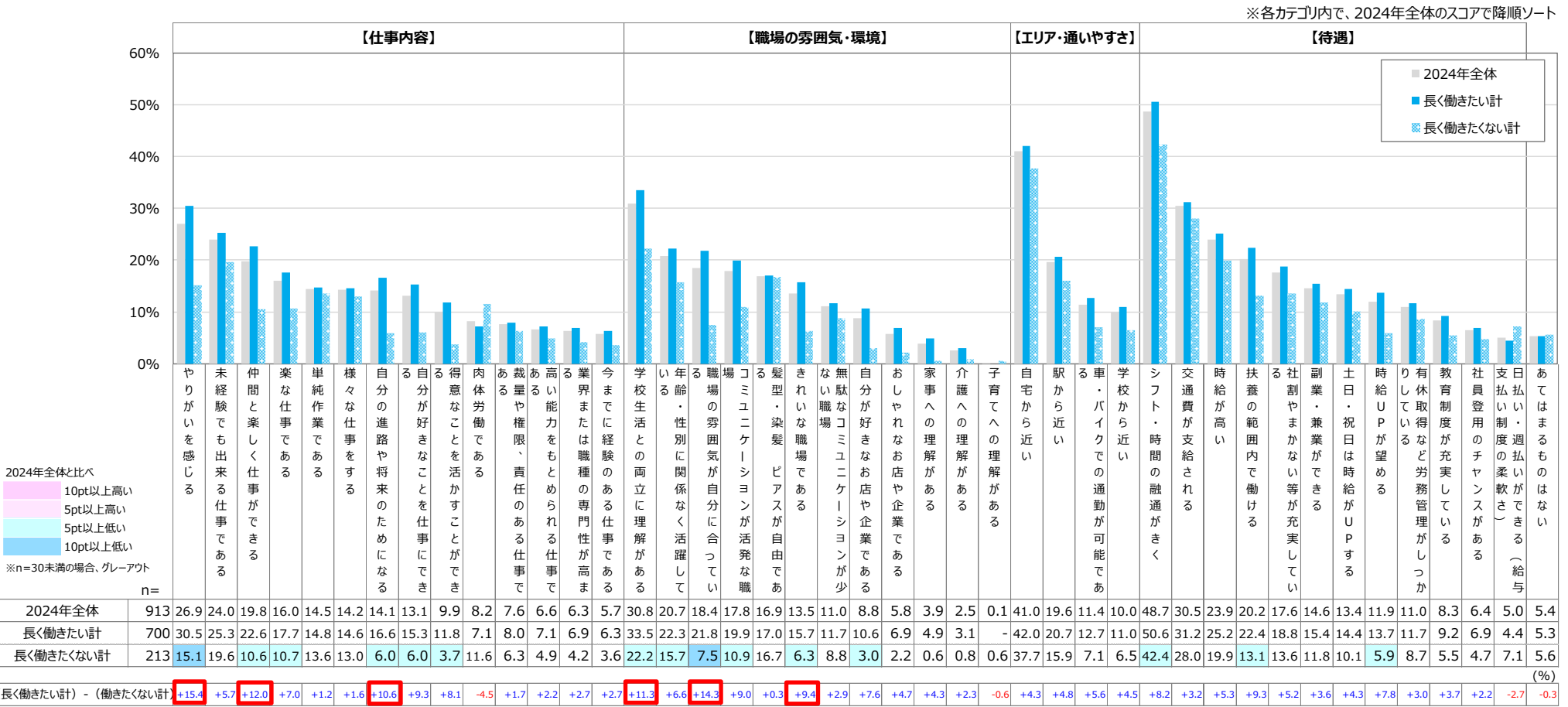


4-12. 現在のアルバイト実態×長く働きたいと思えるか



◆ 現在のアルバイト実態について、長く働きたい計が長く働たくない計を上回ったのは「やりがいを感じる」が+15.4ptと最も大きく、次いで「職場の雰囲気や自分が合っている」が+14.3pt、「仲間と楽しく仕事ができる」が+12.0pt、「学校生活との両立に理解がある」が+11.3pt、「自分の進路や将来のためになる」が+10.6pt、「きれいな職場である」が+9.4ptとなった。

Q 現在しているアルバイトについてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答） × 【現在のアルバイト先で長く働きたいと思える】

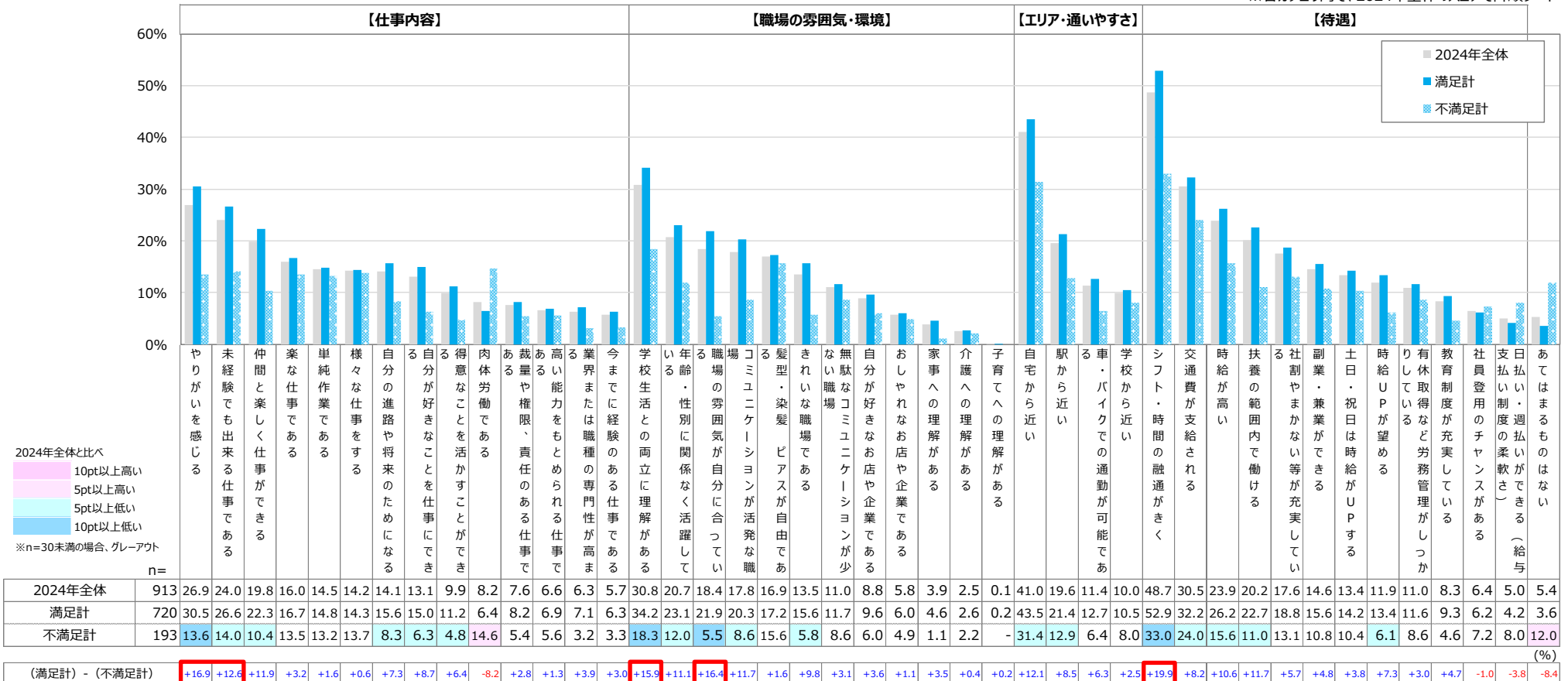


4-12. 現在のアルバイト実態×満足感

◆ 現在のアルバイト実態について、満足計が不満計を上回ったのは「シフト・時間の融通がきく」が+19.9ptと最も大きく、次いで「やりがいを感じる」が+16.9pt、「職場の雰囲気自分が合っている」が+16.4pt、「学校生活との両立に理解がある」が+15.9pt、「未経験でも出来る仕事である」が+12.6ptとなった。

Q 現在しているアルバイトについてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）×【現在のアルバイト先に満足している】

※各カテゴリ内で、2024年全体のスコアで降順ソート

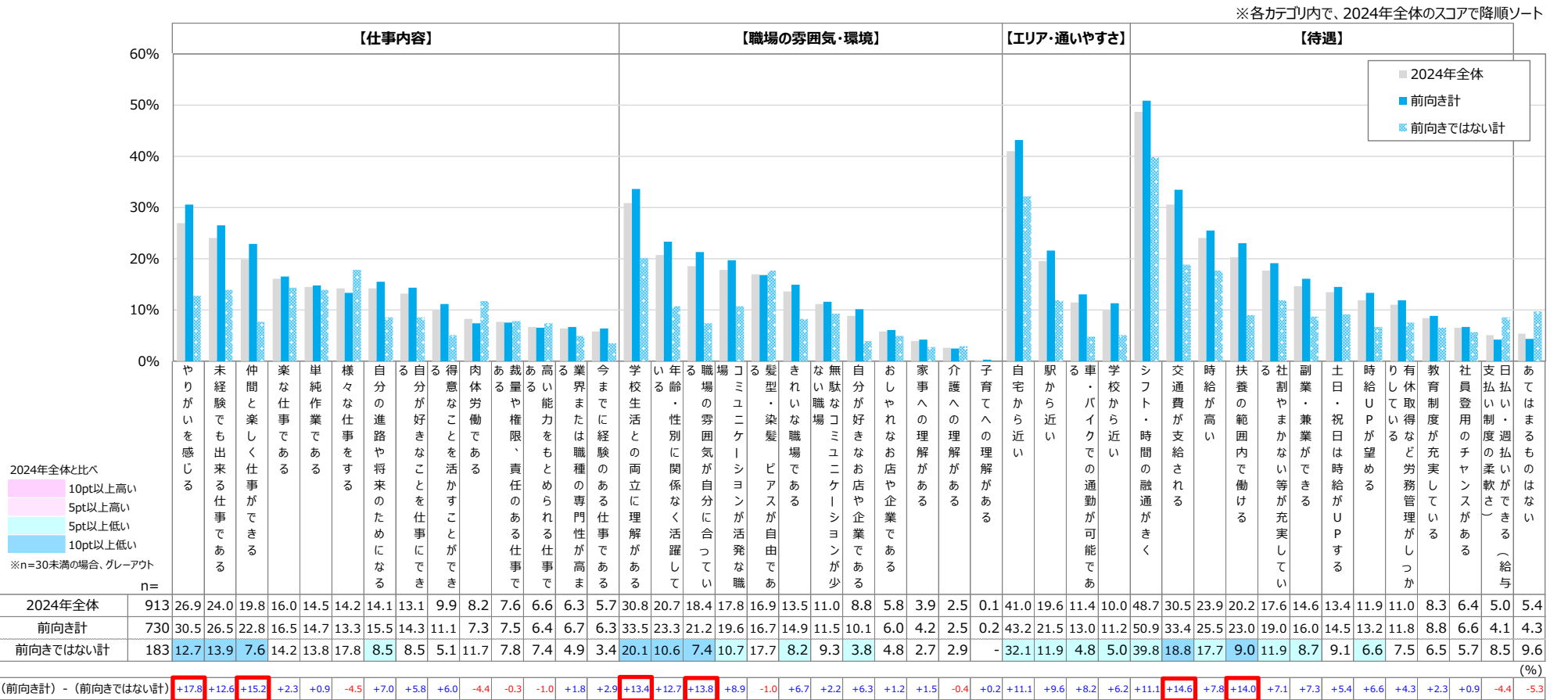


4-12. 現在のアルバイト実態×前向きに取り組める



◆ 現在のアルバイト実態について、前向き計が前向きではない計を上回ったのは「やりがいを感じる」が+17.8ptと最も大きく、次いで「仲間と楽しく仕事ができる」が+15.2pt、「交通費が支給される」が+14.6pt、「扶養の範囲内で働ける」が+14.0pt、「職場の雰囲気や自分が合っている」が+13.8pt、「学校生活との両立に理解がある」が+13.4ptとなった。

Q 現在しているアルバイトについてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答） × 【現在のアルバイトに前向きに取り組める】

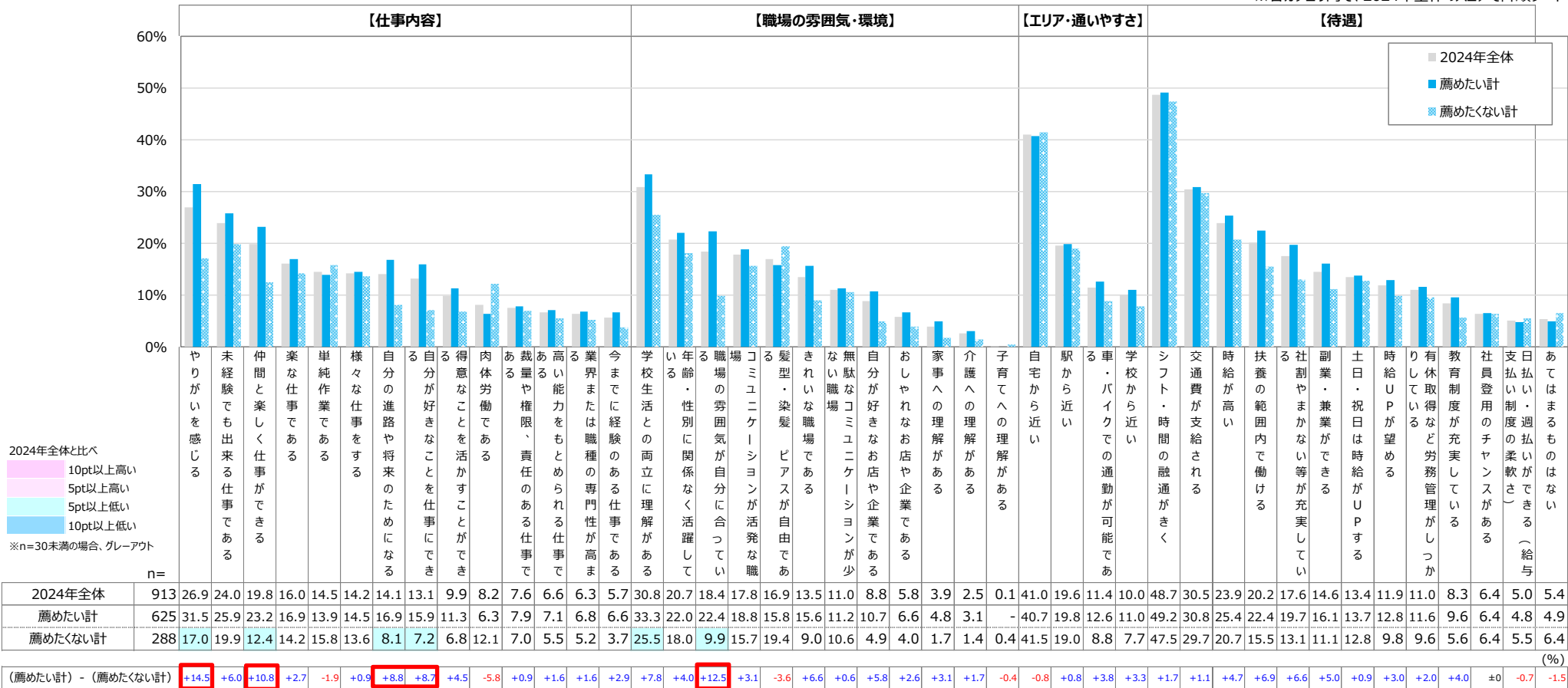


4-12. 現在のアルバイト実態×推奨

◆ 現在のアルバイト実態について、薦めたい計が薦めたくない計を上回ったのは「やりがいを感じる」が+14.5ptと最も大きく、次いで「職場の雰囲気が自分に合っている」が+12.5pt、「仲間と楽しく仕事ができる」が+10.8pt、「自分の進路や将来のためになる」が+8.8pt、「自分が好きなことを仕事にできる」が+8.7ptとなった。

Q 現在しているアルバイトについてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）×【現在のアルバイト先を家族や友人に薦めたいと思う】

※各カテゴリ内で、2024年全体のスコアで降順ソート

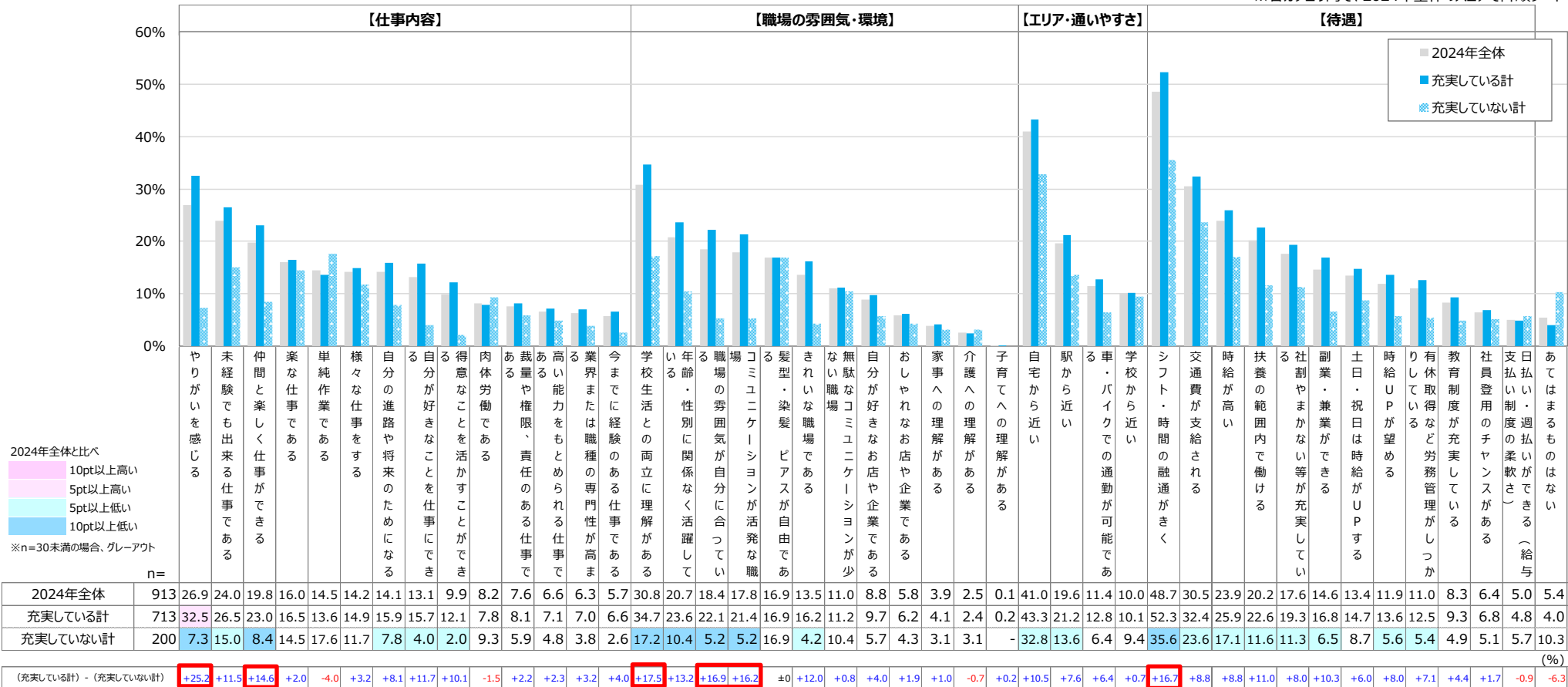


4-12. 現在のアルバイト実態×充実感

◆ 現在のアルバイト実態について、充実している計が充実していない計を上回ったのは「やりがいを感じる」が+25.2ptと最も大きく、次いで「学校生活との両立に理解がある」が+17.5pt、「職場の雰囲気や自分に合っている」が+16.9pt、「シフト・時間の融通がきく」が+16.7pt、「コミュニケーションが活発な職場」が+16.2pt、「仲間と楽しく仕事ができる」が+14.6ptとなった。

Q 現在しているアルバイトについてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）×【現在のアルバイトが充実している】

※各カテゴリ内で、2024年全体のスコアを降順ソート

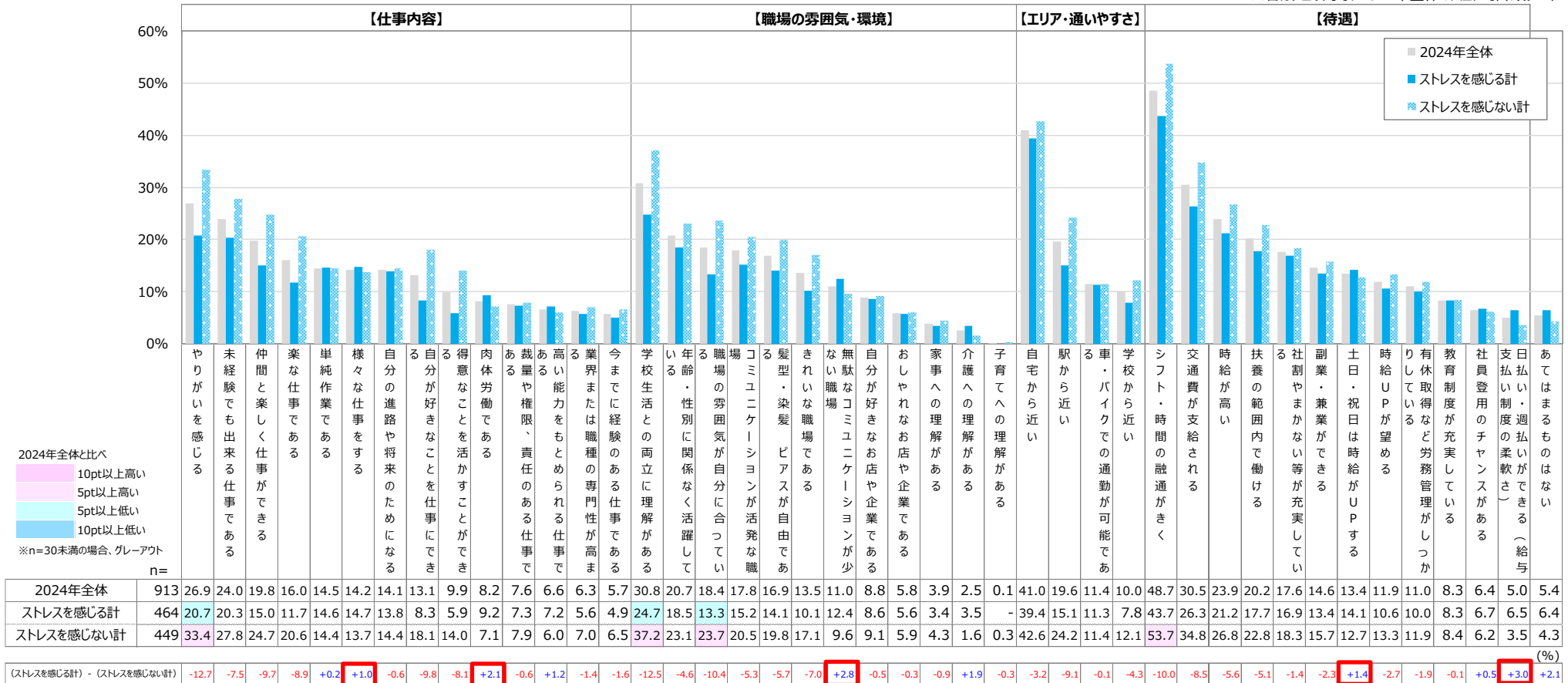


4-12. 現在のアルバイト実態×ストレス

◆ 現在のアルバイト実態について、ストレスを感じる計がストレスを感じない計を上回ったのは「日払い・週払いができる」が+3.0ptと最も大きく、次いで「無駄なコミュニケーションが少ない」が+2.8pt、「肉休労働である」が+2.1pt、「土日・祝日は時給がUPする」が+1.4pt、「様々な仕事をする」が+1.0ptとなった。

Q 現在しているアルバイトについてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）×【現在のアルバイトにストレスを感じる】

※各カテゴリ内で、2024年全体のスコアで降順ソート

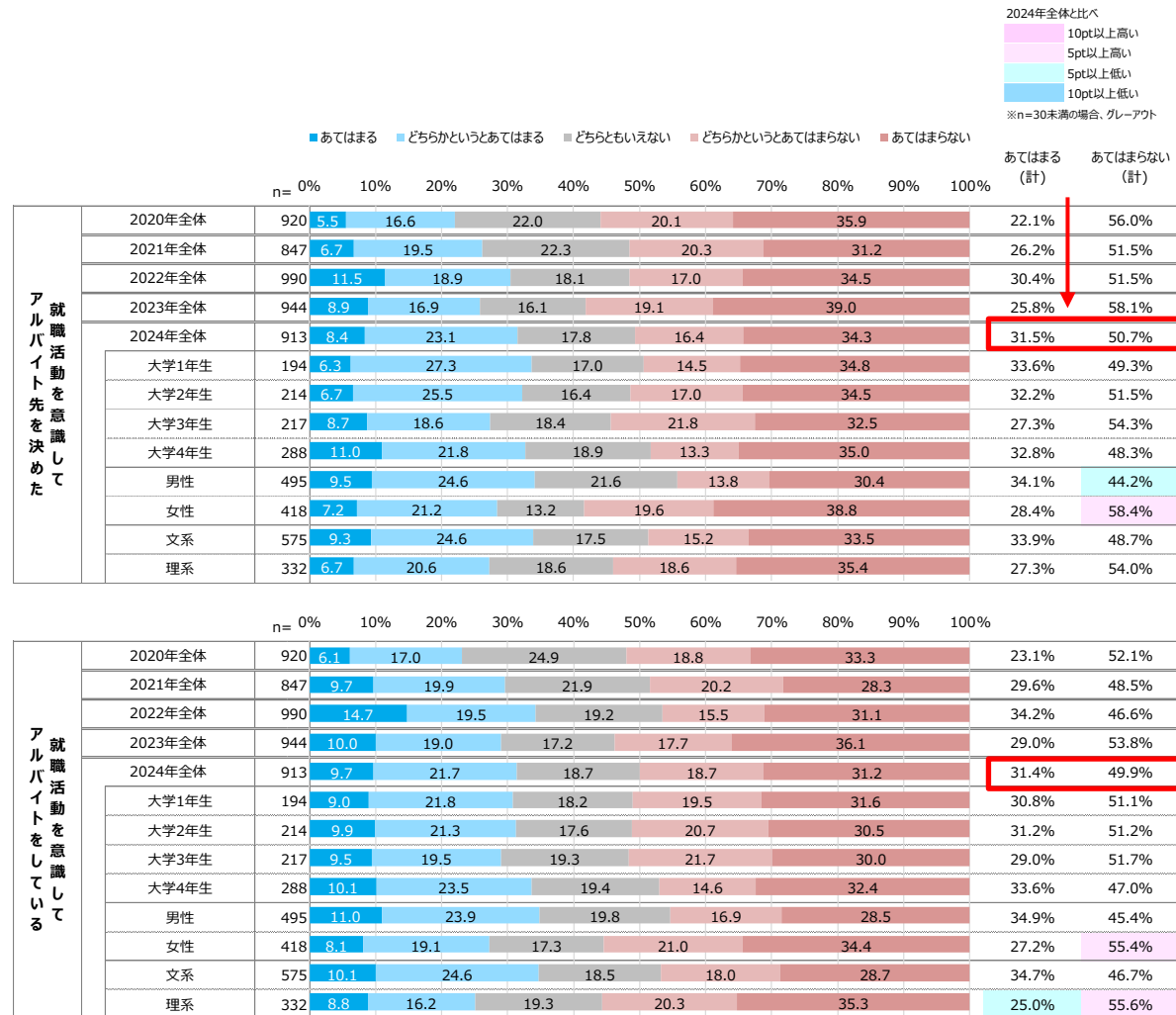


5. アルバイトにおける就職活動の意識

5-1. 就職活動への意識有無

- ◆ 就職活動を意識してアルバイト先を決めたかを2024年全体でみると、「あてはまる計（あてはまる+どちらかというにあてはまる）」は31.5%で、過去最高となった。
- ◆ 就職活動を意識してアルバイトをしているかを2024年全体でみると、「あてはまる計（あてはまる+どちらかというにあてはまる）」は31.4%となった。

Q 現在のアルバイトを選んだ時、また現在アルバイトに取り組んでいる時の、就職活動への意識について、あてはまるものをお選びください。（単一回答）

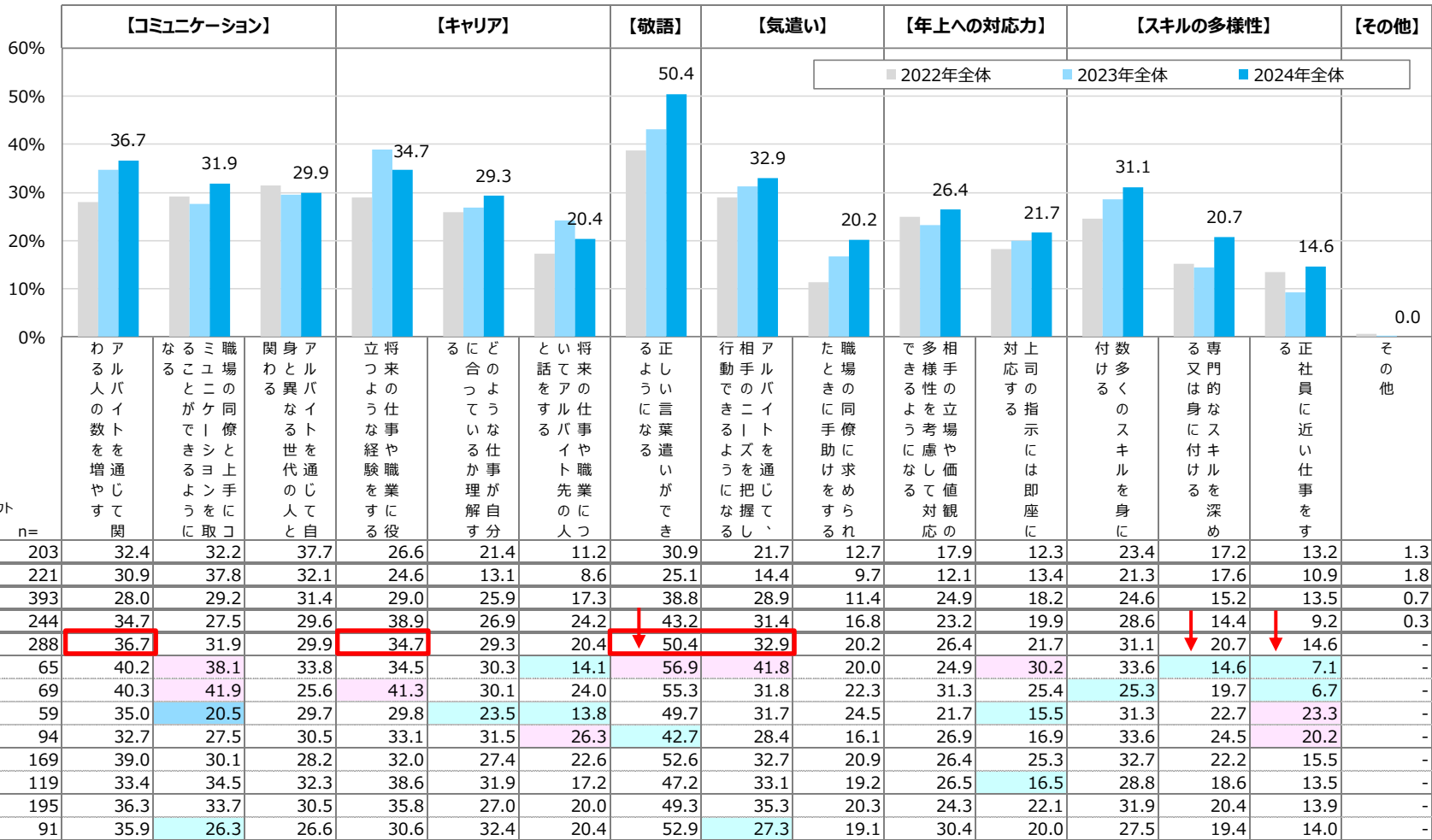


5-2. 就職活動への意識項目（アルバイト選びの際に重視したこと）

- ◆ 2024年全体では、「正しい言葉遣いができるようになる」が50.4%と最も高く、次いで「アルバイトを通じて関わる人の数を増やす」が36.7%、「将来の仕事や職業に役立つような経験をする」が34.7%、「アルバイトを通じて、相手のニーズを把握し行動できるようになる」が32.9%となった。
- ◆ 前年比では、「正しい言葉遣いができるようになる」が7.2pt増と最も上げ幅が大きく、次いで「専門的なスキルを深める又は身に付ける」が6.3pt増、「正社員に近い仕事をする」が5.4pt増となった。ビジネスマナーに加えて、専門的なスキルの習得を意識してアルバイト選びを行う学生が増えた様子がみられた。

Q 就職活動を意識してアルバイト選びをしたとお答えの方にお聞きます。その場合、どのようなことを重視しましたか。
※回答ベース：就職活動意識あり（アルバイト探し中）（複数回答）

※各カテゴリ内で、2024年全体のスコアで降順ソート

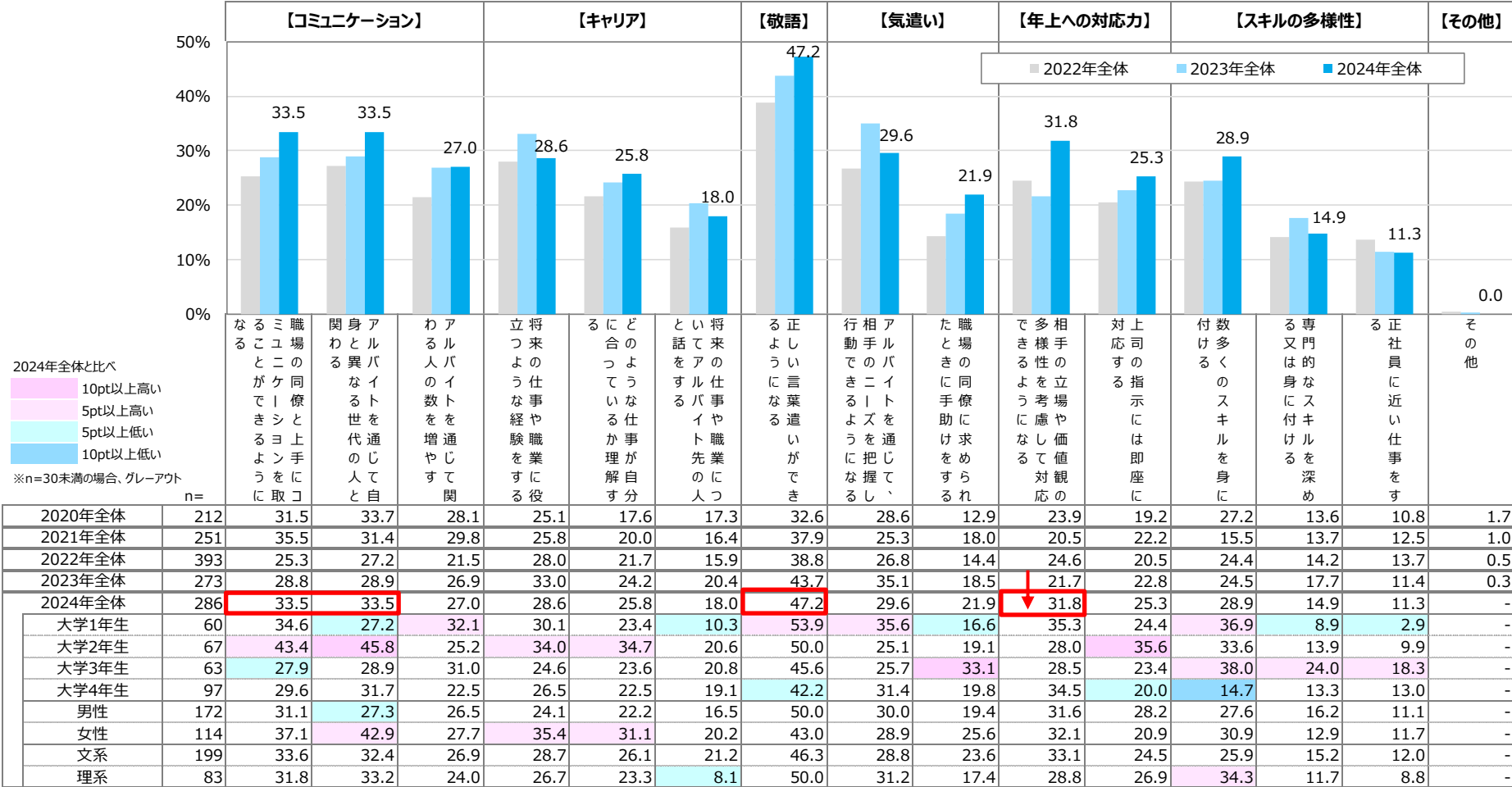


5-2. 就職活動への意識項目（現在アルバイトをする上で意識していること）

- ◆ 2024年全体では、「正しい言葉遣いができるようになる」が47.2%と最も高く、次いで「職場の同僚と上手にコミュニケーションを取ることができるようになる」「アルバイトを通じて自身と異なる世代の人と関わる」が33.5%、「相手の立場や価値観の多様性を考慮して対応できるようになる」が31.8%となった。
- ◆ 前年比では、「相手の立場や価値観の多様性を考慮して対応できるようになる」が10.1pt増と最も上げ幅が大きくなった。

Q 就職活動を意識してアルバイトをしているとお答えの方にお聞きます。その場合、どのようなことを意識していますか。
※回答ベース：就職活動意識あり（アルバイト中）（複数回答）

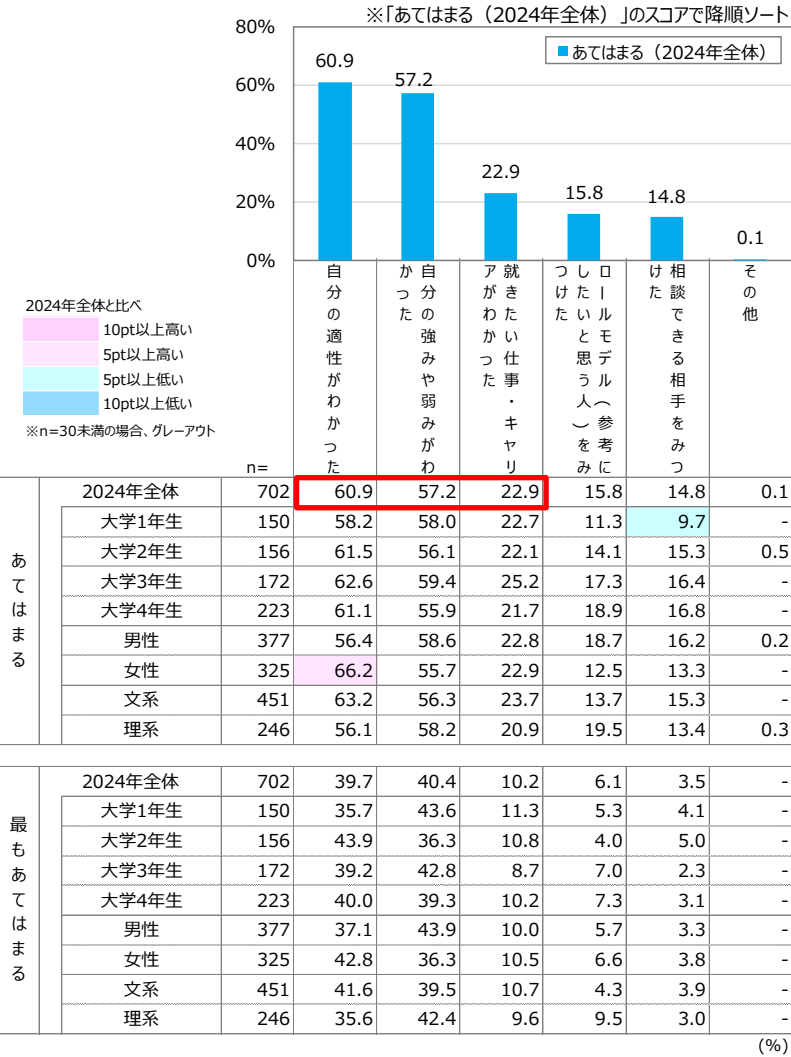
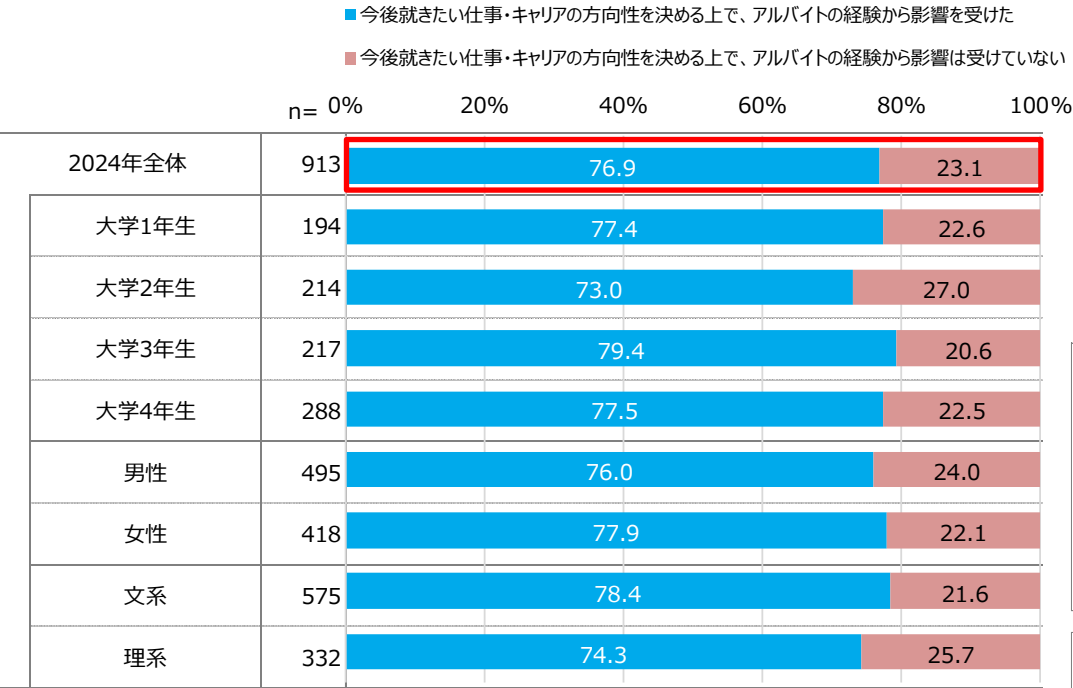
※各カテゴリ内で、2024年全体のスコアで降順ソート



5-3. 今後就きたい仕事・キャリアの方向性を決める上で、アルバイトの経験から影響を受けたか

- ◆ 2024年全体では、今後就きたい仕事・キャリアの方向性を決める上で、アルバイトの経験から影響を受けた割合は76.9%となった。
- ◆ 2024年全体で影響を受けた内容を見ると、「自分の適性がわかった」が60.9%と最も高く、次いで「自分の強みや弱みがわかった」が57.2%、「就きたい仕事・キャリアがわかった」が22.9%となった。アルバイトの経験を通じて、学生自身の適性や将来の仕事・キャリアを考えるきっかけとなっている様子が見えてきた。

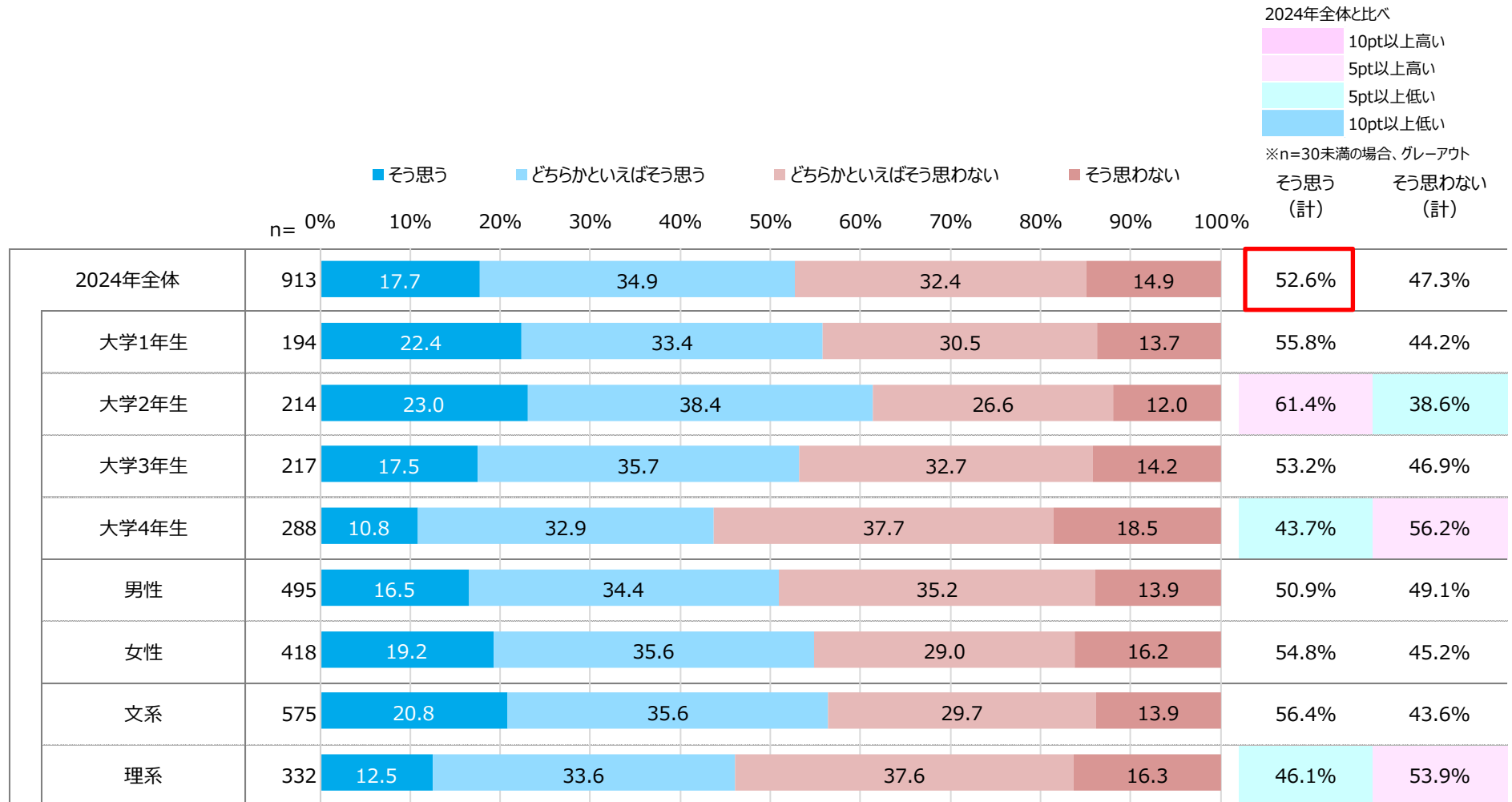
Q 今後就きたい仕事・キャリアの方向性を決める上で、アルバイトの経験から影響を受けたことがありますか。（複数回答）



5-4. 今後のキャリアに不安を感じるか

◆ 2024年全体では、「そう思う計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は52.6%となった。

Q 自分の今後のキャリアに不安を感じるか（単一回答）



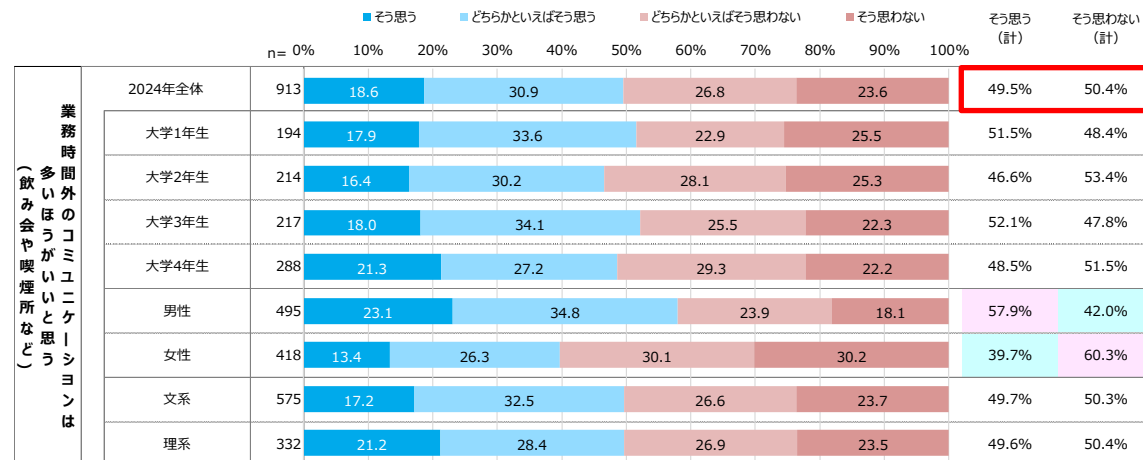
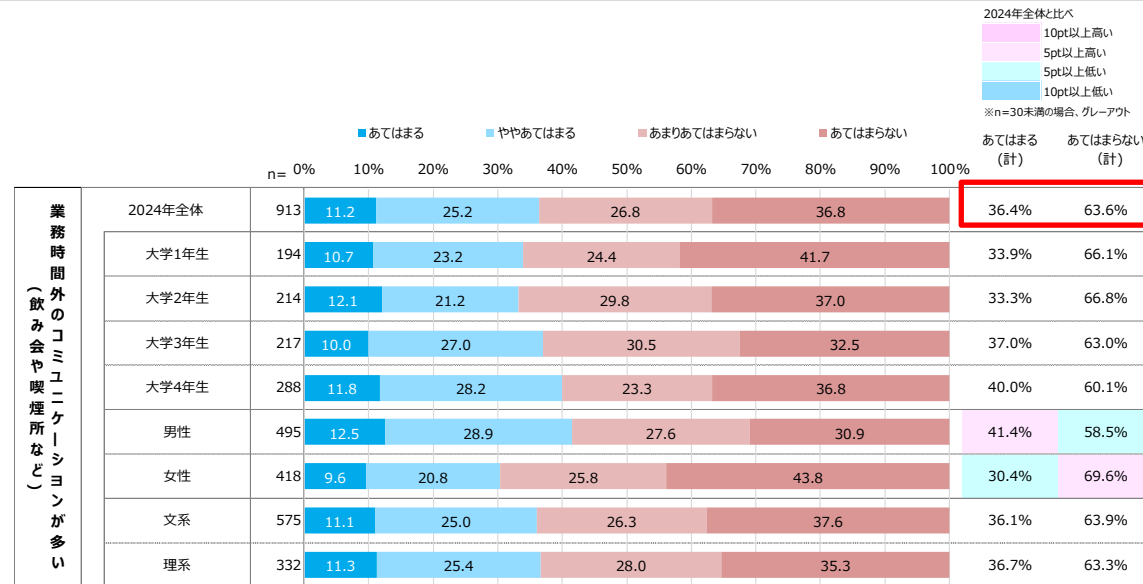
6. アルバイト先でのコミュニケーション

6-1. 業務時間外のコミュニケーション

- ◆ 現在のアルバイト先は業務時間外のコミュニケーションが多いか聞いたところ、2024年全体では「あてはまる計（あてはまる+どちらかといえばあてはまる）」は36.4%となった。
- ◆ 現在のアルバイト先は業務時間外のコミュニケーションが多い方がいいか聞いたところ、2024年全体では「そう思う計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は49.5%となった。約5割が業務外のコミュニケーションは多い方がいいと思っていることが分かった。

Q 現在のアルバイト先はご飯会や飲み会など業務時間外のコミュニケーションが多いか（単一回答）

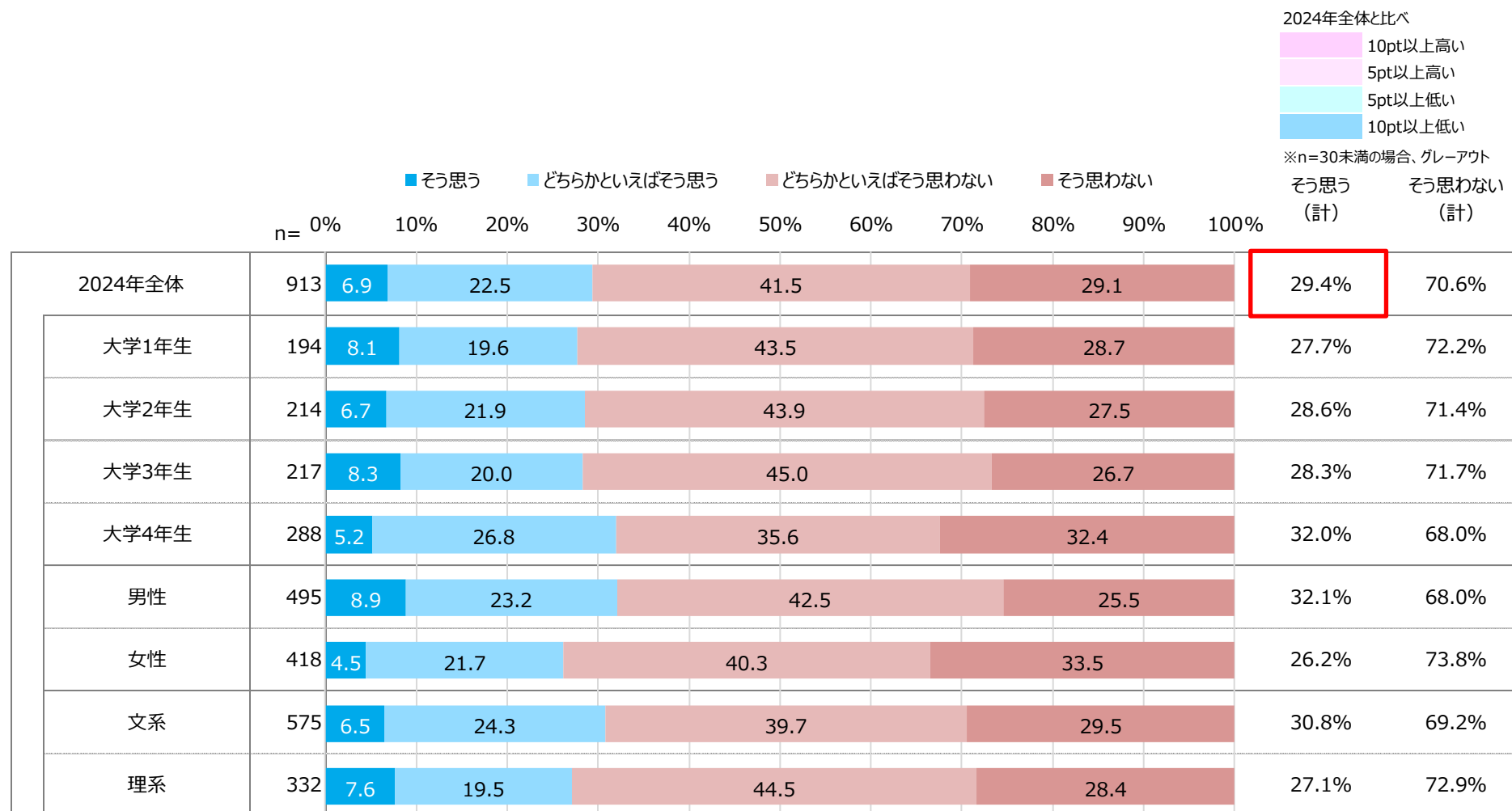
Q アルバイト先でのご飯会や飲み会など業務時間外のコミュニケーションは多いほうがいいと思う（単一回答）



6-2. 現在孤独を感じるか

◆ 現在孤独を感じるか聞いたところ、2024年全体では「そう思う計（そう思う+どちらかといえばそう思う）」は29.4%となった。

Q 現在孤独を感じる（単一回答）

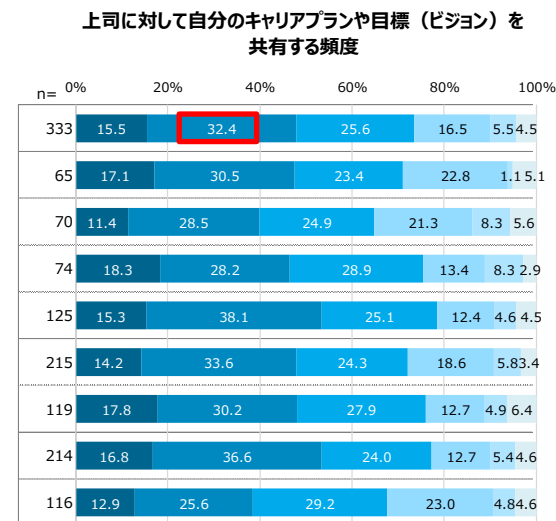
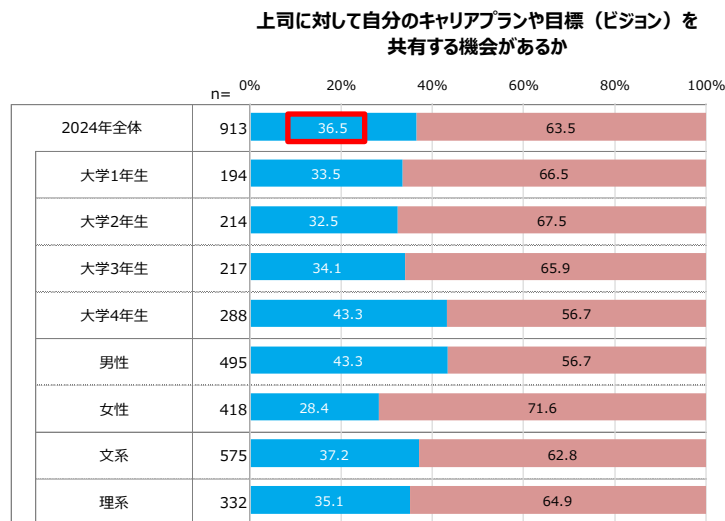
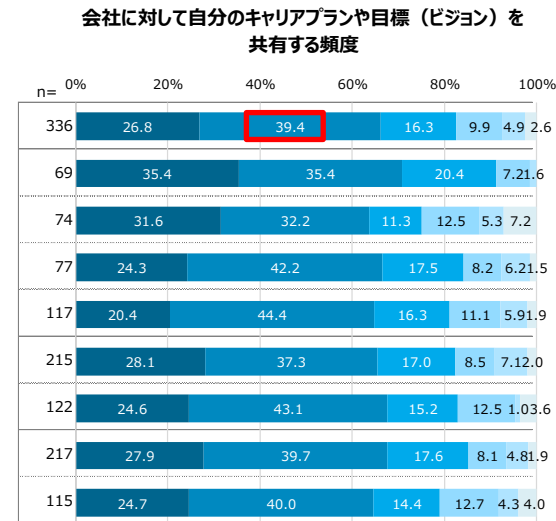
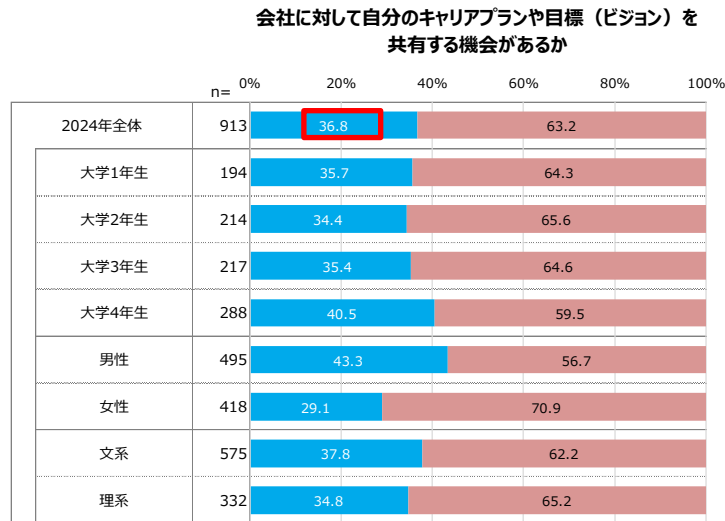


6-3. 会社・上司に対して自分のキャリアプランや目標（ビジョン）を共有する機会があるか

- ◆ 2024年全体では、会社に対して自分のキャリアプランや目標（ビジョン）を共有する機会がある割合は36.8%となり、共有する頻度は「半年に1回」が39.4%と最も高くなった。
- ◆ 2024年全体では、上司に対して自分のキャリアプランや目標（ビジョン）を共有する機会がある割合は36.5%となり、共有する頻度は「半年に1回」が32.4%と最も高くなった。

Q 会社に対して自分のキャリアプランや目標（ビジョン）を共有する機会があるか（単一回答）

Q 上司に対して自分のキャリアプランや目標（ビジョン）を共有する機会があるか（単一回答）



■ 共有する機会がある ■ 共有する機会がない

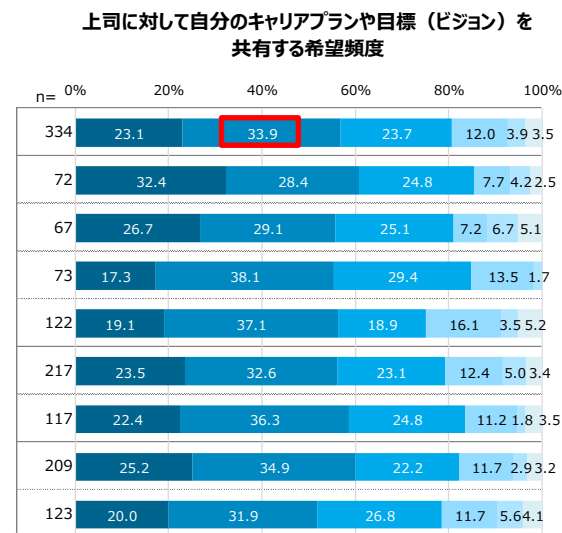
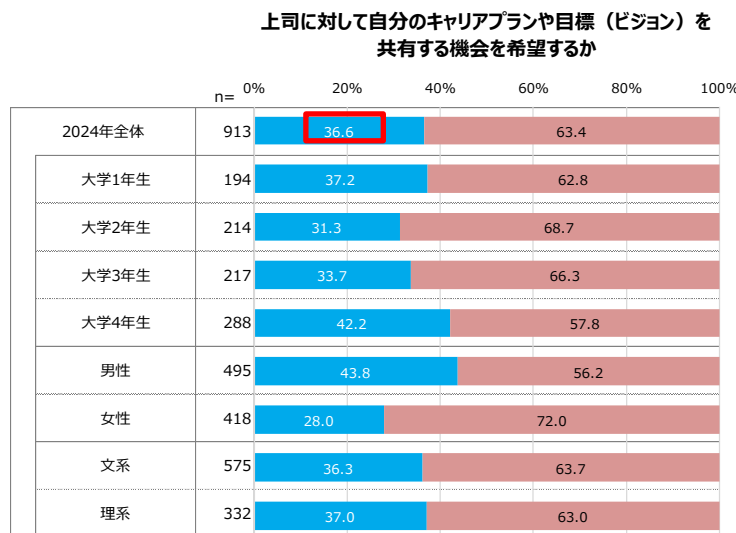
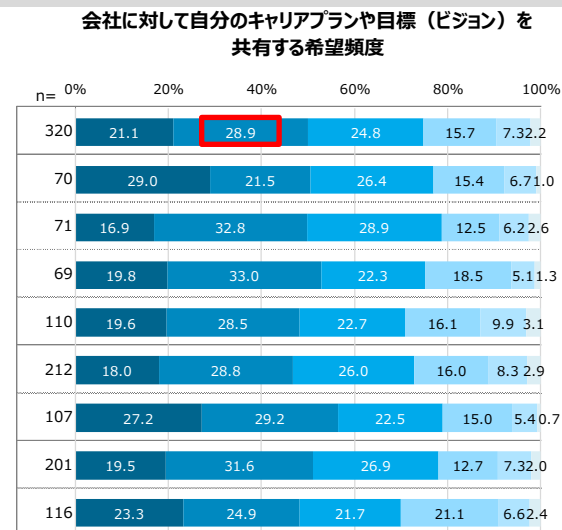
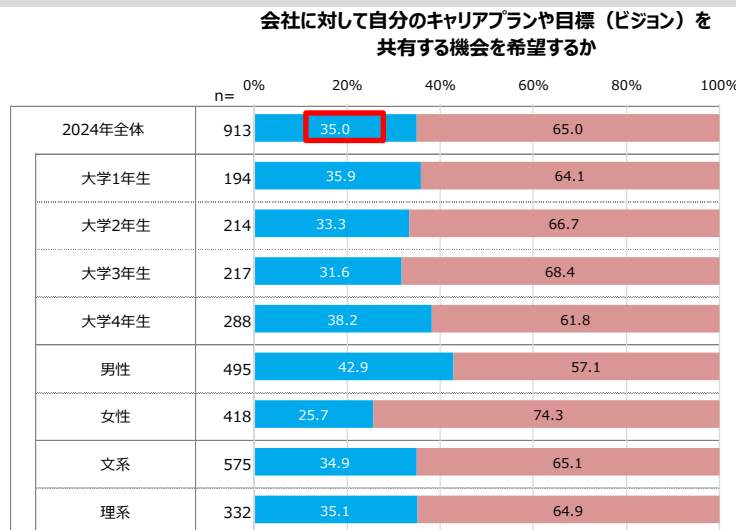
■ 1年に1回 ■ 半年に1回 ■ 2〜3ヶ月に1回 ■ 1ヶ月に1回 ■ 1週間に1回 ■ 毎日

6-4. 会社・上司に対して自分のキャリアプランや目標（ビジョン）を共有する機会を希望するか

- ◆ 2024年全体では、会社に対して自分のキャリアプランや目標（ビジョン）を共有する機会を希望する割合は35.0%となり、希望する共有頻度は「半年に1回」が28.9%と最も高くなった。
- ◆ 2024年全体では、上司に対して自分のキャリアプランや目標（ビジョン）を共有する機会を希望する割合は36.6%となり、希望する共有頻度は「半年に1回」が33.9%と最も高くなった。

Q 会社に対して自分のキャリアプランや目標（ビジョン）を共有する機会を希望するか（単一回答）

Q 上司に対して自分のキャリアプランや目標（ビジョン）を共有する機会を希望するか（単一回答）



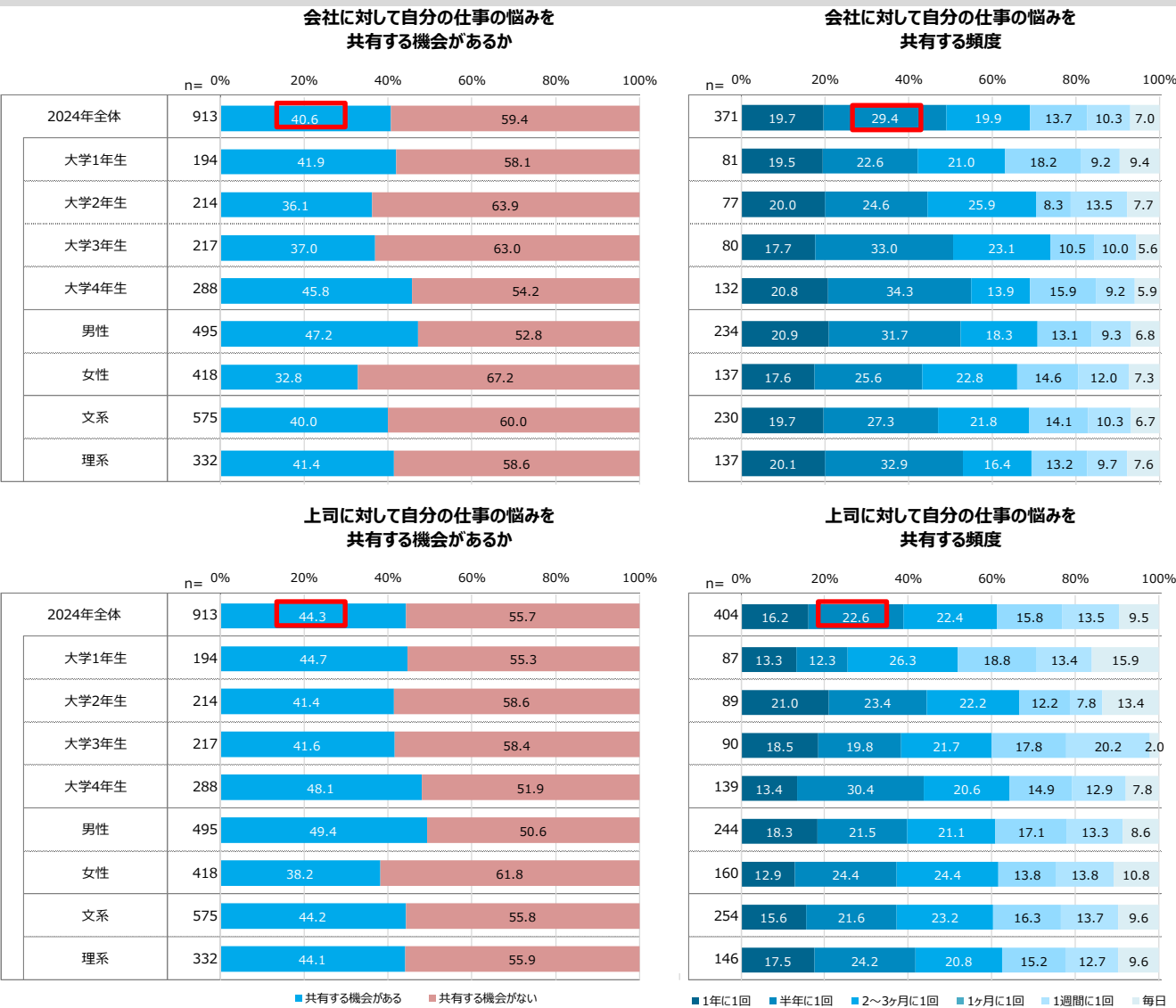
■ 共有する機会を希望する ■ 共有する機会を希望しない

■ 1年に1回 ■ 半年に1回 ■ 2〜3ヶ月に1回 ■ 1ヶ月に1回 ■ 1週間に1回 ■ 毎日

6-5. 会社・上司に対して自分の仕事の悩みを共有する機会があるか

- ◆ 2024年全体では、会社に対して自分の仕事の悩みを共有する機会がある割合は40.6%となり、共有する頻度は「半年に1回」が29.4%と最も高くなった。
- ◆ 2024年全体では、上司に対して自分の仕事の悩みを共有する機会がある割合は44.3%となり、共有する頻度は「半年に1回」が22.6%と最も高くなった。

Q 会社に対して自分の仕事の悩みを共有する機会があるか（単一回答）
Q 上司に対して自分の仕事の悩みを共有する機会があるか（単一回答）

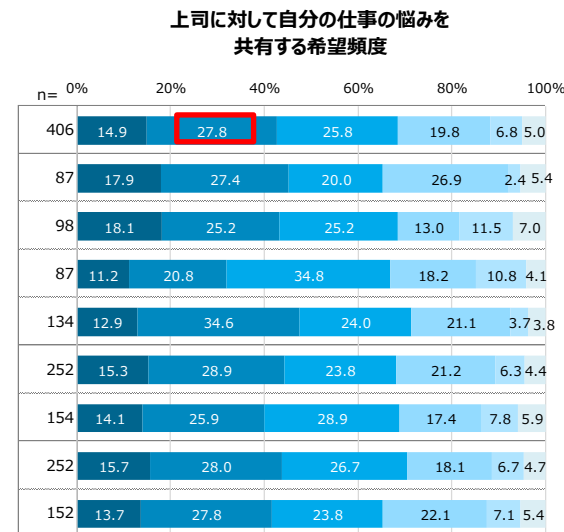
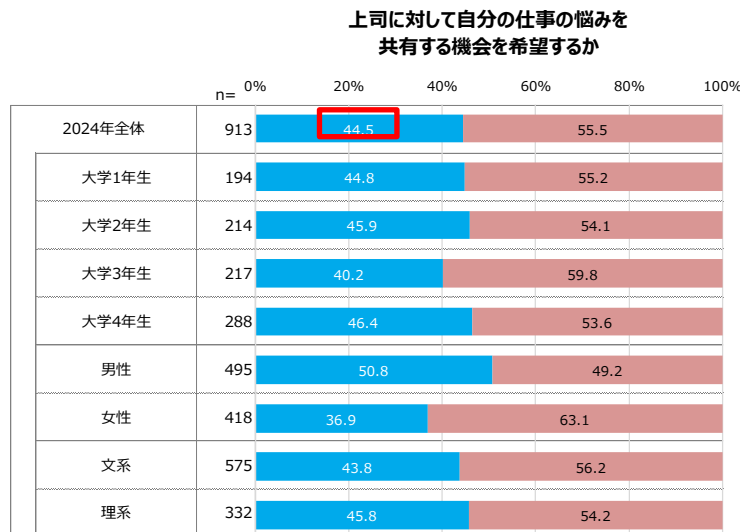
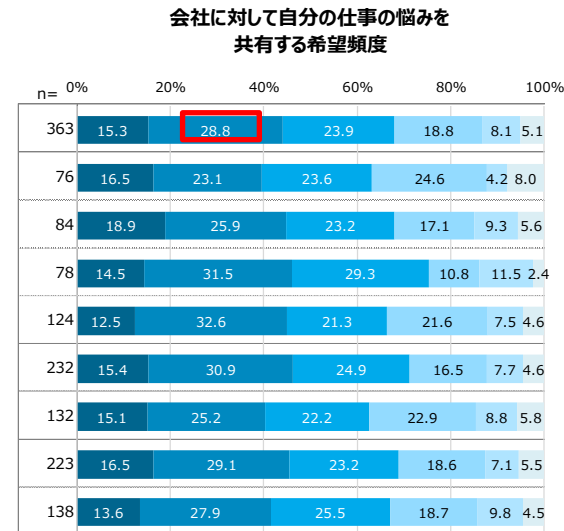
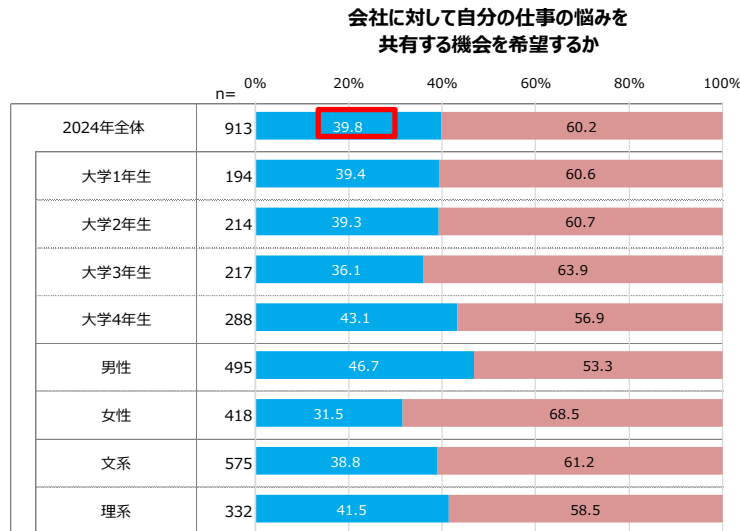


6-6. 会社・上司に対して自分の仕事の悩みを共有する機会を希望するか

- ◆ 2024年全体では、会社に対して自分の仕事の悩みを共有する機会を希望する割合は39.8%となり、希望する共有頻度は「半年に1回」が28.8%と最も高くなった。
- ◆ 2024年全体では、上司に対して自分の仕事の悩みを共有する機会を希望する割合は44.5%となり、希望する共有頻度は「半年に1回」が27.8%と最も高くなった。

Q 会社に対して自分の仕事の悩みを共有する機会を希望するか（単一回答）

Q 上司に対して自分の仕事の悩みを共有する機会を希望するか（単一回答）



■ 共有する機会を希望する ■ 共有する機会を希望しない

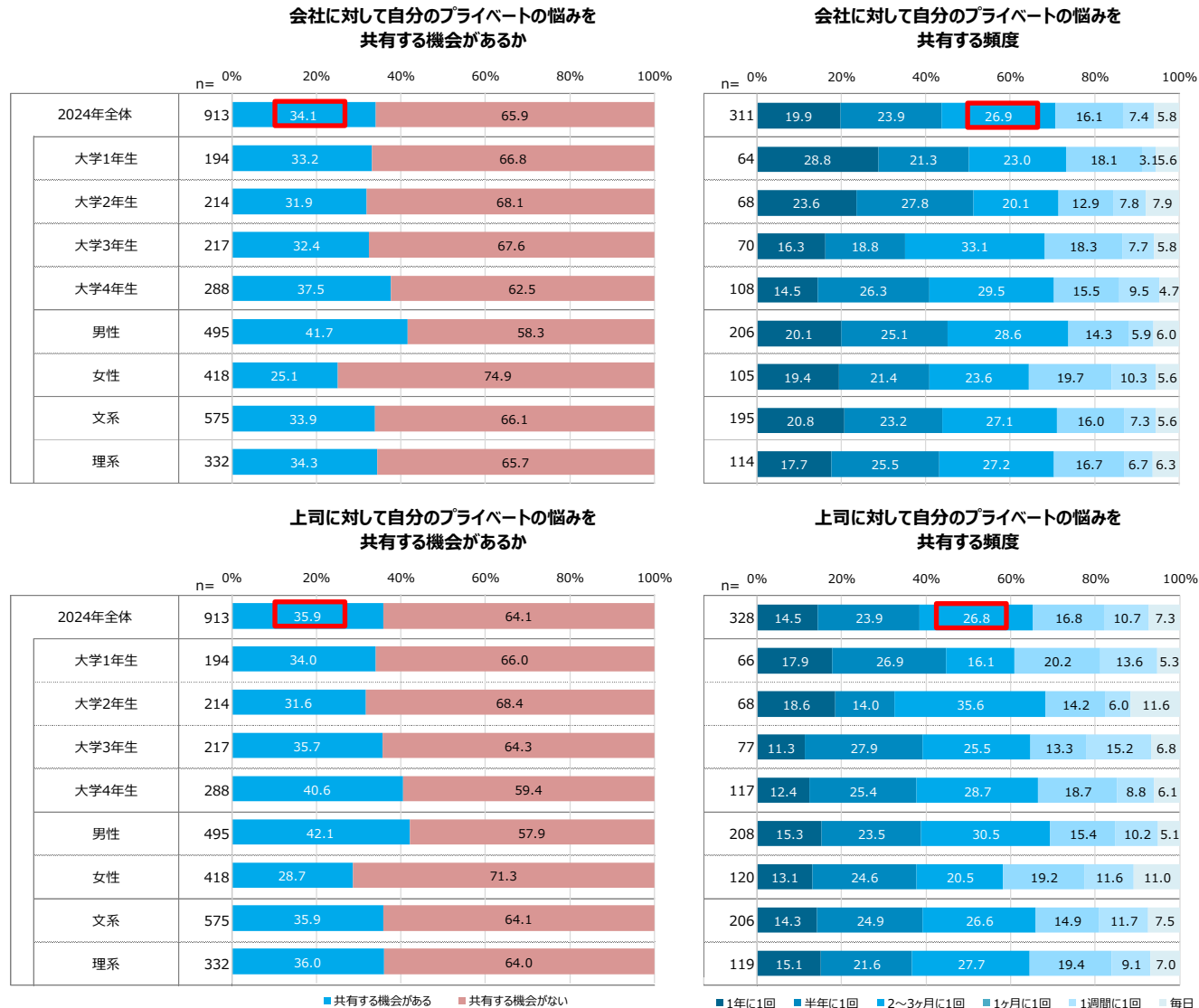
■ 1年に1回 ■ 半年に1回 ■ 2〜3ヶ月に1回 ■ 1ヶ月に1回 ■ 1週間に1回 ■ 毎日

6-7. 会社・上司に対して自分のプライベートの悩みを共有する機会があるか

- ◆ 2024年全体では、会社に対して自分のプライベートの悩みを共有する機会がある割合は34.1%となり、共有する頻度は「2～3ヶ月に1回」が26.9%と最も高くなった。
- ◆ 2024年全体では、上司に対して自分のプライベートの悩みを共有する機会がある割合は35.9%となり、共有する頻度は「2～3ヶ月に1回」が26.8%と最も高くなった。

Q 会社に対して自分のプライベートの悩みを共有する機会があるか（単一回答）

Q 上司に対して自分のプライベートの悩みを共有する機会があるか（単一回答）

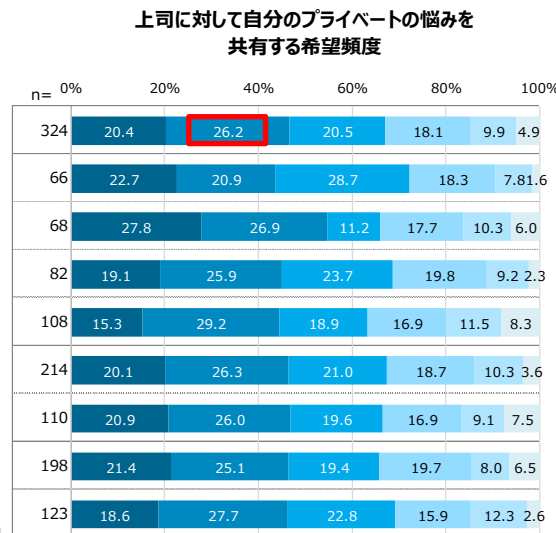
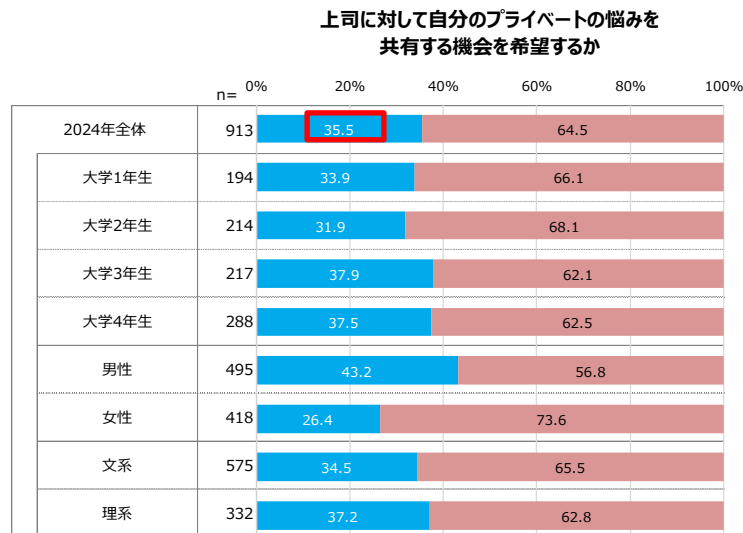
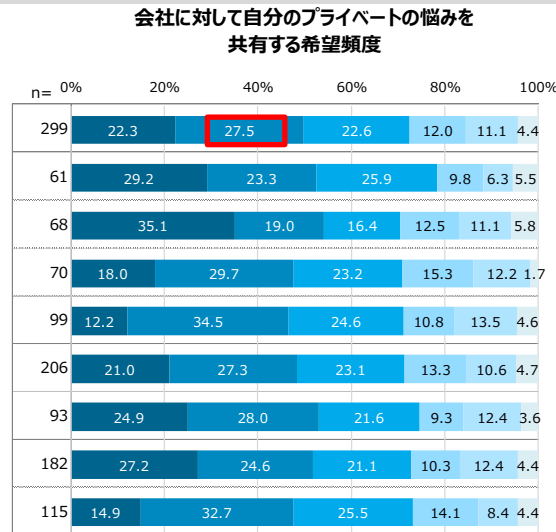
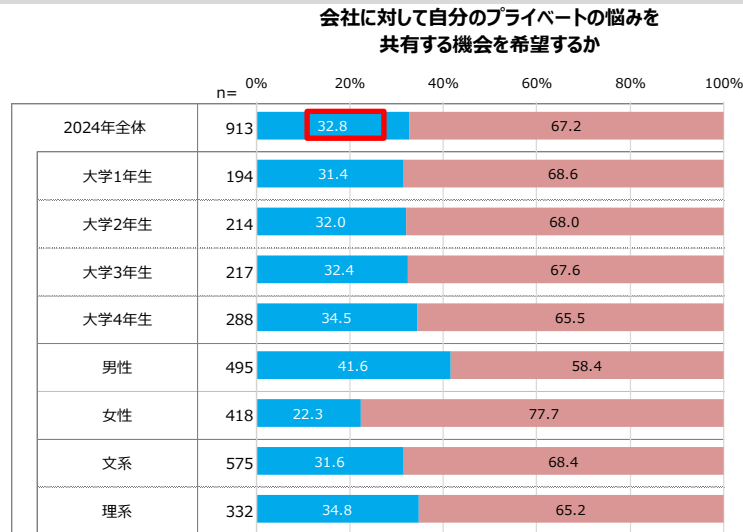


6-8. 会社・上司に対して自分のプライベートの悩みを共有する機会を希望するか

- ◆ 2024年全体では、会社に対して自分のプライベートの悩みを共有する機会を希望する割合は32.8%となり、希望する共有頻度は「半年に1回」が27.5%と最も高くなった。
- ◆ 2024年全体では、上司に対して自分のプライベートの悩みを共有する機会を希望する割合は35.5%となり、希望する共有頻度は「半年に1回」が26.2%と最も高くなった。

Q 会社に対して自分のプライベートの悩みを共有する機会を希望するか（単一回答）

Q 上司に対して自分のプライベートの悩みを共有する機会を希望するか（単一回答）



■ 共有する機会を希望する ■ 共有する機会を希望しない

■ 1年に1回 ■ 半年に1回 ■ 2〜3ヶ月に1回 ■ 1ヶ月に1回 ■ 1週間に1回 ■ 毎日

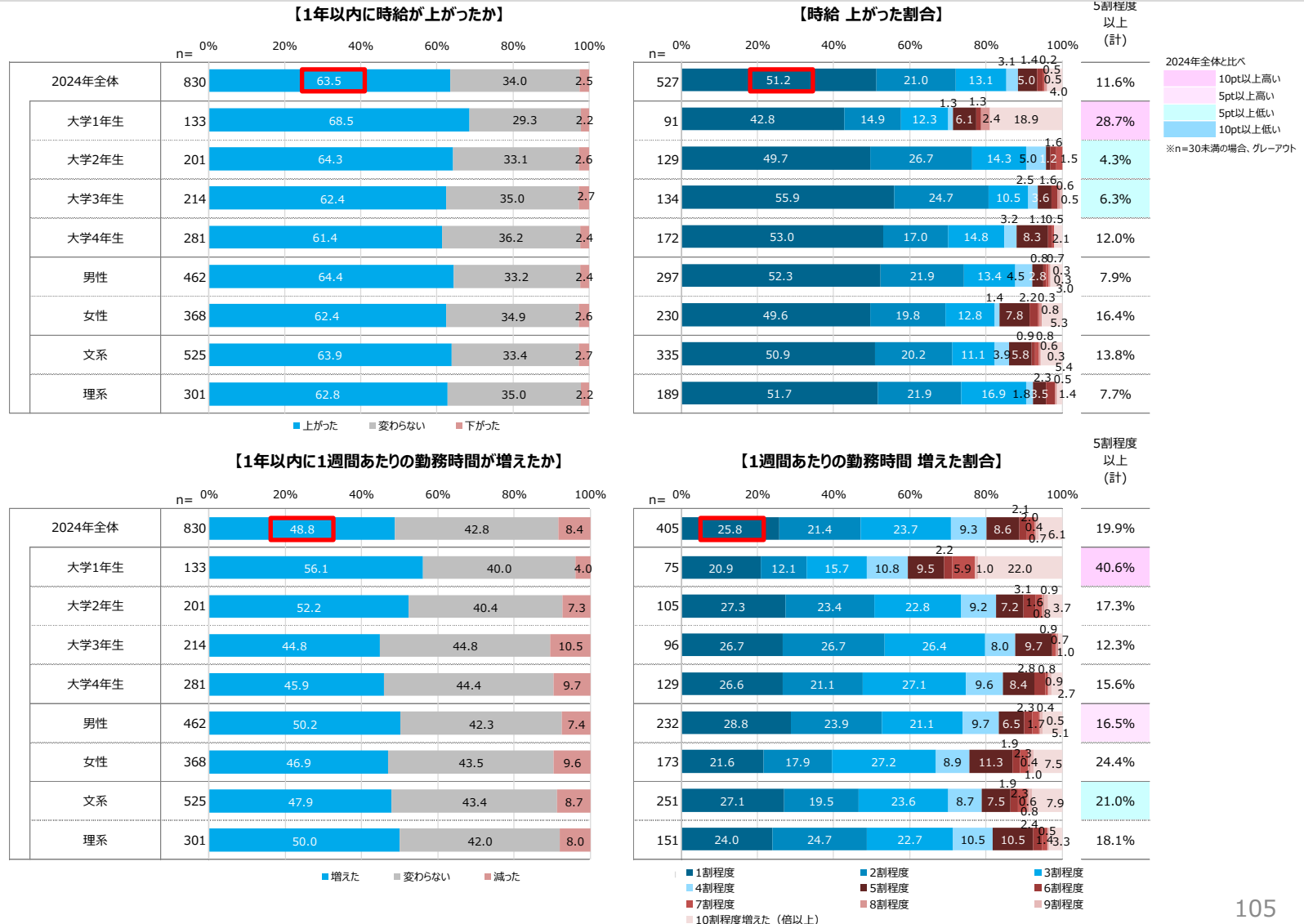
7. 1年以内のアルバイトの変化

7-1. 1年以内に時給・勤務時間が上がった／増えたか

- ◆ 2024年全体では、1年以内に時給が上がった人の割合は63.5%で、上がった割合は「1割程度」が51.2%と最も高くなった。
- ◆ 2024年全体では、1年以内に1週間あたりの勤務時間が増えた人の割合は48.8%で、増えた割合は「1割程度」が25.8%と最も高くなった。

Q 1年以内に時給が増えたか（単一回答）

Q 1年以内に1週間あたりの勤務時間が増えたか（単一回答）

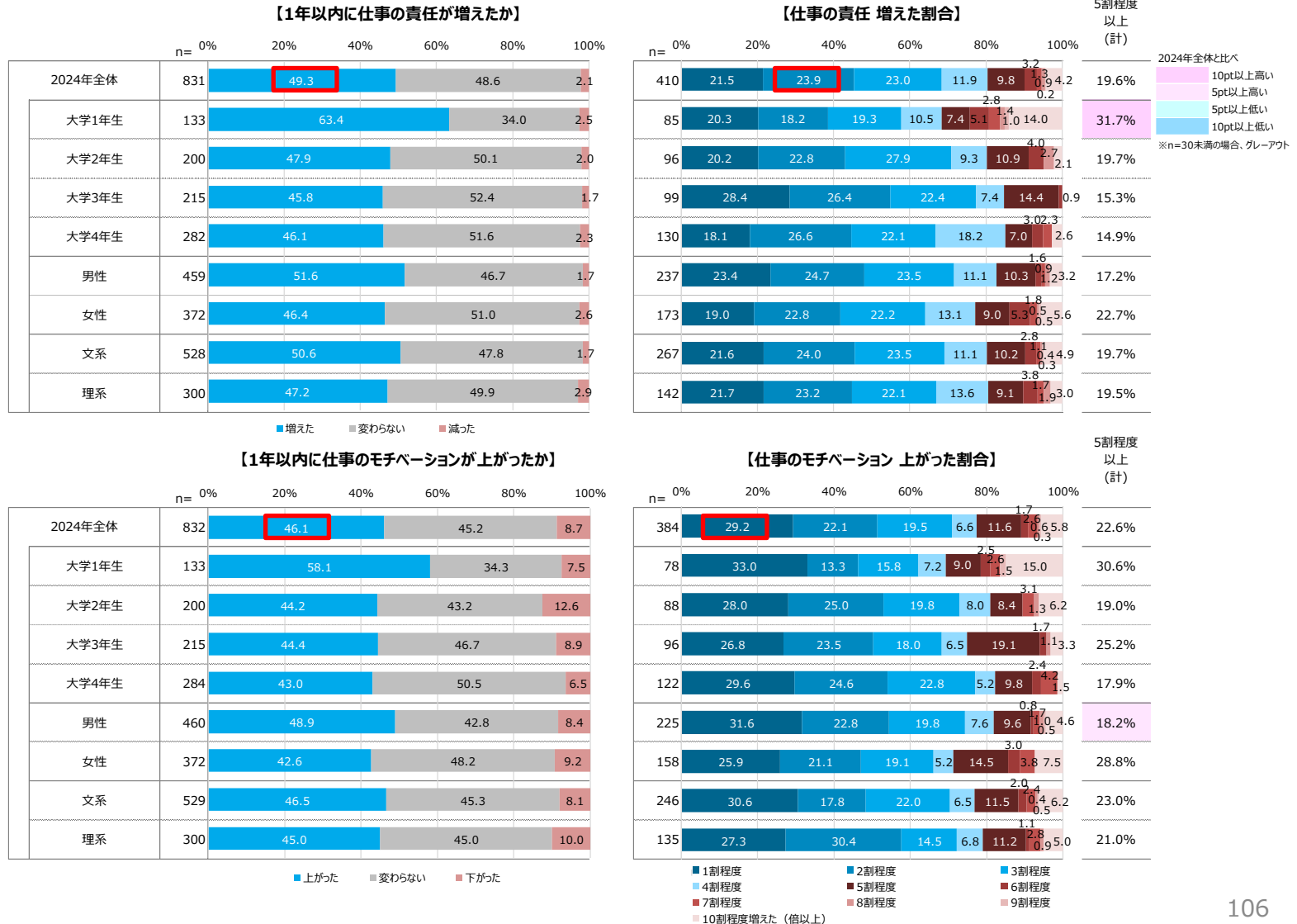


7-2. 1年以内に仕事の責任・仕事のモチベーションが増えた／上がったか

- ◆ 2024年全体では、1年以内に仕事の責任が増えた人の割合は49.3%で、増えた割合は「2割程度」が23.9%と最も高くなった。
- ◆ 2024年全体では、1年以内に仕事のモチベーションが上がった人の割合は46.1%で、上がった割合は「1割程度」が29.2%と最も高くなった。

Q 1年以内に仕事の責任が増えたか（単一回答）

Q 1年以内に仕事のモチベーションが上がったか（単一回答）

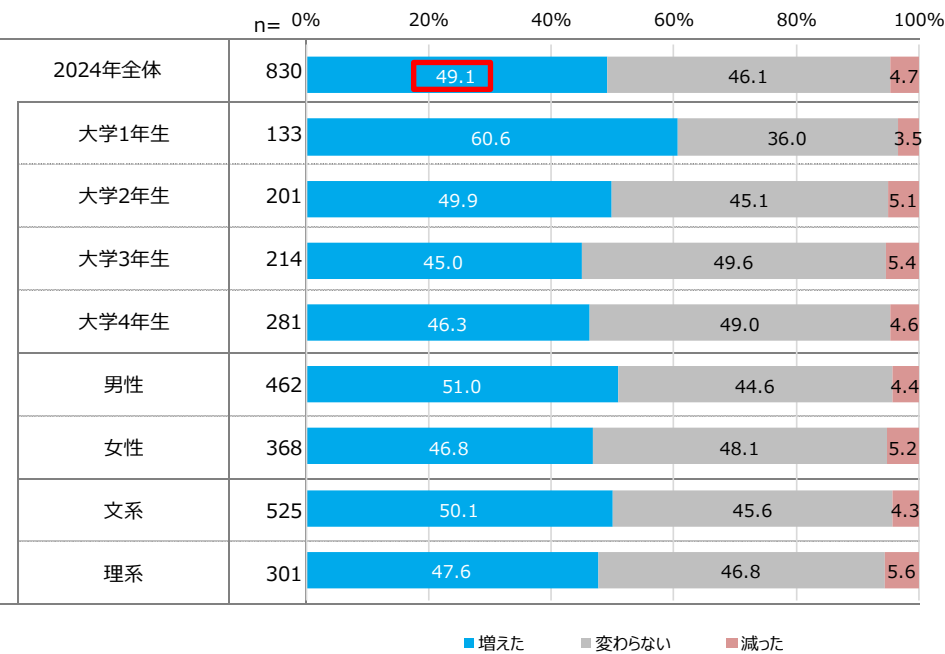


7-3. 1年以内に仕事量が増えたか

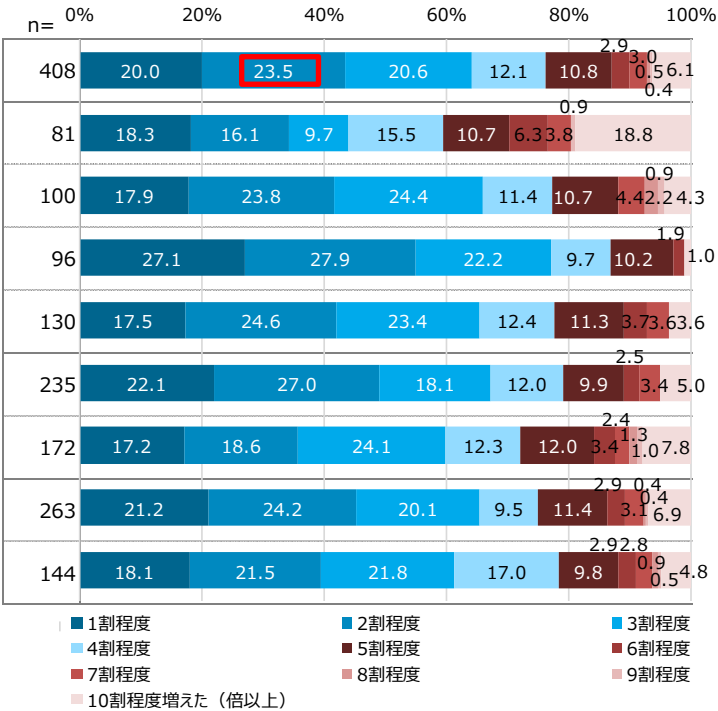
◆ 2024年全体では、1年以内に仕事の量が増えた人の割合は49.1%で、増えた割合は「2割程度」が23.5%と最も高くなった。

Q 1年以内に仕事量が増えたか（単一回答）

【1年以内に仕事量が増えたか】



【仕事量 増えた割合】



5割程度
以上
(計)

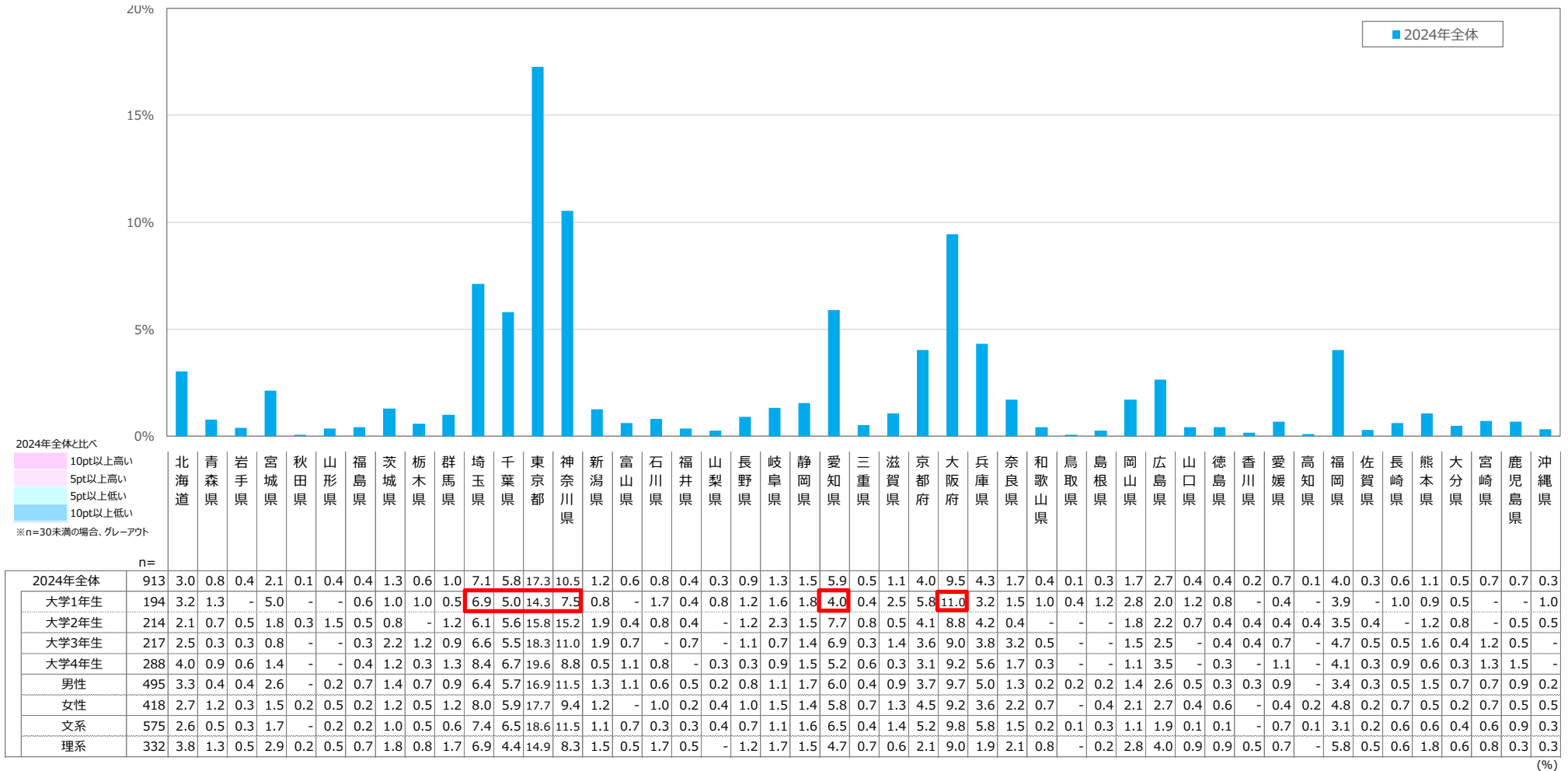
2024年全体と比べ
10pt以上高い
5pt以上高い
5pt以上低い
10pt以上低い
※n=30未満の場合、グレースアウト

Appendix

1. 居住地

◆ 2024年全体では、「1都3県」「愛知県」「大阪府」の居住者が多い。

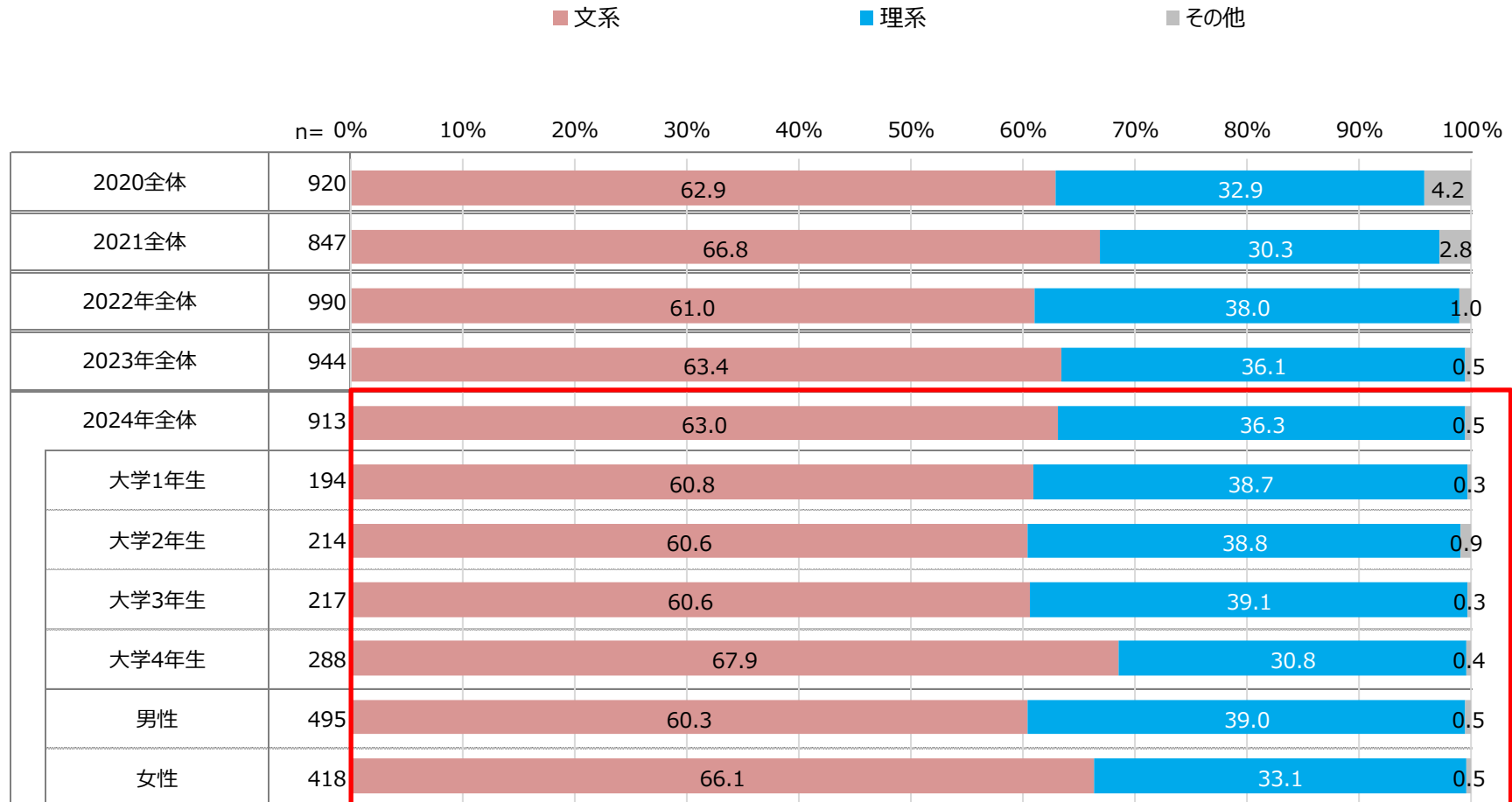
Q あなたが現在お住まいの都道府県をお選びください。（単一回答）



2. 文理

- ◆ 2024年全体の文理比率は「文系」が63.0%、「理系」が36.3%で、前年同様の分布。
- ◆ [大学1年生] [大学2年生] [大学3年生] で「文系」が約6割、「理系」が約4割、[大学4年生] で「文系」が約7割、「理系」が約3割
- ◆ 男性の理系比率、女性の文系比率が全体より高くなった。

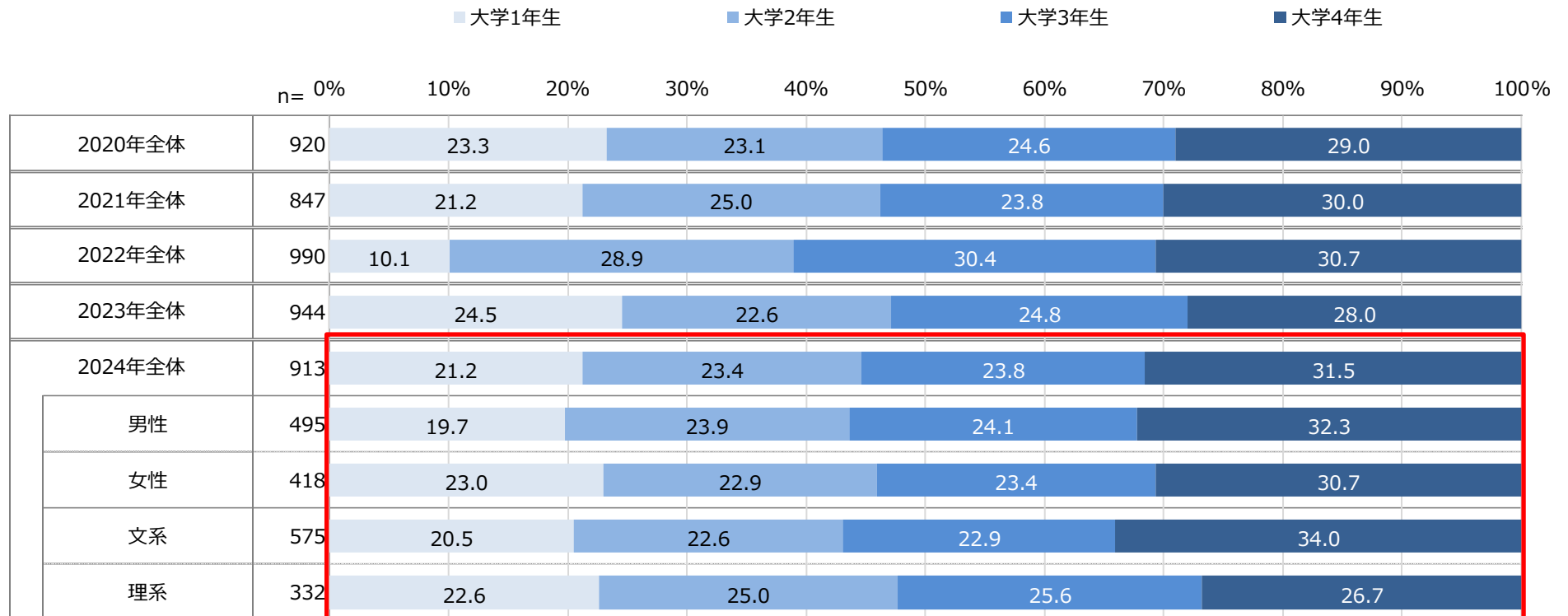
Q あなたにあてはまるものをお選びください。（単一回答）



3. 学年

- ◆ 2024年全体との学年の比率の差は男女・文理ともにほとんどない。
- ◆ 前年同様の分布。

Q あなたの学年をお選びください。（単一回答）



4. 現在力を入れて行っている取り組み

- ◆ 現在行っている取り組みとしてあてはまるものを2024年全体でみると、「アルバイト」が67.1%と最も高く、次いで「趣味」が53.7%、「友人・知人との交友」が40.8%、「学校の授業」が33.9%となった。
- ◆ 「アルバイト」は学年別では【大学4年生】が58.9%と最も低く、【大学1年生】が73.2%と最も高くなった。

Q 現在あなたが力を入れて行っている取り組みをお選びください。（単一回答／複数回答）

